

# 履修の手引

令和3年度



# 校 歌

## 近畿大学校歌

世耕 弘一 作詞  
今中 楓溪 補作  
樋口 昌道 作曲

(1) 金剛山はほのぼのと  
世界の平和祈りつつ

若き学徒を讃えずや

明けて生駒も目ざめたり

文化の鐘を高鳴らす

近畿 近畿 近畿

近畿大学 おお近畿

(2) 開けゆく代のさきがけと 進む行く手に栄えあれ

理想の光相迫いて 真実一路あこがれの

若き学徒に誇りあり

近畿 近畿 近畿

近畿大学 おお近畿

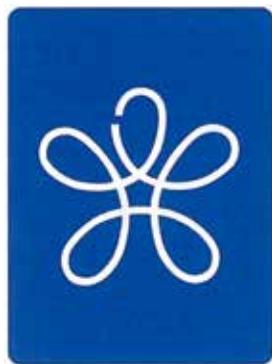
(3) 外国までも響けよと 高き文化の足音を

互いに誓い競い立ち 真理に愛に魂結ぶ

若き学徒にはまれあれ 近畿 近畿 近畿

近畿大学 おお近畿

## 学園章について



学園章

学園花は、梅、です。  
「梅花霜雪を経て開く」。  
自然の厳しさをへて、春いちばん、  
品格高き花が咲きひらく。  
学園章は、梅の花弁を、象徴したものです。  
五つの花弁は、大学の大、花芯も大。  
人そのものもある。  
これは、大学の現および未来に向っての存在と位置をかたどるも  
のです。  
一部がやや離れているのは未来志向に基づく内面の未完、さら  
に充溢、完熟をめざし向う形姿。  
一本のつよい線に貫かれる。

## ■建学の精神 「実学教育」と 「人格の陶冶」

■教育の目的  
人に愛される人  
信頼される人  
尊敬される人  
を育成することにある。



学部長 江上 典文

新入生の皆さんへ

産業理工学部学部長 江上 典文

大学では皆さんのが主に自ら学ぶことが基本です。私たち教職員は皆さんのが大学生活を有意義に過ごせるように努力してまいりますが、皆さん一人ひとりが主役となり、自ら意義ある大学生活にしていくことが求められます。そのため、皆さんの自主性が尊重されるとともに、責任をもつことも要求されます。

「履修の手引」には各学科の教育目標、進級ならびに卒業の要件、開講科目の一覧などが記載されています。また、シラバスは産業理工学部のホームページからも見ることができます。各自で閲覧し、疑問に思う点があれば担当教員に相談して下さい。くれぐれも履修方法を誤ったために進級できなくなるといった事態を招くことがないように、卒業後の進路を考えながら、履修計画を立てて下さい。

教職員一同、本学部での学生生活が楽しく、実り多いものとなることを願っています。

## 沿革

- 大正 14 年 大阪専門学校設立
- 昭和 18 年 大阪理工科大学設立
- 昭和 24 年 近畿大学設立（新学制により上記 2 学を合併）
- 昭和 40 年 第二工学部校舎本館 1 号館竣工
- 昭和 41 年 第二工学部一部（工業化学科、建築学科、電気工学科）、二部（工業化学科、建築学科）設置  
2 号館竣工
- 昭和 42 年 高電圧実験室竣工
- 昭和 45 年 体育館竣工
- 昭和 46 年 クラブハウス竣工
- 昭和 50 年 学生食堂竣工
- 昭和 52 年 建築構造実験室竣工
- 昭和 59 年 木材加工工作室竣工
- 昭和 60 年 第二工学部を九州工学部に学部名変更
- 昭和 61 年 学生駐輪場竣工
- 昭和 62 年 産業デザイン学科、経営工学科設置
- 昭和 62 年 3 号館竣工、第 2 クラブハウス竣工、有害物質処理室、図書館・電算機棟竣工
- 昭和 63 年 建築材料実験計測室竣工
- 平成 2 年 第二学生食堂、学生駐車場竣工
- 平成 4 年 大学院産業技術研究科修士課程（物質工学専攻、電子情報工学専攻）設置
- 平成 6 年 大学院産業技術研究科博士課程（物質工学専攻、電子情報工学専攻）、大学院産業技術研究科・修士課程（造形学専攻、経営工学専攻）設置
- 平成 6 年 バウヒュッテ、建築学科環境実験室竣工
- 平成 8 年 大学院産業技術研究科（造形学、経営工学）博士課程設置、第 2 学生駐車場増設
- 平成 10 年 5 号館竣工
- 平成 11 年 電気工学科を電気情報工学科に名称変更
- 平成 12 年 工業化学科を生物環境化学科に、経営工学科を経営情報学科に名称変更
- 平成 13 年 分子工学研究所（ヘンケル先端技術リサーチセンター）竣工
- 平成 13 年 附属福岡高校、九州工学部キャンパスへ移転
- 平成 16 年 九州工学部を産業理工学部（生物環境化学科、電気通信工学科、建築・デザイン学科、情報学科、経営コミュニケーション学科）に改組
- 平成 19 年 分子工学研究所（JSR 機能材料リサーチセンター）竣工
- 平成 20 年 経営コミュニケーション学科を経営ビジネス学科に名称変更
- 平成 20 年 学生食堂竣工
- 平成 21 年 硬式野球部創部
- 平成 21 年 硬式野球部トレーニングセンター竣工
- 平成 25 年 産業理工学研究科修士課程（産業理工学専攻）設置
- 平成 27 年 産業理工学部地域連携研究センター設置
- 平成 27 年 産業理工学研究科博士課程（産業理工学専攻）設置
- 平成 28 年 電気通信工学科を電気電子工学科に名称変更
- 平成 28 年 創立 50 周年記念式典

産業理工学部卒業生の総数（令和 3 年 3 月末現在） 17,766 名

# ◇ 目 次 ◇

## 事務部学生関係業務

### 近畿大学・産業理工学部教育方針

#### [ I ] 履修の手引

学園・学部・学科の目標	1
1. 履修規定	
1.1 はじめに	6
1.2 学年次	6
1.3 卒業要件	6
1.4 進級の条件	7
1.4.1 3年次進級の条件	7
1.4.2 4年次進級の条件	8
1.5 授業について	8
1.5.1 授業科目的構成	8
1.5.2 授業形態	8
1.5.3 受講制限	9
1.5.4 クラス編成	9
1.5.5 授業時間と単位数	9
1.5.6 休講と補講	9
1.5.7 出席の重要性について	9
1.5.8 欠席について	9
1.6 履修から単位修得までの手順	9
1.6.1 履修の種類	9
1.6.2 履修手続き（Web履修登録）	10
1.6.3 成績（GPA）によるCAPの緩和	10
1.6.4 履修に関する注意事項	12
1.6.5 履修届の変更・修正	12
1.6.6 履修相談	12
1.6.7 受講者心得	12
1.6.8 教養教育科目の履修制限	12
1.6.9 留学生の教養教育科目（外国語科目群）の履修に関する注意事項	12
1.6.10 レポートにおける剽窃（盗用）行為 (plagiarism) について	13
1.7 試験	13
1.7.1 試験の種類	13
1.7.2 定期試験	13
1.7.3 試験期間	13
1.7.4 受験者心得	14
1.7.5 追試験制度について	14
1.7.6 追試験の申請	14
1.7.7 再試験制度について	14
1.7.8 再試験の受験資格と受験上の注意	15
1.8 成績の評価と通知	15
1.8.1 成績の評価	15
1.8.2 成績通知の手順	15

1.8.3 成績照会	15
1.8.4 進級判定	15
1.8.5 卒業判定	15
1.9 表彰および懲罰	15
1.9.1 表彰	15
1.9.2 懲罰	15
1.10 連絡窓口	16
1.10.1 休学など	16
1.10.2 学生への連絡	16
1.10.3 大学への連絡	16
1.10.4 事務窓口・取扱時間	16
1.11 GPA (Grade Point Average) 制度について	17
<b>2. 授業科目一覧</b>	<b>19</b>
2.1 教養・基礎教育部門総括表	20
2.2 生物環境化学科総括表	22
2.3 電気電子工学科総括表	30
2.4 建築・デザイン学科総括表	38
2.5 情報学科総括表	44
2.6 経営ビジネス学科総括表	52
2.7 インターンシップ	59
<b>3. 教職課程</b>	
3.1 教職課程の目的	65
3.2 教員免許状の種類	65
3.3 受講手続き	65
3.4 授業科目	65
3.5 所要資格と修得単位数	66
3.6 教科及び教科の指導法に関する科目とその履修方法	66
3.7 教職課程で履修しなければならない必修科目	66
3.8 教育の基礎的理解に関する科目等とその履修方法	66
3.9 教育実習について	72
3.10 その他、教職課程に関する履修上の注意事項	75
<b>4. 転学部・転学科、大学院進学</b>	<b>77</b>
<b>5. 進路対策講座等および卒業後の進路</b>	<b>79</b>
5.1 進路対策および資格取得対策講座	79
5.2 キャリア教育	80
<b>[Ⅱ] 附属施設利用の手引</b>	
[Ⅱ-1] 図書館	83
[Ⅱ-2] 電算機センター	84
<b>[Ⅲ] 配置図</b>	<b>87</b>

# 事務部学生関係業務

## 学生支援課

### 教務係

教務係は、皆さんの科目履修、授業、試験、成績など主として教育面の調査、企画、立案、推進をはかることを業務としています。

教務係の主な業務は次のとおりです。

- 各種証明書発行
- 授業の履修登録および履修指導
- 学生の成績記録および管理
- 授業の休講・補講・時間割変更・教室変更等
- 教室の使用管理
- 定期試験（前期および後期試験）の実施
- 入学・進級・留年・卒業
- 転学部・転学科
- 教職課程
- 大学院産業理工学研究科

### 就職係

就職係は、就職・進路全般についての窓口です。ここでは、就職の指導・紹介・求人の受付・就職の資料収集統計・就職希望者の登録等就職に関するすべての業務を行っています。また学生の就職支援について、教員との連携を図るために就職対策委員会を設置しています。

就職係の主な業務は、次のとおりです。

- 学生の就職指導及び紹介
- 就職希望者の登録及び調査
- 就職資料収集及び統計
- インターンシップ
- 卒業生の就職後の情報収集
- 就職先の新規開拓
- その他学生の就職
- 就職対策委員会

### 学生係

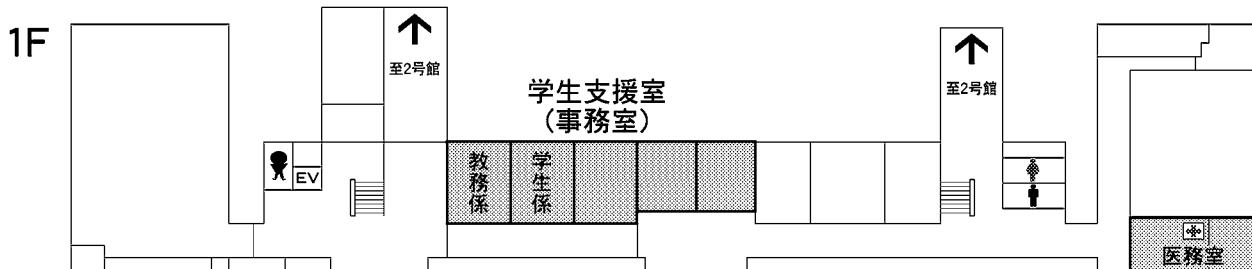
学生係は、学生生活全般についての窓口です。

ここでは学生の課外活動、健康管理、奨学金、福利厚生、その他学生生活に関する相談に応じています。また学生生活の充実をはかるために、学生厚生補導に関する重要事項の審議機関として学生支援委員会が設置されています。

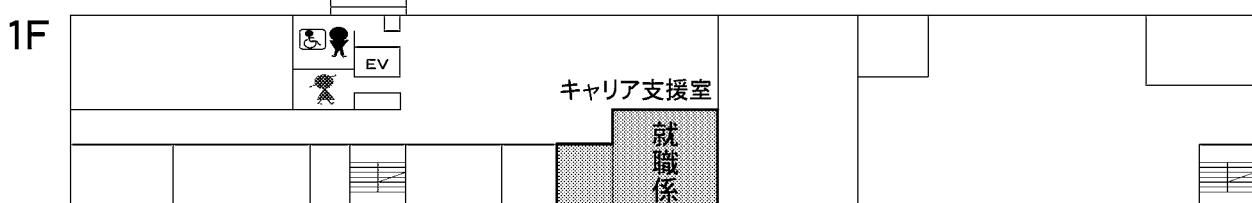
学生係の主な業務は次のとおりです。

- 休学、復学、退学、除籍等学生の身分
- 学友会活動
- 課外活動（各種団体結成、集会、対外試合、合宿、施設設備品使用、印刷物の発行・配布、掲示）
- 学費（延納・分納）
- 学生補導、家庭との連絡
- 学生の個人相談
- 学生実態調査
- 学生証の発行
- 通学定期、学割の証明
- 健康管理
- 奨学金
- 寮等の紹介
- 学生健保共済会
- 学生支援委員会
- 学生の賞罰
- 学生の郵便物、遺失物、拾得物
- 学生のアルバイト指導及び紹介
- その他学生一般

### 1号館



### 3号館



# 近畿大学教育方針

## カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成方針）

本学は、「建学の精神」と「教育理念」を実現するために、「全学共通科目」と「専門教育科目」を2本柱として、各学部学科の特色を生かしたカリキュラムを提供します。また、ボランティア、インターンシップ、各種資格取得講座などのプログラムを開設し、全教職員が、学生の学問的、人間的成长とキャリア形成を支援します。さらに、生涯学習社会実現のために、学生と社会人と教員が共に学び合う機会を提供します。これらにより、学生はディプロマ・ポリシーにある資質及び能力を以下のように身に付けます。

1. 全学共通科目および学部基礎科目では、文系・理系の枠を超えて、入学者の基礎学力の確認と向上を図るプログラムを提供し、各学部における専門分野の学問へ導くとともに、学問する習慣を身に付けます。
2. 専門教育に携わっている教員が教養教育（全学共通科目）に参加して、実学（専門教育）と教養の連動ないし融合を視野に入れた授業を提供します。これにより、教養と専門教育の意味を幅広い視野から理解し、学ぶ意義と意欲を体得します。
3. 「専門教育科目」においては、社会のニーズに対応できる教養に裏打ちされた専門性を高める工夫を進め、社会に貢献できる知識と技能、探求心を身に付けます。また、必要に応じて他学部との単位互換制度等を活用し、複眼的な専門性を育成します。
4. さまざまな国際分野で活躍できる人材を養成するため、グローバル教育の充実を図り、国際社会が共有する目標と文化的多様性の価値を理解し、国際感覚を身に付けます。さらに、海外の教育機関等との提携による国際スタンダード教育への参加を進めます。
5. 産学連携を推進し、生きた実学教育の充実を図ります。社会人の学びの場（リカレント教育）を充実し、生涯学習社会の実現に貢献します。学生の資格取得のために、学部横断的な取り組みを開設します。ボランティア、インターンシップ、留学制度等を充実し、学生が地域社会、国際社会において意味のある学びを体験できるよう努めます。これにより、社会貢献の意義と使命感を体得し、常に自らを高める自己教育力を身に付けます。
6. これらの達成度および学修の成果は、別に定める「評価の方針」によって評価を行います。

## ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

本学は、「建学の精神」と「教育理念」に基づいて、「深い教養と高い志をもち、社会を支える気概をもった学生を育成し、社会に送り出すことを最終教育目標」としています。厳格な成績評価を行い、所定の単位を修得した学生に卒業を認定し、学位を授与します。卒業までに身に付けるべき資質を以下に示します。

1. 大学での種々の学びを通じて、「人に愛され、信頼され、尊敬される」人格へと自らを成長させ続ける自己教育力を培っていること。
2. 問いながら学ぶ「学問」習慣を身に付け、専門領域における知識・技能を修得し、それらに裏打ちされた探究心と社会貢献への使命感に目覚めていること。
3. 専門領域における課題の意味を、広い歴史観や深い人間観の中で位置づけようとする教養を、身に付けていること。
4. 異質な価値や文化を理解し、自国の伝統や文化の意味を再発見する国際感覚を、身に付けていること。

# 産業理工学部教育方針

## カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成方針）

### 1. 教育課程編成方針

産業理工学部では、ディプロマ・ポリシーに掲げる3つの大きな能力を身に付けた「フロンティア人材」を育成するため、共通教養科目として教養・基礎科目と、学科別に設定された専門科目からなる教育プログラムを開講しています。

### 2. 学修内容・方法

#### <教養・基礎科目（共通教養科目）>

社会の多様性を尊重し、コミュニケーション力と論理的な思考力を身に付けるため、次の5つの科目群からなる教養・基礎科目をおもに1～2年次において学修します。とくに1年次においては、課題設定・問題解決科目群に設定された少人数科目を中心に、能動的で自律的な学修態度への転換を図り、専門教育にスムーズに移行できるように配慮しています。

- 1) 人間性・社会性科目群
- 2) 國際性・地域性科目群
- 3) 課題設定・問題解決科目群
- 4) スポーツ・表現活動科目群
- 5) 外国語科目群

人間性・社会性科目群、國際性・地域性科目群、および外国語科目群では、人文科学と社会科学の学問領域に触れつつ、それらの基本的な知識や科学的な思考方法の修得することができます。また、社会人にふさわしい倫理観の涵養を図るとともに、地域や国際交流の発展に貢献しようとする態度を身に付けます。

課題設定・問題解決科目群では、大学生に求められる「読解力」、「論理的記述力」、「批判的分析力」を向上させ、とくに「基礎ゼミ」、「科学的問題解決法」等の少人数科目では、客観的な記述とディスカッションの実践を通じて論理的思考とコミュニケーション力、プレゼンテーション力の基盤を形成することができます。また、デジタル化社会に対応するための基礎的な能力に加え、将来を見据えて主体的・自律的に学ぶ姿勢と、キャリアパスを具体化する意識と行動力の基盤を育成します。

スポーツ・表現活動科目群では、文理融合科目を中心に身の回りの現象・問題に目を向けて、考察し解決する力を身に付けます。

外国語科目群では、異文化を正しく理解し尊重する態度を育み、グローバル社会に対応するための基礎的能力を身に付けます。すなわち、他言語の人々の考えを正しく理解し自分の考えを的確に伝えるための言語能力とコミュニケーションスキルを修得します。

#### <専門科目>

専門科目は、学科別に分野や学修内容に応じてより細かな科目群に分かれて、講義・演習・ゼミナール・実験・実習等の様々な方法・形態で実施されます。

1年次においては、教養・基礎科目とともに専門基礎科目によって幅広い教養や専門分野の基盤となる知識や技能を修得します。

2年次から3年次においては、理系4学科では各専門分野に関する原理・法則、実験・製作、情報の収集・解析等の技術を学修します。それとともに、技術者・研究者としての倫理観も身に付けます。また、経営ビジネス学科では経営学・商学、会計・財務、社会・工学、グローバル、コミュニケーションといった各分野の発展的内容を学び、経営学、会計学、マーケティング論についての知識のほか地域社会やグローバル社会における諸課題の解決法を身に付けます。加えて、会社

組織の起業と経営、地域のマネジメントやコーディネートに携わるうえで大事な倫理観を身に付けています。

4年次においては、3年次までに修得した知識・技能を問題の発見や解決・創作に利用できる能力、問題点を論理的に理解しその解決策を多面的な見地から思考する力、および建設的な議論ができるコミュニケーション力を修得するために卒業論文・研究に取り組みます。また、経営ビジネス学科では、経営学を始めとする各専門分野に関する高度な知識を修得すると同時に、論理的思考力、データ分析力、情報収集能力、プレゼンテーション能力、研究計画力、協調性を身に付けます。

専門科目の到達目標等については、各学科のカリキュラム・ポリシーに掲げています。

### 3. 学修成果の評価方法

ディプロマ・ポリシーで掲げる各能力の到達に関しては、講義・演習科目では筆記試験やレポートにより評価します。実験・実習形式で行われる科目については、実技試験やレポート、作品等により評価します。コミュニケーション力や表現力の育成を目的とする科目では、プレゼンテーションやディベートによる評価を重視します。到達度は点数化の上、各セメスター終了時に個人宛に通知します。また、資格の取得や外部機関による検定試験の成績、研修・交流会等での実績も到達度評価の対象となることがあります。

## ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

産業理工学部では、近畿大学建学の精神と教育の目的に即して、文理協働の発想に根ざした高いコミュニケーション力と、自ら課題を見出し解決策を見出していく能力を持った「フロンティア人材」を世に送り出すことを目的としています。生物環境化学科、電気電子工学科、建築デザイン学科および情報学科の各学科では、所定の課程を修め以下に示す学修成果を上げた者に学士（工学）の学位を授与します。

1. 自然・技術・人文・社会が調和する文理協働の発想を志向し、多様性を尊重しつつ高い倫理観を持って、地域や国際交流の発展に貢献しようとする態度を身に付けていること。
2. 各専門分野の原理・法則に基づいた論理的な思考力と、実験や作品の制作・情報の収集解析に必要な技能を身に付けていること。また、それらを問題の発見や解決・創作に利用できる能力と、建設的な議論ができるコミュニケーション力を身に付けていること。
3. 問題とその解決策について主体的に思考・判断し、人々と協調して解決に向けて取組める力を身に付けていること。

また、経営ビジネス学科では、所定の課程を修め以下に示す学修成果を上げた者に学士（経営ビジネス学）の学位を授与します。

1. 社会経済に関心を持ち、新しい専門知識を自ら学び、社会活動に取り組む意欲を持っていること。
2. 企業その他組織に関する知識や情報を活用し、大局的かつ戦略的な思考ができること。
3. マネジメントに関する幅広い知識を応用し、社会の課題を自ら発見し解決する能力を身に付けていること。
4. 企業その他組織の運営に必要な知識、および社会経済や国際化の動向を把握できる知識を持ち、それらの視点に立った行動ができること。

I

# 履修の手引

## 学園・学部・学科の目標

### 近畿大学学園の「建学の精神」と「教育の目的」

近畿大学学園の建学の精神は、「実学教育と人格の陶冶」です。この建学の精神を具体的に実践するために「人に愛される人、信頼される人、尊敬される人の育成」を教育理念に掲げています。

この建学精神と教育理念に基づいて、「広い教養に裏打ちされた人格とチャレンジ精神をもって未来を志向しつつ、実践的学問すなわち実学の発展に貢献することのできる人材を育成」して、社会に送り出すことに全力で取り組んでいます。

本学の各学部・大学院及び各学校は、それぞれの人材育成目標に沿って、特色あるカリキュラムを用意し、充実した教授陣が、質の高い教育を提供しています。

学生の皆さんには、上記の建学精神と教育理念を理解していただき、本学園で、本当に優れた友人・先輩・教員や夢中になれる学問に出会い、美しいものに心打たれ、豊かな教養と専門的知識を身につけ、各人固有の才能を見出し、自分に最もふさわしい将来設計をされることを願っています。

### 近畿大学教育方針

#### 【産業理工学部の教育研究の理念と目的、育成する人材像】

近畿大学学園の建学の精神に基づいた産業理工学部は、従来の大学における文科と理科に区別された教育に対する反省から人間主義の工学（Humanity-Oriented Science and Engineering）の実践を目指し、自然・技術・人文・社会が調和する文理協働の発想をもった教養ある社会人を育成することを教育理念としています。このため、本学建学の精神である実学教育のもと、技術に偏重せず21世紀が求める文理シナジー的発想とコミュニケーション力を持ったフロンティア人材を育成することを目的にしています。

実社会で活躍できる人材となるためには、専門知識ばかりではなく、社会人としての基礎能力もしっかりと身につけておくことも大切です。そのために産業理工学部では教養・基礎教育を行うための教養教育科目として人間性・社会性科目群、地域性・国際性科目群、課題設定・問題解決科目群、スポーツ・表現活動科目群という四つの科目群と外国語科目群を全ての学科で開講しています。四つの科目群では幅広い教養科目の

他に社会奉仕実習やインターンシップといった体験型の授業があります。外国語科目群では英語、中国語、フランス語、スペイン語などのスキルアップのために習熟度別にクラス分けを行い、実践的な教育を行います。

産業理工学部は、21世紀にふさわしい新たな学びの場として人間力を高めるためのきめ細かな教育を提供し、本当に楽しく、充実した学生生活になるような体制を整えています。

### 生物環境化学科

#### 【生物環境化学科の学修・教育目標】

人類と地球環境をより良い未来へ導いていくために、自然現象を分子レベルで理解し、問題解決していく能力が強く求められます。生物環境化学科では、社会の幅広い分野で活躍できるプロの技術者を育てるため、「生物」「環境」「化学」をバランスよく学べるカリキュラムを用意し、講義科目だけでなく実験科目と演習科目を充実させています。生物環境化学科には次の3コースがあります。

**バイオサイエンスコース：**バイオテクノロジーを専門に学びます。遺伝情報の流れや、それをもとにした遺伝子医薬などの応用まで幅広く学びます。微生物を用いた実験やタンパク質を用いたバイオセンサーの実験など、種々のバイオテクノロジー全般の技能を修得します。

**食品生物資源コース：**食の安全と品質を守り、食料その他生物資源の有効利用に携わるエキスパートを育てます。バイオテクノロジーを基盤に、新しい食品機能の発見と健康への利用、微生物の産業利用、食品と栄養の科学について学びます。また、排水浄化と有害物質の分解、バイオマスの資源化など生物を利用した自然環境の保全修復技術も身につけます。

**エネルギー・環境コース：**環境にやさしい化学の観点から、地球温暖化対策、新エネルギーの研究開発、人と環境に優しい材料の開発、リサイクル技術、環境計測、環境教育を身につけます。また、導電性や磁性を持った先端材料の開発、選択的高性能化学センサーの開発、微量で特殊な化合物の検出ツールなど、21世紀を支える先端技術も身につけます。

### 【生物環境化学科のカリキュラム編成上の特色】

- 1 21世紀の最重要課題「バイオ」、「環境」、「材料」の分野で、実社会の問題を解決し新たな技術やアイデアを生み出すことのできる人材の育成を目指したバランスのとれたカリキュラムを用意しています。
- 2 1、2年次ではおもに生物学・有機化学・無機化学を中心とするコア科目を配し、3年次以降の展開科目で幅広い専門知識を学びます。4年次では卒業研究を中心とした本格的な研究者・技術者養成のための教育を行います。
- 3 1年次よりすべての学期で実験科目が開講され、充実した研究設備のもと実践的な教育を行います。

### 【その他の特色】

- 1 産学官連携による企業や公的機関との共同研究を積極的に推進しており、研究業務の実際や大学での勉強がどう生かされているのかを実感しながら勉強できます。
- 2 国家資格である「食品衛生管理者及び食品衛生監視員」の養成施設として当学科は認定されているほか、専門性を生かした公害防止管理者などの資格取得をサポートしています。
- 3 地域社会との交流による環境ボランティアや理科教育支援を積極的に行います。
- 4 近畿大学はもちろん、国公立大学の大学院への進学率も高く、そのためのきめ細かな指導も行います。

## 電気電子工学科

### 【電気電子工学科の学修・教育目標】

電気電子・情報通信技術は、身近な携帯電話からインターネット・自動車・航空機・ロボットなどありとあらゆるところで利用され、広く産業社会活動の基盤技術となっています。電気電子工学科では、いつまでも最前線で輝ける技術者として活躍できるよう、電気工学の基礎に始まり、応用エレクトロニクス、情報通信、クリーンエネルギーにまで広がる個別技術をハードとソフトの両面から理解し、自然や地球環境と調和した基盤技術が開拓できる技術者を育てます。電気電子工学科には次の3コースがあります。

応用エレクトロニクスコース：専門基礎技術を理解

し、独力で知識を吸収しながら時代をリードできる、より高いレベルの「自立した技術者」を目指して、アナログ技術とディジタル技術、ハードウェア技術とソフトウェア技術、さらにこれらの組み合わせ技術に精通し、とくにコンピュータによって制御されるエレクトロニクス機器を開発する技術を修得します。さらにコミュニケーション能力と多角的視野に基づいた教養も身につけ、世界に通用する技術者を育成します。

エネルギー・環境コース：環境保全に配慮した電気エネルギーの生成や安定供給、電気設備の設置や保全、電気電子デバイスの回路設計など、つねに社会で求めつけられる専門知識と実践力を身につけ、社会や環境を創る・支える・守ることができる技術者を育成します。

情報通信コース：携帯電話やリモコンに組み込まれたコンピュータのソフト・ハード技術、ロボット制御技術など、情報通信社会を支える多種多様な技術を学びます。おもにコンピュータを利用した装置と装置間の通信技術を中心に、情報通信に関する理論と技術を身につけたICT基盤を支える技術者を育成します。

### 【電気電子工学科のカリキュラム編成上の特色】

- 1 数学や物理の学修において高校からスムーズなつながりができるよう、補習的な講義などを通じたりメソディアル教育を行っています。また、専門分野へのつながりに配慮した専門基礎科目を設けています。
- 2 1、2年次では、電気電子分野の専門基礎科目を配置し、3年次以降に各コースに所属して、コースに応じた専門知識を教育します。
- 3 「電子情報設計プロジェクト」では、15週にわたり一つのテーマに関して、グループ討論による問題抽出、解決法の探索・実現を通してエンジニアリングデザイン能力を養います。
- 4 「電子情報工学セミナー」では、自己分析とグループディスカッションにより、プレゼンテーション能力やコミュニケーション能力を養います。

**【その他の特色】**

- 1 「知能ロボットプロジェクト」や「電気電子工学科ものづくり工房」により実践的なモノづくり教育を進めています。
- 2 各学年複数教員の担任制で、一人一人の顔が見える学生指導体制をとっています。
- 3 電気電子・情報通信分野からの多くの求人があり、毎年、一部上場企業をはじめとして就職率が高く、質の高さが社会や産業界から認められています。

**建築・デザイン学科****【建築・デザイン学科の学修・教育目標】**

建築の工学とデザインの感性を磨き、高い使命感と倫理観を身につけた建築技術者と美しい建築空間あるいはデザインコミュニケーション情報を創造するデザイナーの育成をめざします。建築や都市など規模の大きなものから、住宅や店舗の設計、ポスター・デザインやウェブ・デザインなどの身近なものまで、幅広い「モノづくり」の技術・技能の習得を目指してカリキュラムを編成しています。また、設計意図や完成作品の特徴を多くの人に伝え、深く印象付ける能力の習得も大切だと考えて開講科目を定めています。

建築・デザイン学科は次の2コースを設けています。

**建築工学コース**：国際的に通用する建築技術者に育つようより高いレベルの専門知識を授けます。建築に関する包括的な専門知識に加えて、さらに建築物や地域の安全性（建築構造）、快適性（建築環境・設備）、材料・構法（建築生産）に関する建築工学の高度な専門技術を習得するカリキュラムとしています。本コースを修了することで一級建築士受験資格と共に、二級施工管理技士受験資格を取得できます。

**建築・デザインコース**：自分の将来設計に合わせ、建築およびデザインの両方のプログラムを発展的に学修することができるコースです。幅広い素養と建築に関する包括的な専門知識・能力を身につけて、建設関連業界で活躍できる技術者や、企画から制作までの全過程を行える技能を持ち、デザイン関連業界で活躍できる人材の育成を目標としながら、その両方の資質を有したこれからの中社会で必要とされる新たな建築士・デザイナーの育成を目指します。

建築設計・施工に欠かせない建築計画、建築環境・設備、建築構造、建築生産の4分野にわたる内容と、ユニバーサルデザインを軸に情報・プロダクト・環境

デザインの3分野を総合的に学修できる多彩な科目が用意されています。そのため、各学生の将来目的に応じて履修科目を選定することができます。本コースを修了することで二級建築士の受験資格を取得できます。さらに修得科目によっては一級建築士の受験が可能となります。

**【建築・デザイン学科のカリキュラム編成上の特色】**

- 1 建築とデザインのいずれをも学ぶことができるよう設定された多様な科目から、自分の将来設計にあった科目の選択が可能となっております。
- 2 幅広い視野を持ち人間力のある実践的な建築技術者と総合的なデザイン力のあるデザイナーを育成するため、建築教育とデザイン教育を高度に織り込んだ斬新なカリキュラムを編成しています。
- 3 一級建築士、二級建築士、技術士などの建築業務に関わる資格の取得をめざすカリキュラムとしています。また、インテリアコーディネーター、CG検定などのプロフェッショナル資格をめざした指導にも力を注いでいます。建築やデザインの分野で就職し活躍していくためには、専門資格の取得は必須です。

**【その他の特色】**

- 1 設計事務所やデザイン事務所等の会社組織や実務者と連携した実践的な教育を行います。
- 2 演習を中心とした専門教育の多くは、少人数クラスの授業で個別指導を徹底しています。
- 3 学生にとって魅力があり、なおかつ社会的にも話題となっている課題を取り上げ、作品などその成果は、学外発表・展示などにより外部の評価を受け、授業改善に結びづけています。

**情報学科****【情報学科の学修・教育目標】**

情報が社会のあらゆるレベルに浸透し、私たちの身近な生活と切っても切れない存在であることが認められる中、情報自身は、常にその可能性を広げ、存在様式を進化・発展させ続けています。巨大化し、多様化していく情報と与し、手なずけ、役立てて行くためには、情報を扱うためのソフトウェアやネットワークの技術と知識を学ぶとともに、日々進化・発展していく情報の様々な形式に触れ、そのサイエンスとしての扱

い方に慣れ親しみ、新たな情報メディアの可能性を常々考へるような習慣を身につけることが必要となります。このような技術と知識と体験を身につけた人を育成するため、情報学科では次の3つのコースを設けています。

**情報エンジニアリングコース：情報システムの構築とその分析・設計・開発に関わる知識と技術を身につけ、インターネット社会の情報基盤を開発する最前線において活躍できる人材を育成します。**このため、情報技術に関する基礎知識（ハードウェア、ネットワーク、データベース、アルゴリズム）、情報システムに関わる分析・設計・運用技術、プログラミング、セキュリティ、先端技術（クラウド、組み込みなど）の教育を提供します。

**メディア情報コース：情報メディアに関する知識と、コンテンツを制作するための手続き的知識と技能を身につけ、創造産業を含む文化産業に従事できる人材を育成します。**このため、社会生活における情報メディアの役割・知的財産権・インターネットサービスやビジネス等に関する基礎知識、コンピュータ音楽・コンピュータグラフィックス・デジタル映像といったコンテンツ制作技能、Webデザインの手法・Webプログラミング・Web解析技術といったWebサイトの企画・制作・運用に関する技能を修得するための教育を提供します。

**データサイエンスコース：膨大なデータから有益な情報を抽出し、分析・予測に役立てるための手続き的知識と技能を身につけ、企業のマーケティングやデータ分析に携わる部門において活躍できる人材を育成します。**このため、データ分析のための基礎知識（統計解析、データの可視化、データベース）、知識発見のための手法（データマイニング、機械学習、最適化）、そして、発展技術（シミュレーション、モデル同定）に関する教育を提供します。

#### 【情報学科カリキュラム編成上の特色】

- 1 カリキュラムは、各コース共通の知識となる科目群と、それぞれのコース毎に特徴的な科目群から構成されています。
- 2 演習科目を多数用意して徹底した実践力の修得を行います。
- 3 「情報学プロジェクトⅠ・Ⅱ」として、実際に社会の中で役立つシステムを構築することを目的と

して、ゼミ単位少人数のチームで企画、計画から設計、コスト試算、構築、実証評価までを行い、その結果をプレゼンテーションとして発表するという講義を行います。座学や演習だけでは身につけることができない社会に役立つ実践力を育てます。

#### 【その他の特色】

- 1 就職率が高いだけでなく、特に上場企業への就職者が多いのが特長です。
- 2 各コースの特性に沿った資格取得を積極的に指導します。男女の差なく、それぞれの分野のプロフェッショナルとして幅広く活躍できますので、女子学生のキャリアづくりにも最適です。

#### 経営ビジネス学科

##### 【経営ビジネス学科の学修・教育目標】

経営ビジネス学科では、実践的な経営センスを持ち、地域や社会に貢献する人材を育成します。知識中心の組織社会化がますます進行する中で、知的資源や人的資源をいかに活用していくかが重要となってきています。また近年、社会全体の価値観や利害の多様化が進み、複雑化し、それらの間の調和をいかに図っていくかが重要になってきています。このような変化のために、マネジメントに対するニーズと期待が高まっています。また、学生の関心と活躍の場のグローバル化も起こってきています。

マネジメントについて最も必要なことは、社会における組織の使命や役割を明らかにすることです。その使命を果たし、役割を遂行するためには、二つの条件が不可欠です。一つは、革新性・創造性をもつことであり、組織の置かれている現状をつねにチェックし、改善を加えていくことが必要です。もう一つは、社会性をもつことであり、組織に対する社会の期待がどこにあり、社会が必要とするものは何かを考えることが必要です。マネジメントのあり方は、この2つの条件、革新性・創造性と社会性によって左右されます。

このような基本的認識に立って、経営ビジネス学科では組織経営に関する理論的、実践的教育を進めています。なお、組織は、企業だけでなく、非営利組織・自治体・地域コミュニティも含みます。これらの幅広い組織の経営（マネジメント）方法について、段階的に学んでいきます。

また、社会性を養うために、マネジメントの理論や技術だけでなく、そのよって立つ文化的背景をも学んでいきます。

学科では経営マネジメントとグローバル経営の2コースを設け、学生が興味や関心に応じて履修できるような編成としています。経営マネジメントコースでは、経営や会計について幅広く学び、経理面での理論と実践の融合を目指していきます。また企業・非営利組織・自治体などの組織に着目して、それらの運営に関する科目を幅広く学びます。グローバル経営コースでは、国際的な視野に立ち、グローバル社会における組織経営に関わる能力を養成します。国際化に対応するために、外国の文化の理解や語学の習得もめざします。

#### 【経営ビジネス学科のカリキュラム編成上の特色】

- 1 専門基礎科目を重視し、主要分野に関する必修科目を配置しています。それをベースに、段階的、系統的履修を促します。
- 2 ゼミナールを中心とした少人数教育を徹底し、「全人教育」を目指し、各学年で少人数によるゼミナール教育を行います。
- 3 「会計処理演習」「フィールドワーク」「データ分析」を開講し、具体的な事例や実践的テーマに対して、学生が直接参加する授業を行います。アクティブラーニングは各科目でも取り入れて、学修内容のより深い理解をめざします。

#### 【その他の特色】

- 1 簿記関連、語学関連などの資格取得に関して、課外授業を行います。
- 2 アクティブラーニングを実践するために、グループワークや学外での活動を積極的に行います。

# 1. 履修規定

## 1.1 はじめに

大学は、それぞれの専門分野で定められた科目について所定の単位数を修得して“学士”（英語名：Bachelor）の学位を得る所です。近畿大学産業理工学部を卒業すると“学士（工学）”または“学士（経営ビジネス学）”の学位を得ることができます、卒業するには所定の単位を修得しなければなりません。単位を順調に修得するための履修計画や履修のための諸手続き、修得単位数の確認などは、学生自身で行わなくてはいけません。実社会では書類提出や諸手続きがわずか1日、場合によってはたった1時間遅れただけで大きな損失を被ることもありますが、それは全て“自己責任”として処理されます。大学でも同様であり、いい加減な履修計画を立てたり、必要な手続きを怠っていると、4年間で卒業できなかったり、本来取得可能な資格を取り損ねたりすることがあります。

したがって、新入生の皆さんは、当学部の“履修規定”をよく理解し、順調に卒業できるよう努めてください。

また、種々の事務手続きや休講・補講の通知、試験時間割など重要な連絡事項は、産業理工学部内専用サイトUNIVERSAL PASSPORT（以後「ユニパ」）の電子掲示または紙の掲示によって学生の皆さんに伝えられます。ユニパの電子掲示はインターネットでアクセスすることでいつでも確認することができ、紙の掲示については1号館1階の掲示板もしくは各学科の掲示板に貼り出されます。したがって、毎日1回は必ずユニパと両掲示板の連絡事項を確認するよう心掛けて下さい。「掲示を見ていないかったので知らなかった」という言い訳は、当学部に限らずいかなる大学でも通用しません。

## 1.2 学年次

入学後1年間は1年次、在学期間が1年増すごとに2年次、3年次となります。しかしながら、3年次、4年次に進級するためには、「1.4 進級の条件」を満たしていることが必要です。そうでない場合は留年ということになります。4年次に進級していない（卒業研究に着手できない）学生に対しては当然、卒業見込証明書が発行されませんので就職活動もできませんし、在学期間を問わず進級条件を満たさない限り、卒

業できません。そのようなことがないように、各学科では単位の修得状況が心配な学生の成績通知書に警告を記載しています。単位の修得状況には日頃から十分注意してください。

また、編入学、転学部、転学科あるいは再入学して本学部の学生となった場合には、修得済みの科目や単位数に応じて移動先の学科が指定した学年次に籍をおくことになります。

## 1.3 卒業要件

当学部で卒業資格を得るための要件は4年間以上在学し、教養教育科目、専門科目のなかから学科・コースで指定された必修科目、定められた単位数以上の選択必修科目をすべて修得したうえで、卒業所要単位数124単位以上を修得しなければなりません。また、“教職課程科目のうち教職に関する科目”単位は卒業所要単位に含まれませんので注意してください。

表1.1 卒業要件

	必修・選択必修の要件		卒業に要する単位数	単位数の総計
教養教育科目	必修科目	14単位	28単位以上	124単位以上
	選択必修科目	9単位以上		
専門科目	必修科目	学科・コースで指定された全単位	学科・コースで指定された単位数以上	124単位以上
	選択必修科目	学科・コースで指定された単位数以上		

なお、修得しなければならない科目などは学科・コースにより大きく異なります。詳細は表1.2および各学科の「学修の手引」を参照してください。

表1.2 各学科の卒業要件

## ◎生物環境化学科 卒業所要単位数表

	必修・選択必修の要件		卒業に要する単位数	単位数の総計
教養教育科目	必修科目	14単位	28単位以上	124単位以上
	選択必修科目	9単位以上		
専門科目	必修科目	38単位	70単位以上	124単位以上
	選択必修科目	14単位以上		

## ◎電気電子工学科 卒業所要単位数表

## 応用エレクトロニクスコース

	必修・選択必修の要件	卒業に要する単位数	単位数の総計
教養教育科目	必修科目	14単位	28単位以上
	選択必修科目	9単位以上	
専門科目	必修科目	84単位	124単位以上
	選択必修科目	10単位以上	

## エネルギー・環境コース

	必修・選択必修の要件	卒業に要する単位数	単位数の総計
教養教育科目	必修科目	14単位	28単位以上
	選択必修科目	9単位以上	
専門科目	必修科目	76単位	124単位以上
	選択必修科目	12単位以上	

## 情報通信コース

	必修・選択必修の要件	卒業に要する単位数	単位数の総計
教養教育科目	必修科目	14単位	28単位以上
	選択必修科目	9単位以上	
専門科目	必修科目	70単位	124単位以上
	選択必修科目	16単位以上	

## ◎建築・デザイン学科 卒業所要単位数表

## 建築工学コース

	必修・選択必修の要件	卒業に要する単位数	単位数の総計
教養教育科目	必修科目	14単位	28単位以上
	選択必修科目	9単位以上	
専門科目	必修科目	53単位	124単位以上
	選択必修科目	17単位以上	

## 建築・デザインコース

	必修・選択必修の要件	卒業に要する単位数	単位数の総計
教養教育科目	必修科目	14単位	28単位以上
	選択必修科目	9単位以上	
専門科目	必修科目	33単位	124単位以上
	選択必修科目	4単位以上	

## ◎情報学科 卒業所要単位数表

## 情報エンジニアリングコース

	必修・選択必修の要件	卒業に要する単位数	単位数の総計
教養教育科目	必修科目	14単位	28単位以上
	選択必修科目	9単位以上	
専門科目	必修科目	56単位	70単位以上

## メディア情報コース

	必修・選択必修の要件	卒業に要する単位数	単位数の総計
教養教育科目	必修科目	14単位	28単位以上
	選択必修科目	9単位以上	
専門科目	必修科目	28単位	70単位以上
	選択必修科目	8単位以上	

## データサイエンスコース

	必修・選択必修の要件	卒業に要する単位数	単位数の総計
教養教育科目	必修科目	14卖位	28卖位以上
	選択必修科目	9卖位以上	
専門科目	必修科目	34卖位	70卖位以上

## ◎経営ビジネス学科 卒業所要単位数表

## 経営マネジメントコース

	必修・選択必修の要件	卒業に要する単位数	単位数の総計
教養教育科目	必修科目	14卖位	28卖位以上
	選択必修科目	9卖位以上	
専門科目	必修科目	28卖位	70卖位以上
	選択必修科目	6卖位以上	

## グローバル経営コース

	必修・選択必修の要件	卒業に要する単位数	単位数の総計
教養教育科目	必修科目	14卖位	28卖位以上
	選択必修科目	9卖位以上	
専門科目	必修科目	28卖位	70卖位以上
	選択必修科目	6卖位以上	

## 1.4 進級の条件

## 1.4.1 3年次進級の条件

3年次に進級するためには2年次終了時に教養教育科目、専門科目のなかから学科・コースで指定された科目をすべて修得したうえで、卒業所要単位のうち61単位以上修得しなければなりません。そうでない場合は留年し、卒業が延期となります。詳細は表1.3および各学科の「学修の手引」に書いてありますので、十分に理解して下さい。

表1.3 各学科の進級条件

## ◎生物環境化学科 進級条件表

	教養教育科目	専門科目	単位数の総計
3年次進級条件			61卖位以上
4年次進級条件	3年次までに開講される必修科目の全卖位	3年次までに開講される必修科目の全卖位	110卖位以上

## ◎ 電気電子工学科 進級条件表

	教養教育科目	専門科目	単位数の総計
3年次進級条件		1年次に開講される必修科目の全単位	61単位以上
4年次進級条件	1年次に開講される必修科目の全単位	2年次までに開講される必修科目の全単位および 「電気電子情報工学実験Ⅰ」「電気電子情報工学実験Ⅱ」「電子情報設計プロジェクト」「電子情報工学セミナー」の4科目の単位	110単位以上

## ◎ 建築・デザイン学科 進級条件表

	教養教育科目	専門科目	単位数の総計
3年次進級条件		「建築・デザイン演習Ⅰ」「建築・デザイン演習Ⅱ」「静定構造力学Ⅰ及び演習」「建築と構造」の4科目の単位	61単位以上
4年次進級条件	英語科目における必修/選択必修科目の中から4単位以上	2年次までに開講される必修科目の全単位	110単位以上

## ◎ 情報学科 進級条件表

	教養教育科目	専門科目	単位数の総計
3年次進級条件	「基礎ゼミ」「科学的問題解決法」の2科目の単位	1年次に開講される必修科目の全単位	61単位以上
4年次進級条件	2年次までに開講される必修科目の全単位	2年次までに開講される必修科目の全単位および 「情報学プロジェクトⅠ」「情報学プロジェクトⅡ」の2科目の単位	110単位以上

## ◎ 経営ビジネス学科 進級条件表

	教養教育科目	専門科目	単位数の総計
3年次進級条件	「基礎ゼミ」「科学的問題解決法」「ライフデザイン」「日本語の技法」「情報処理Ⅰ」5科目の単位	1年次に開講される必修科目の全単位	61単位以上
4年次進級条件	3年次までに開講される必修科目の全単位	3年次までに開講される必修科目の全単位および 3年次までに開講される選択必修科目から6単位以上	110単位以上

## 1.4.2 4年次進級の条件

4年次で取り組む卒業研究は特に重要な必修科目です。4年次に進級して卒業研究に着手するためには3年次終了時に教養教育科目、専門科目のなかから学科・コースで指定された科目をすべて修得したうえで、卒業所要単位のうち110単位以上修得しなければなりません。詳細は表1.3および各学科の「学修の手引」に書いてありますので、十分に理解してください。

## 1.5 授業について

## 1.5.1 授業科目の構成

当学部で開講される授業科目は、その目的や内容から表1.4のように分類されます（各科目の構成については、各学科の科目一覧表を参照のこと）。教養教育科目、専門科目には、それぞれ必修科目、選択必修科目および選択科目があります。

表1.4 授業科目の構成

授業科目	授業内容
教養教育科目	各学科で学ぶ専門的な知識と両輪をなす基礎的な知識と社会生活における幅広い教養を修得することを目的として、人間性・社会性科目群、地域性・国際性科目群、課題設定・問題解決科目群、スポーツ・表現活動科目群、外国語科目群、という五つの科目群で構成されます。これらは主として1、2年次に学修するように開講されています。また、各科目群をバランスよく学修することが求められます。
専門科目	専門分野に必要な知識と技術の習得を目的としており、講義、実験、実習、演習などの科目で構成されます。1年次から開講されますが、高年次になるにつれてそのウエイトは大きくなります。
教職課程科目	高等学校の教員免許状の取得を希望する学生に対して開講される科目です（詳細は「3.教職課程」を参照のこと）。 ※卒業の所要単位にはなりません

## 1.5.2 授業形態

ほとんどの科目は毎週同一の曜日・時間帯に授業が実施されますが、一部の科目はある数日間にわたって集中的に講義が実施されることがあります。これを“集中講義”といいます。

### 1.5.3 受講制限

適正な授業運営および教育効果の向上のために、授業で利用する教室の定期試験収容人数を上限に、受講可能な学生の人数を制限します。教養教育科目の選択必修科目の一部科目については、Web履修登録前に、受講希望科目的アンケートを実施し、その結果によって受講可能な科目を決定します（1.6.8を参照）。それ以外の科目についても、第一回目の授業もしくはWeb履修登録（1.6.2を参照）において、適正な受講者数を超過した科目には、当該の授業担当教員の判断または選考および抽選により受講制限を実施し、受講する学生の人数を調整します。

なお、受講制限により受講が認められなかった場合は、並行開講されている授業科目への振替受講となることがあります。

### 1.5.4 クラス編成

教育効果の向上のため受講制限とあわせてクラス編成を実施する場合があります。習熟度別クラスや再履修生専用クラスなど、あらかじめクラスが指定されている場合がありますので注意してください。

### 1.5.5 授業時間と単位数

当学部での授業時間は1コマ（1時限）当たり90分間で表1.5の時間割に従って授業が開講されます。ただし、同じ授業時間でも科目によって単位数が異なります。履修手続き（「1.6.2 履修手続き」を参照のこと）をする際に各学科の「学修の手引」に記載されている単位数をよく確認してください。

所定の単位数は、15回の授業と定期試験（定期試験を実施しない科目もあります）により構成されています。その単位数を修得するには、まず、授業に全て出席して、真剣に授業内容に取り組むことが必要です。

表1.5 授業時間

（授業時間については変更となる場合があります。）

	1 時限	2 時限	3 時限	4 時限	5 時限
時 間	9:20～ 10:50	11:00～ 12:30	13:20～ 14:50	15:00～ 16:30	16:40～ 18:10

### 1.5.6 休講と補講

やむを得ない事情で授業が行われないことを休講と

令和3年度 近畿大学 産業理工学部 履修の手引き、休講された授業を、日時を改めて行うことを補講と言います。休講と補講は掲示ならびにユニバにより通知されます。

### 1.5.7 出席の重要性について

授業はすべて出席することが前提であり、何回まで休めるというものではありません。したがって、各科目で設定されている成績評価方法および基準によっては、毎回出席しなければ早い段階で単位の修得が不可能になり、試験を受けることができなくなる場合があります。（課題提出や小テストなどが実施されるため欠席が多いと授業についていけなくなります）科目によっては受講者を決定するための選考で出席状況（出席・遅刻・早退）は重要な要素にもなりますので必ず全回出席するようにして下さい。

### 1.5.8 欠席について

産業理工学部においては公欠というものは存在せず、原則いかなる欠席も通常の欠席として取り扱います。しかしながら、忌引きの場合のほかいわゆる“学校感染症”に感染し学校保健安全法に基づき出席停止となる場合など表1.6に記載されるようなやむを得ない事情がある場合は、学生支援課へ相談してください。

## 1.6 履修から単位修得までの手順

### 1.6.1 履修の種類

表1.6「履修の種類と履修方法」を確認のうえ、手続きを行なってください。授業担当教員が一度許可をしても状況によっては履修を取り消す場合があります。また、他学科での履修は別途手続きが必要です。（1.6.4「履修に関する注意事項」を参照のこと）。

表1.6 履修の種類と履修方法

履修の種類	履修の内容	授業担当 教員許可
上級履修	時間割において、自分の在籍している学科を問わず、在籍年次より上の年次を対象に開講されている授業科目を履修すること。	在籍学科を問わ ず必要
下級履修	時間割において、自分の在籍している学科を問わず、在籍年次より下の年次を対象に開講されている授業科目を履修すること。	他学科履修であ れば必要 在籍学科であ れば不要 ※ただし、クラ ス設定、受講 制限、受講条 件がある場合 は必要
再履修	一度履修して不合格となつた授業科目を自分の在籍している学科を問わず、在籍年次または下の年次を対象に開講されている授業科目を履修すること。	

※産業理工学部では原則として上級履修は認めていません。

### 1.6.2 履修手続き（Web履修登録）

表1.7は、授業科目の履修登録と単位修得のための一連の手続きを示しています。

すべての学生は、ユニバにてその年度に履修する授業科目（前・後期分）をWeb入力して所定の期間内にWeb申請しなければなりません。なお履修手続きに際しては、予習・復習・レポート作成といったことに十分な学修時間が確保できるよう、原則として前期・後期を合わせた年間の履修科目の合計が49単位を超えて履修することはできません。このことを「キャップ（CAP）制」と言います。

ただしキャップ（CAP）制に含まれない科目もありますので、以下の除外科目一覧を確認してください。

※キャップ（CAP）制除外科目一覧

	科目名		科目名
1	職業指導	12	情報科教育法 I
2	職業指導（商業）	13	情報科教育法 II
3	教職論	14	商業科教育法 I
4	教育学概論	15	商業科教育法 II
5	教育心理学	16	特別支援教育論
6	特別活動及び総合的 学習の時間の理論と 方法	17	教育方法論
7	教育行政学	18	生徒・進路指導論
8	工業科教育法 I	19	教育相談
9	工業科教育法 II	20	教育実習指導
10	理科教育法 I	21	教育実習
11	理科教育法 II	22	教職実践演習（高等 学校）

なお、“履修できる”単位の上限が年間49単位であり、“修得できる”単位の上限が年間49単位ではありません。したがって、前期に不合格となった科目やGPA制度における履修取り下げ科目が多いからといって、後期になって科目を追加して履修することはできませんので注意してください。

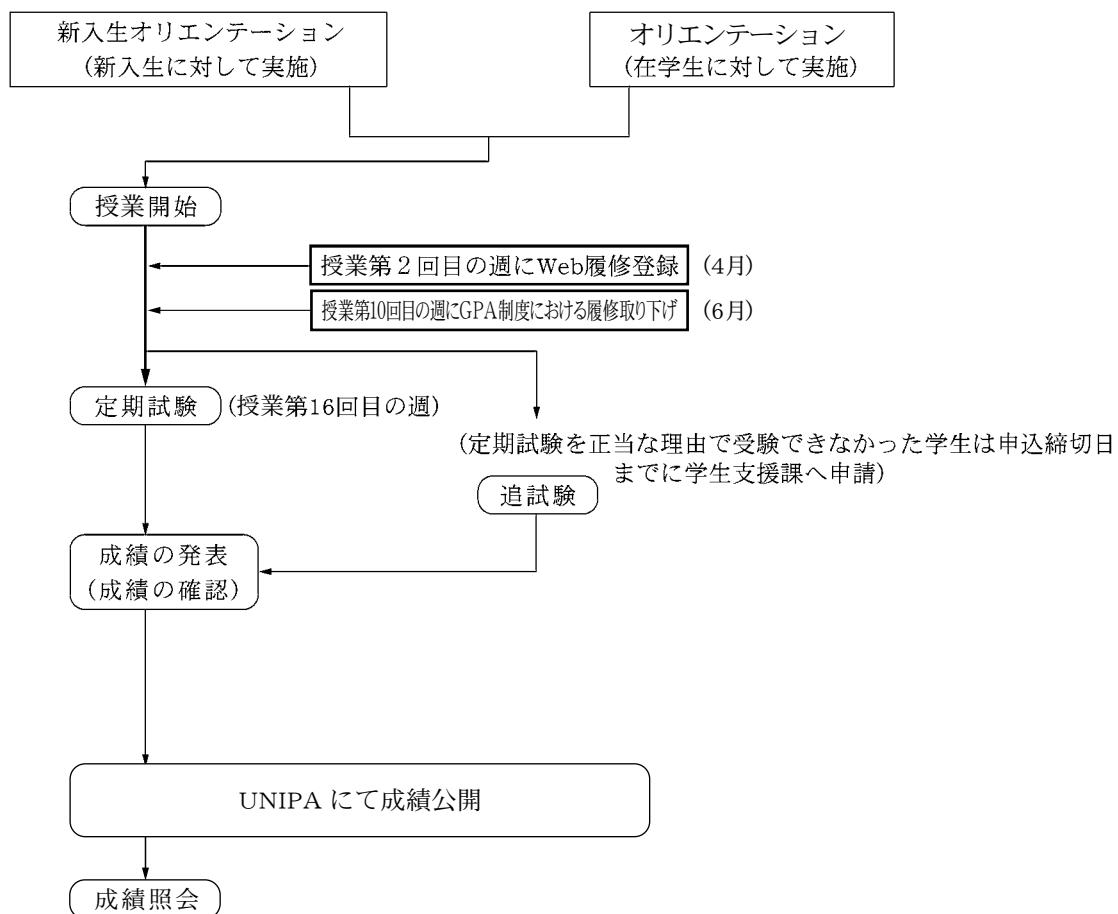
### 1.6.3 成績（GPA）によるCAPの緩和

1年間（前学期、前々学期）の学期GPA値が連続して3.5以上の学生は、当該学期にCAP制の年間49単位を超えて1科目（2単位まで）の追加履修を認めます。このGPAによるCAPの緩和は、学期ごとに判定を行います。連続して、学期GPA値を3.5以上維持した場合は、次学期の開始時に1科目の追加履修が可能となります。そのため、年間では最大で2科目追加履修ができ、年間で最大53単位まで履修することができます。

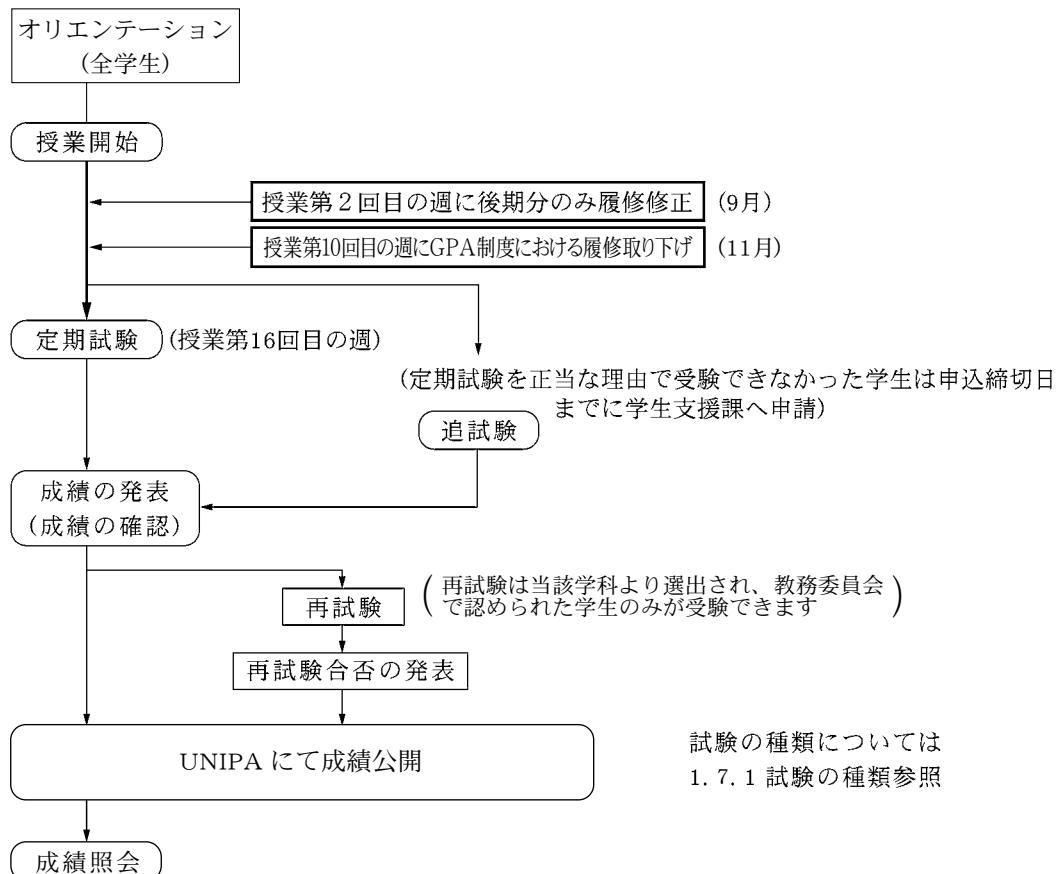
GPAによるCAPの緩和を希望する学生は、各学期の履修登録期間に教務係に申請をしてください。詳細については、ユニバを通じて連絡をします。

表1.7 単位を修得するための手続きの流れ

## [前期]



## [後期]



#### 1.6.4 履修に関する注意事項

- ①授業の第2回目の週が履修登録期間となります。
- ②履修登録期間終了後のWeb履修登録は一切できません。
- ③英語など一部の科目においては、入学時のテストなどにより受講できる科目や科目名が同じでも受講するクラス（1.5.4 クラス編成）が指定されます。
- ④同一時間帯に二つ以上の授業科目（集中講義を含む）を履修することはできません。同一科目名の授業を同じ学期内に二つ以上履修することもできません。
- ⑤一度単位を修得した科目を再度履修し、その科目の成績を変更することはできません。
- ⑥履修制限が行われる教養教育科目やGPA等による選考または抽選により受講者を決定する授業科目がありますので、Web履修登録をしたにもかかわらず授業を受講できない場合があります。受講制限の結果、受講が認められなかった科目をWeb履修登録していた場合は、学生支援課の方でWeb履修登録を取り消します。
- ⑦休学や留年により卒業が遅れて他学年の科目を履修する場合、授業科目が変更となり、読替対応となる場合があります。
- ⑧入学年度によっては読替対応していない科目がありますので、「読替対応表」を確認して履修登録を行って下さい。
- ⑨受講者心得を守れない学生は履修を取り消すことがあります。

#### 1.6.5 履修届の変更・修正

履修登録期間内であれば、履修科目的変更・修正はユニバ上で何度でも行えます。その際は、再度Webにて履修登録をしてください。このとき、必ずチェックボタンを押し、エラーがないことを確認後、確定ボタンを押してください。

履修登録が終わると個人別時間割を印刷することができますので、一度出力して授業科目や担当教員が正しく登録されているかを確認し、保管しておいてください。

#### 1.6.6 履修相談

単位修得や履修計画、あるいは履修登録の手順などに関する相談には、各学科の学生支援委員や担任、学生支援課が対応します。その際、「時間割表」や「成

績通知書」、「学修の手引」、「履修の手引」を持参してください。

#### 1.6.7 受講者心得

- ①授業を欠席・遅刻・早退しない。
- ②授業中に無断で教室の出入りをしない。
- ③授業中に飲食をしない。
- ④授業中に私語をしない。
- ⑤授業中に携帯電話や携帯ゲーム機を使用したり、漫画や雑誌などを読んだりしない。
- ⑥教室内で帽子やサングラスなどを着用しない。  
(必要な場合は事前に申し出てください。)

※上記の内容をはじめ授業中のマナーとして問題があると思われる行為や授業を放棄していると思われる行為があった場合は履修登録を取り消すことがあります。

#### 1.6.8 教養教育科目的履修制限

適正な授業運営および教育効果の向上のために、教養教育科目的選択必修科目の一部（人間性・社会性科目群、地域性・国際性科目群、スポーツ・表現活動科目群）については、学期ごとに履修可能な科目数に制限を行います。

履修可能な科目数が制限される教養教育科目については、Web履修登録前に、受講希望科目的アンケートを実施し、その結果によって受講する学生の調整を行います。受講希望科目的アンケートの詳細および履修が認められた科目については、ユニバを通じて連絡をします。

履修制限を行う教養教育科目的選択必修科目の履修可能科目数

学年	学期	
	前期	後期（※2）
1年	履修できない	2科目
2年	1科目	1科目
3年	1科目	履修できない
4年	履修できない	履修できない

#### 1.6.9 留学生の教養教育科目(外国語科目群)の履修に関する注意事項

外国人留学生は「近畿大学外国人留学生規程」の第9条と「外国人留学生の共通教養科目・外国語科目の履修に関する特例について」により、留学生の外国

語科目の履修において、公用語、母国語及びそれに準ずる日常語として使用している言語の履修が認められていません。そのため、必修・選択必修として卒業・進級に必要な外国語科目の単位は日本語科目の修得単位で代えます。詳細については、学生支援課で確認をしてください。

### 1.6.10 レポートにおける剽窃（盗用）行為（plagiarism）について

“剽窃”とは他人の著作から全部または部分的に文章、図表、語句、話の筋、思想などを盗み、自作の中に自分のものとして用いることです。友人が書いたレポート等を写す行為は剽窃ですし、ネット上の情報を自分のレポートに貼り付けてしまう行為、いわゆる「コピペ」も剽窃です。他人のテキストを自分で入力しても剽窃になります。剽窃は倫理に反することであり、著作権を侵害するなど法に触れる場合もあります。剽窃は学生として絶対に行ってはいけない不正行為なのです。

近畿大学では、剽窃に対してカニシングと同様に厳正に対処します。米国の大学等ではcheating（カニシング）と同じ扱いになり、剽窃を行ったレポートが判明すると、即座に退学させられる場合もあります。ただ、処罰対象になるからやってはいけない、ということではありません。あくまで、剽窃は倫理に反する行為、不正行為だということです。

一方で、レポートを作成するときには、様々な文献を引用することができます。様々な文献を引用することは、レポートを作成する上で重要なことです。「引用」と「剽窃・盗用」は全く異なります。文献等を引用する際に大事なことは、「自分の文章と他人の文章をレポートの中で明確に区別する」ということです。なお、引用は明確に示すこと（明瞭区別性）はもちろん、引用が従であること（主従関係）、出典を明示することなど厳格なルールが存在します。引用ルールの詳細については、近畿大学中央図書館学修サポート（[https://www.clib.kindai.ac.jp/search/study\\_support.html](https://www.clib.kindai.ac.jp/search/study_support.html)）の「レポートの書き方」や「ダメなコピペ・パクリ ≠ 剽窃（ひょうせつ）」について」などを参照してください。

レポートに書いた文章は、それを書いた人の大事な自己表現です。レポートや試験でも自分の文章に誇りを持ち、剽窃などせず、自分自身の個性を存分に發揮

令和3年度 近畿大学 産業理工学部 履修の手引  
してください。

## 1.7 試験

### 1.7.1 試験の種類

表1.8 試験の種類と内容

試験の名称	内 容	実施時期
定期試験	学生全員を対象として各学期末に行う試験（注1）	16回目授業
臨時試験	各担当教員が必要に応じて行う試験（小テストを含む）	随 時
追試験（1.7.5参考のこと）	定期試験を正当な理由（注2）で受験できなかつたと認められた場合に行う試験	定期試験終了後
再試験（1.7.7参考のこと）	定期試験・追試験を受験した結果、不合格となつた科目について、その履修年度内で実施する試験をいいます。「不受」の場合は受験できません。※ただし最終学年であるなど再試験を受験するには所定の要件を満たしておかなければなりません。 また、再試験受験科目の評価は60点を最高限度とします。	各学期末

（注1）：出席や課題の提出状況、試験の受験状況等により“授業放棄”とみなされる場合があります。この場合、定期試験の受験を認めず、成績はつかず追再試験対象科目からはずされるなどの厳しい対応が行われる場合があるので注意してください。

（注2）：忌引、不慮の交通事故、公共交通機関の事故・故障、突発的な病気など（ただし、この場合は交通機関や病院が発行した証明書が必要です）に起因する場合（表1.9参考のこと）。

### 1.7.2 定期試験

各学期末（16回目）に実施される試験であり、定期試験を実施する科目については受験しなければ成績評価が行われません。また、定期試験に替えてレポートや課題を求められる科目も同様にすべて提出しなければ成績評価が行われませんので注意してください。

### 1.7.3 試験期間

試験は授業の16回目に実施し、教室等の変更がある

場合はユニバまたは掲示板にて発表します。

#### 1.7.4 受験者心得

- ①授業の出席日数（回）が不足する学生は受験できません。
- ②試験を受験しなかった場合は成績の評価がつきません。
- ③受験者は学生証を携帯し、試験中は学生証を試験監督者の見やすいところに置いて下さい。
- ④不正行為は一切許されません。不正行為とみなされた場合には学則等により処分されます。
- ⑤20分以上遅刻すると受験できません。また、試験開始後30分間は退室できません。
- ⑥試験中は、物品（筆記具、消しゴム、計算器等）の貸借は認められません。スマートフォン・タブレット・携帯電話なども使用できません。これらを机の上に出している場合には、電源のON、OFFに関わらず不正行為とみなされます。
- ⑦学費その他の納付金の未納者は受験しても無効となる場合があります。
- ⑧その他、受験態度不良もしくは試験監督者の指示に従わない学生は、受験の停止を命じられることがあります。

#### 1.7.5 追試験制度について

定期試験を病気その他正当な理由により受験できなかった学生に対して行う試験であり、理由等を考慮したうえで認められた場合のみ受験資格が与えられます。定められた期間内に申し出て手続きを行わなければなりません。その際、科目数に応じて追試験料が必要となります。

#### 1.7.6 追試験の申請

表1.9にあげられるやむをえない事由により定期試験を受験できなかったときは、試験実施日後すぐに学生支援課に連絡し、申請期間内に手続きを行ってください。その際、所定の用紙ならびに下記に掲げる提出書類を添付して届け出してください。追試験当日に追試験科目数に応じて追試験料を納めなければいけません。

表1.9 事由および提出書類

要件	提出書類	備考
本人の病気または怪我	診断書	
二親等以内の危篤または死亡	診断書または会葬礼状	※死亡の場合は最大7日間
交通機関の遅延	交通機関が発行する遅延証明書	
就職活動の面接、試験	受験した企業が発行する証明書（日時・場所等の記載されたもの）	就職活動の3・4年次のみ
勤務都合	在職証明書および勤務理由	社会人学生のみ
交通事故（2輪・4輪）	事故証明書および本学部駐車許可書	通学途中に限る
その他大学が認めるもの	追試験理由書	

※父母・養父母・配偶者・子・・・7日

祖父母・兄弟姉妹・・・3日

その他 ・・・ 1日

#### 1.7.7 再試験制度について

最終学年の学生が履修登録をし、最終試験（定期試験・追試験）を受験した結果、不合格（成績評価「不可」）となった場合、再試験を実施することがあります。

1.7.8に再試験の受験資格と受験上の注意事項を記していますが、受験資格は学科によって異なり、教務委員会により受験資格の有無を厳密に審査します。誰もが再試験制度を利用するわけではなく、受験したら必ず合格する制度ではありません。

受験資格を確認できた学生は、決められた日時までに手続きを行わなければなりません。その際、科目数に応じて再試験料が必要となります。また、再試験受験科目の評価は60点を最高限度とします。

再試験受験有資格者は、所属学科の教員会議および教務委員会で確認し、教授会が承認する決まりとなっています。学生諸君から、科目担当教員へ直接再試験

の実施を要求することはできません。

### 1.7.8 再試験の受験資格と受験上の注意

再試験の受験資格は次のとおりです。

①学部・学科が定める受験資格を満たしていること。

受験資格の詳細については、所属学科の在学生オリエンテーション等で確認してください。また、分からぬことがありますたら、学科の教務委員の先生に尋ねてください。

②日頃、授業に取り組む努力が顕著であること。

③ほかにも、再試験受験には以下の制約があります。

- ・当該年度に履修登録し不合格となった授業科目だけが対象となる。(前年度以前に履修したことがあっても、当該年度に履修し直さないと対象になりません)
- ・非常勤講師が担当する科目は、原則再試験の対象外となる。
- ・定期試験を受験しなかった科目は、再試験を受験できない。(追試験受験を認められた科目はその限りでない)。

受験資格を認められた学生の氏名、試験科目、試験日程、受験料納付期限などは学生支援課より連絡します。

## 1.8 成績の評価と通知

### 1.8.1 成績の評価

成績の評価及び判定基準を表1.10に示します。

表1.10 成績の評価

実点評価	100~90点	89~80点	79~70点	69~60点	59点以下	不受験	放棄
評価	秀	優	良	可	不可	不受	放棄
合否	合 格			不 合 格			

不受：試験を受験しなかった者の評価であり追試験の対象となる。(理由が表1.6に該当する場合)。

放棄：授業を放棄したとみなされた者の評価であり追試や再試等の受験資格がなくなる。

### 1.8.2 成績通知の手順

◆各学期終了時に、ユニバで成績を発表します。

◆年度の初めに在学生オリエンテーションなどを通じて、学生自身にも「成績一覧表」を渡します。

### 1.8.3 成績照会

試験を受験したにもかかわらず不受験扱いになっている等、成績評価について疑問がある場合、学生支援課を通じて、担当教員に成績の確認を求める事ができます。手続きの詳細については、ユニバにより通知します。

### 1.8.4 進級判定

2年次生は年度末に、在学期間（“在学”期間は“在籍”期間とは異なります。休学期間は在籍期間には含まれますが、在学期間には含まれません。）と成績が3年次進級の条件を満たしているかどうかが判定されます。

3年次進級の条件を満たさず留年した学生は、所定の期日（通常年度始め）までに「留年届」を学生支援課に提出しなければなりません。

3年次生は年度末に、在学期間と成績が4年次進級の条件を満たしているかどうかが判定されます。

4年次進級の条件を満たさず留年した学生は、所定の期日（通常年度始め）までに「卒業延期届」を学生支援課に提出しなければなりません。

### 1.8.5 卒業判定

4年次生は後期定期試験の後、その在学期間と成績が卒業要件を満たしているかどうかが判定され、その判定結果は3月上旬に1号館1階の掲示板に「卒業有資格者一覧表」として掲示されます。

また、ユニバ上に、判定結果が表示されます。

## 1.9 表彰および懲罰

### 1.9.1 表彰

在学中の学業成績、人格ともに優秀であり、他の学生の模範となった学生に対しては、学則の定めるところにより、卒業式において学長賞や学部長賞などが授与されます。また、学友会活動などで功労のあった学生に対しては、学友会活動功労賞が授与されます。

成績優秀な学生を対象とした、当学部独自の奨学金制度もあります。(『学生生活の手引』を参照)

### 1.9.2 懲罰

学則、学生規定その他の諸規則に違反し、本学の秩序を乱した者、または素行不良その他学生としてふさわしくない行為のあった者に対しては、学則等の手続

令和3年度 近畿大学 産業理工学部 履修の手引  
きに従って譴責、謹慎、停学または退学の処分を行います。

## 1.10 連絡窓口

### 1.10.1 休学など

病気その他やむを得ない理由で3ヶ月以上授業に出席できないときは、願い出て、その許可を得て休学することができます。休学期間は、休学を許可された日から当該学期末または当該年度末までとなります。また、休学期間は、在学期間に算入されません。

その他、復学、退学、再入学、除籍、復籍といった取り扱いがあります。詳しくは教員または事務窓口に相談してください。

### 1.10.2 学生への連絡

学生に対する公示、告示およびその他の学修上周知を要する事項は、全て「掲示」およびユニバにより通知します。常にそれらを見るように心掛けてください。

### 1.10.3 大学への連絡

行事予定、休講、その他授業および試験などに関する電話による問い合わせは、間違いを生じ易く、業務上も支障がありますので一切応じていません。必要のあるときは、掲示板を見るか、学生支援課の窓口で相談してください。なお、事故などの緊急時に限り、下記の連絡先を使用できます。

連絡先：産業理工学部（電話）0948-22-5655（代表）

### 1.10.4 事務窓口・取扱時間

事務室窓口の取扱時間帯は通常以下のようになります。ただし、緊急の場合はこの限りではありません。

平 日 9:00～18:00

## 1.11 GPA (Grade Point Average) 制度について

近畿大学では、100点満点の成績評価に対応させて、成績評価の指標としてGPA(グレード・ポイント・アベレージ)制度を施行しています。GPAとは、100点満点の実点を5段階のGPに置き換え、その科目的単位数と関連させてGPの平均値を算出したもので、最高点4点から最低点0点までの数値です。

GPA制度の意義は、GPAやGPによって自分の学修の全体的な達成度合いを簡便に測ることができる点にあります。GPAあるいはGPに基づいて、自分の弱点を把握し、履修計画や学修状況を反省し、より実効性のある勉学に取り組むことができるのです。

GPAは欧米の大学で広く採用されている評価方法であり、日本の大学のクローバル化に対応する制度です。すなわち、海外留学、海外の大学院進学、外資系企業への就職などの際に幅広く通用する国際標準の成績評価制度であり、グローバル社会において必要かつ有効な制度です。

### (1) GPA値の計算方法

GPAは以下の数値と計算式で算出されます。

実点評価	100~90点	89~80点	79~70点	69~60点	59点以下	不受験
5段階評価	秀	優	良	可	不可	不受
GP グレード・ポイント	4	3	2	1	0	0

$$\text{GPA} = \frac{\{( \text{履修登録科目の単位数} ) \times ( \text{履修登録科目の GP} )\} \text{の総和}}{\text{総履修登録単位数}}$$

### ※GPA算出の具体例

科目	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K
単位数	1	2	1	2	2	2	2	1	2	2	2
実点	83	65	82	58	92	74	80	68	90	不受	85
GP	3	1	3	0	4	2	3	1	4	0	3

$$\begin{aligned} \text{GPA} &= \frac{1 \times 3 + 2 \times 1 + 1 \times 3 + 2 \times 0 + 2 \times 4 + 2 \times 2 + 2 \times 3 + 1 \times 1 + 2 \times 4 + 2 \times 0 + 2 \times 3}{1 + 2 + 1 + 2 + 2 + 2 + 2 + 1 + 2 + 2 + 2} \\ &= \frac{41}{19} = 2.2 \text{ (小数第2位を四捨五入)} \end{aligned}$$

☞ 実点は当該科目的点数を表します。

- ☞ GPA は小数第 2 位を四捨五入して、表記は小数第 1 位までとします。
- ☞ GPA の最高点は 4 点、最低点は 0 点になります。
- ☞ GPA の計算式には、GP 対象外科目（下記一覧参照）および認定科目（実点で成績を出さない科目※）は含まれません。※おもに編入学生が対象となります。
- ☞ 不可になった科目または不受験および履修放棄の科目を再履修して単位を取得した場合でも、通算の GPA には過去の各履修の GP の点（0 点）が算入されます。
- ☞ 進級要件、卒業要件には GPA を適用しません。

## （2）履修取り下げについて

履修登録後、学部が定めた期間に、学生本人から申し出があった科目に関してのみ履修の取り下げを認めます。ただし、取り下げ期間中の履修科目の変更や追加は認められません。詳しい手続き方法は、別途通知します。

## （3）GPA制度の活用

GPA の意義は、その値を自分の履修計画と学修状況を測る指標として活用する点にあります。以下の点に留意して、GPA 値を高めることに努めてください。

1. 履修登録科目について熟慮し、登録科目についてはしっかりと勉学をして試験において不可をとらないこと。
2. 不受験科目をなくすこと。そのために、履修放棄をする科目については「履修取り下げ期間」中に必ず「履修取り下げ」を行うこと。
3. 成績通知書の GPA 値あるいは各科目の GP 値を確認して自分の履修計画、学修状況を反省し、克服すべき課題を自覚すること。

### 【GP対象外科目一覧】

学科	GP対象外科目
全学科	建学のこころ、インターンシップ、基礎ゼミ、科学的問題解決法、卒業研究、留学英語、海外語学研修
電気電子工学科	初等理工学実験、初等電気工学実験、電気工学基礎実験 I、電気工学基礎実験 II、電気電子情報工学実験 I、電気電子情報工学実験 II、電子情報設計プロジェクト、電子情報工学セミナー
建築・デザイン学科	プロジェクト研究
経営ビジネス学科	プレゼンテーション I、プレゼンテーション II、ゼミナール I、ゼミナール II、グローバル・スタディ、フィールドワーク、会計処理演習、特別講義 I、特別講義 II、特別講義 III、特別講義 IV、経営分析
教職科目	職業指導、職業指導（商業）、教職論、教育学概論、教育心理学、特別活動及び総合的な学習の時間の理論と方法、教育行政学、工業科教育法 I、工業科教育法 II、理科教育法 I、理科教育法 II、情報科教育法 I、情報科教育法 II、商業科教育法 I、商業科教育法 II、特別支援教育論、教育方法論、生徒・進路指導論、教育相談、教育実習指導、教育実習、教職実践演習（高等学校）

## 2. 授業科目一覧

## 2.1 教養・基礎教育部門総括表

○：必修科目 □：選択必修科目 △：選択科目

生物環境化学科、電気電子工学科、  
建築・デザイン学科、情報学科、経営ビジネス学科

科目区分	分野	授業科目的名称	単位数	開講年次	学期	必修・選択	備考
教養教育科目	第1群 人間性・社会性科目群	現代社会と法	2	1・2	後	□	第1群の□から2単位以上修得すること
		暮らしの中の憲法	2	2・3	前	□	
		現代社会と倫理	2	1~3	前,後	□	
		哲学と人間・社会	2	2・3	前	□	
		心理と行動	2	1・2	後	□	
		環境と社会	2	2・3	前	□	
		環境と科学	2	1・2	後	□	
		企業倫理と知的財産	2	1	前	□	
		建学のこころ	1	1	後	△	
		インターンシップ	2	2・3	後	△	
		教養特殊講義A	2	2	集中	△	
	第2群 地域性・国際性科目群	国際経済入門	2	1・2	後	□	第2群の□から2単位以上修得すること
		国際社会と日本	2	1・2	後	□	
		国際化と異文化理解	2	1・2	後	□	
		日本史概論	2	1・2	前,後	□	
		日本文学論	2	2・3	前	□	
		地域社会と情報	2	1・2	後	□	
		地域社会と電気技術	2	1・2	後	□	
		教養特殊講義B	2	2	集中	△	
	第3群 課題設定・問題解決科目群	基礎ゼミ	2	1	前	○	
		科学的問題解決法	2	1	後	○	
		ライフデザイン	2	1	前	○	
		日本語の技法	1	1	後	○	
		論理的表現法I	1	2	前	○	
		論理的表現法II	2	2	後	△	
		キャリアデザイン	2	2	前	△	
		就職計画	2	3	後	△	
		情報処理I	2	1	前	○	
		情報処理II	2	1	後	△	
		情報処理III	2	2	前	△	
		教養特殊講義C	2	2	後	△	
		生涯スポーツI	1	2	前	□	第4群の□から1単位以上修得すること
		生涯スポーツII	1	2	後	□	
		健康とスポーツの科学	2	1・2	集中	□	
		食生活と健康	2	1・2	後	□	
		視覚表現の科学	2	2・3	前	□	
		空間とデザイン	2	1~3	前,後	□	

科目区分	分野	授業科目の名称	単位数	開講年次	学期	必修・選択	備考
教養教育科目	第5群 外国語 科目群	英語 I	1	1	前	○	第5群の□から4単位以上修得すること ただし、“□1”から2単位以上を含めること □*は外国人留学生のみ履修できる
		英語 II	1	1	前	○	
		英語 III	1	1	後	○	
		英語 IV	1	1	後	○	
		実用英語 I	1	2	前	□1	
		実用英語 II	1	2	後	□1	
		アドヴァンスト英語 I	1	3	前	□1	
		アドヴァンスト英語 II	1	3	後	□1	
		インタラクティブ英語 I	1	2	前	□1	
		インタラクティブ英語 II	1	2	後	□1	
		留学英語	2	2~4		△	
		中国語 I	1	2	前	□	
		中国語 II	1	2	後	□	
		フランス語 I	1	2	前	□	
		フランス語 II	1	2	後	□	
		スペイン語 I	1	2	前	□	
		スペイン語 II	1	2	後	□	
		海外語学研修	1	1~4		△	
		日本語 I	1	1	前	□*	
		日本語 II	1	2	後	□*	
		日本語 III	1	2	前	□*	
		日本語 IV	1	2	前	□*	

## 2.2 生物環境化学科総括表

○：必修科目 □：選択必修科目 △：選択科目

科目区分	分野	授業科目的名称	単位数	開講年次	学期	必修・選択			備考
						バイオサイエンス	食品生物資源	エネルギー・環境	
専門科目	基礎	数学 I	2	1	前	△	△	△	
		数学 II	2	1	後	△	△	△	
		物理学 I	2	1	前	△	△	△	
		物理学 II	2	1	後	△	△	△	
	コア	生物学 I	2	1	前	○	○	○	△*は、教職課程履修者*のみ履修できる。*Webによる履修申請だけでなく、学生支援課に教職課程受講申込書を提出し、かつ教職課程受講料を毎年度納入していかなければなりません。
		生物学 II	2	1	後	□	□	□	
		物理化学 I	2	2	前	○	○	○	
		物理化学 II	2	2	後	□	□	□	
		有機化学 I	2	1	前	○	○	○	
		有機化学 II	2	1	後	□	□	□	
		無機化学 I	2	1	前	○	○	○	
		無機化学 II	2	1	後	□	□	□	
		分析化学	2	1	後	□	□	□	
		地学概論	4	2	通年	△*	△*	△*	
		アカデミック有機化学 II	2	2	後	△	△	△	
		環境材料化学	2	3	前	△	△	□	
		生物資源利用学	2	3	前	△	□	△	
		栄養化学	2	3	後	△	△	△	
	実験・演習	バイオ分析化学	2	2	前	□	□	△	
		アカデミック物理化学	2	2・3	後	△	△	□	
		アカデミック有機化学 I	2	2・3	前	△	△	□	
		生物環境化学特別講義 I	2	1~4	前	△	△	△	
		生物環境化学特別講義 II	2	2・3・4	後	△	△	△	
		生理学	2	2	後	□	□	△	
		公衆衛生学	2	3	後	△	□	△	
		分光分析法	2	2	後	△	△	△	
	展開（環境化学系）	卒業研究	6	4	通年	○	○	○	
		生物環境化学基礎実験	3	1	前	○	○	○	
		環境化学基礎実験	3	1	後	○	○	○	
		生物化学基礎実験	3	2	前	○	○	○	
		物質化学基礎実験	3	2	後	○	○	○	
		環境化学実験	3	3	前	○	○	○	
		物質化学実験	3	3	前	○	○	○	
		生物化学実験	3	3	後	○	○	○	
		生物環境化学実験	3	3	後	○	○	○	
		公害防止管理	2	2	後	△	△	□	
		環境バイオテクノロジー	2	2	後	△	□	□	
		環境とバイオの統計学	2	2	前	□	△	△	
		資源エネルギー化学	2	3	前	△	△	□	
		環境生物学	2	3	前	□	△	△	
		食品衛生学	2	2	後	△	□	△	
		環境計量学	2	3	前	△	△	□	
		生物化学 I	2	2	前	□	□	△	
		生物化学 II	2	2	後	△	△	△	
		分子遺伝学	2	3	前	□	△	△	

科目区分	分野	授業科目的名称	単位数	開講年次	学期	必修・選択			備考
						バイオサイエンス	食品生物資源	エネルギー・環境	
専門科目	展開(生物化学系)	生物有機化学	2	3	前	□	△	△	
		バイオセンシング	2	3	前	△	△	△	
		微生物学	2	2	前	△	□	△	
		微生物バイオテクノロジー	2	3	後	□	□	△	
		遺伝子工学	2	3	後	□	△	△	
		食品化学	2	3	後	△	□	△	
		食品保存学	2	3	前	△	□	△	
		栄養学	2	1	前	△	△	△	
専門科目	展開(材料化学系)	高分子合成化学	2	3	前	△	△	△	
		高分子物性	2	3	後	△	△	△	
		化学と安全	2	1	後	△	△	□	
		分子シミュレーション	2	3	前	△	△	□	
		固体化学	2	2	後	△	△	□	
		先端無機材料化学	2	3	前	△	△	△	
		先端有機材料化学	2	3	前	△	△	△	
		有機合成化学	2	3	後	△	△	△	
		生体機能分子化学	2	3	後	△	△	△	

## 生物環境化学科 バイオサイエンスコース

○：必修 □：選択必修 △：選択

	1年		2年		3年		4年		備考
	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	
第1群	<input type="checkbox"/> 企業倫理と知的財産	2	<input type="checkbox"/> 現代社会と倫理	2	<input type="checkbox"/> 暮らしの中の憲法	2			第1群の□から2単位以上修得すること
	<input type="checkbox"/> 現代社会と倫理	2	<input type="checkbox"/> 環境と科学	2	<input type="checkbox"/> 哲学と人間・社会	2			
	<input type="checkbox"/> 環境と科学	2	<input type="checkbox"/> 現代社会と法	2	<input type="checkbox"/> 環境と社会	2			
	<input type="checkbox"/> 現代社会と法	2	<input type="checkbox"/> 暮らしの中の憲法	2	<input type="triangle"/> インターンシップ	2			
	<input type="triangle"/> 建学のこころ	1	<input type="checkbox"/> 哲学と人間・社会	2					
	<input type="checkbox"/> 心理と行動	2	<input type="checkbox"/> 心理と行動	2					
			<input type="checkbox"/> 環境と社会	2					
			<input type="triangle"/> インターンシップ	2					
第2群			<input type="checkbox"/> 教養特殊講義A	2					第2群の□から2単位以上修得すること
	<input type="checkbox"/> 國際經濟入門	2	<input type="checkbox"/> 國際經濟入門	2	<input type="checkbox"/> 日本文學論	2			
	<input type="checkbox"/> 國際社會と日本	2	<input type="checkbox"/> 國際社會と日本	2					
	<input type="checkbox"/> 國際化と異文化理解	2	<input type="checkbox"/> 國際化と異文化理解	2					
	<input type="checkbox"/> 地域社會と情報	2	<input type="checkbox"/> 地域社會と情報	2					
	<input type="checkbox"/> 地域社會と電氣技術	2	<input type="checkbox"/> 地域社會と電氣技術	2					
	<input type="checkbox"/> 日本史概論	2	<input type="checkbox"/> 日本史概論	2					
			<input type="checkbox"/> 日本文學論	2					
第3群 教養教育科目	<input type="circle"/> 基礎ゼミ	2	<input type="circle"/> 論理的表現法I	1	<input type="triangle"/> 就職計画	2			第4群の□から1単位以上修得すること
	<input type="circle"/> 科學的問題解決法	2	<input type="triangle"/> 論理的表現法II	2					
	<input type="circle"/> ライフデザイン	2	<input type="triangle"/> キャリアデザイン	2					
	<input type="circle"/> 日本語の技法	1	<input type="triangle"/> 情報処理III	2					
	<input type="circle"/> 情報処理I	2	<input type="triangle"/> 教養特殊講義C	2					
	<input type="triangle"/> 情報処理II	2							
	<input type="checkbox"/> 健康とスポーツの科学	2	<input type="checkbox"/> 生涯スポーツI	1	<input type="checkbox"/> 視覚表現の科学	2			
	<input type="checkbox"/> 食生活と健康	2	<input type="checkbox"/> 生涯スポーツII	1	<input type="checkbox"/> 空間とデザイン	2			
第4群	<input type="checkbox"/> 空間とデザイン	2	<input type="checkbox"/> 食生活と健康	2					第5群の□から4単位以上修得すること ただし、□1から2単位以上を含めること □*は外国人留学生のみ履修できる
			<input type="checkbox"/> 空間とデザイン	2					
			<input type="checkbox"/> 健康とスポーツの科学	2					
			<input type="checkbox"/> 視覚表現の科学	2					
	<input type="circle"/> 英語I	1	<input type="checkbox"/> 実用英語I	1	<input type="checkbox"/> アドヴァンスト英語I	1	<input type="triangle"/> 海外語学研修	1	
	<input type="circle"/> 英語II	1	<input type="checkbox"/> 実用英語II	1	<input type="checkbox"/> アドヴァンスト英語II	1	<input type="triangle"/> 留学英語	2	
	<input type="circle"/> 英語III	1	<input type="checkbox"/> インタラクティブ英語I	1	<input type="triangle"/> 海外語学研修	1			
	<input type="circle"/> 英語IV	1	<input type="checkbox"/> インタラクティブ英語II	1	<input type="triangle"/> 留学英語	2			
第5群	<input type="checkbox"/> * 日本語I	1	<input type="checkbox"/> * 日本語II	1					第5群の□から4単位以上修得すること ただし、□1から2単位以上を含めること □*は外国人留学生のみ履修できる
	<input type="triangle"/> 海外語学研修	1	<input type="checkbox"/> * 日本語III	1					
			<input type="checkbox"/> * 日本語IV	1					
			<input type="checkbox"/> 中国語I	1					
			<input type="checkbox"/> 中国語II	1					
			<input type="checkbox"/> フランス語I	1					
			<input type="checkbox"/> フランス語II	1					
			<input type="checkbox"/> スペイン語I	1					
			<input type="checkbox"/> スペイン語II	1					
			<input type="triangle"/> 海外語学研修	1					
			<input type="triangle"/> 留学英語	2					

	1年		2年		3年		4年		備考
	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	
専門科目	○ 生物学 I	2	○ 物理化学 I	2	○ 環境化学実験	3	○ 卒業研究	6	△*は、教職課程履修者*のみ履修できる。*Webによる履修申請だけでなく、学生支援課に教職課程受講申込書を提出し、かつ教職課程受講料を毎年度納入していなければなりません。
	○ 有機化学 I	2	○ 生物化学基礎実験	3	○ 物質化学実験	3	△ 生物環境化学特別講義 I	2	
	○ 無機化学 I	2	○ 物質化学基礎実験	3	○ 生物化学実験	3	△ 生物環境化学特別講義 II	2	
	○ 生物環境化学基礎実験	3	□ 物理化学 II	2	○ 生物環境化学実験	3			
	○ 環境化学基礎実験	2	□ バイオ分析化学	2	□ 環境生物学	2			
	□ 生物学 II	2	□ 生理学	2	□ 分子遺伝学	2			
	□ 有機化学 II	2	□ 環境とバイオの統計学	2	□ 生物有機化学	2			
	□ 無機化学 II	2	□ 生物化学 I	2	□ 微生物バイオテクノロジー	2			
	□ 分析化学	2	△ アカデミック有機化学 II	2	□ 遺伝子工学	2			
	△ 数学 I	2	△ アカデミック物理化学	2	△ 生物資源利用学	2			
	△ 数学 II	2	△ アカデミック有機化学 I	2	△ 栄養化学	2			
	△ 物理学 I	2	△ 生物環境化学特別講義 I	2	△ アカデミック物理化学	2			
	△ 物理学 II	2	△ 生物環境化学特別講義 II	2	△ アカデミック有機化学 I	2			
	△ 生物環境化学特別講義 I	2	△ 分光分析法	2	△ 生物環境化学特別講義 I	2			
	△ 栄養学	2	△ 公害防止管理	2	△ 生物環境化学特別講義 II	2			
	△ 化学と安全	2	△ 環境バイオテクノロジー	2	△ 公衆衛生学	2			
			△ 食品衛生学	2	△ 資源エネルギー化学	2			
			△ 生物化学 II	2	△ 環境計量学	2			
			△ 微生物学	2	△ バイオセンシング	2			
			△ 固体化学	2	△ 食品化学	2			
			△ 地学概論	4	△ 食品保存学	2			
					△ 高分子合成化学	2			
					△ 高分子物性	2			
					△ 分子シミュレーション	2			
					△ 先端無機材料化学	2			
					△ 先端有機材料化学	2			
					△ 有機合成化学	2			
					△ 生体機能分子化学	2			
					△ 環境材料化学	2			

## 【3年次進級条件（2年次から3年次へ）】

- (1) 2年間以上在学していること  
 (2) 所属するコースで開講されている教養教育科目および専門科目における必修／選択必修／選択科目の中から総計61単位以上を修得していること  
 ※教職課程科目のうち教職に関する科目は進級の所要単位に算入しない

## 【4年次進級条件（3年次から4年次へ）】

- (1) 3年間以上在学していること  
 (2) 所属するコースで開講されている教養教育科目および専門科目における必修／選択必修／選択科目の中から総計110単位以上を修得していること  
 (3) 所属するコースで3年次までに開講されている教養教育科目および専門科目における必修科目の全単位を修得していること  
 ※教職課程科目のうち教職に関する科目は進級の所要単位に算入しない

## 【卒業要件】

- (1) 4年間以上在学していること  
 (2) 所属するコースで開講されている教養教育科目および専門科目における必修／選択必修／選択科目の中から総計124単位以上を修得していること  
 (3) 所属するコースで開講されている教養教育科目および専門科目における必修科目の全単位を修得していること  
 (4) 教養教育科目の中から必修科目14単位、選択必修科目9単位以上を含む総計28単位以上を修得していること  
 (5) 教養教育科目の選択必修科目については、第1科目群から2単位以上、第2科目群から2単位以上、第4科目群から1単位以上、第5科目群から英語科目2単位以上を含む4単位以上を修得していること  
 (6) 所属するコースで開講されている専門科目の中から必修科目38単位、選択必修科目14単位以上を含む総計70単位以上を修得していること  
 ※ 教職課程科目のうち教職に関する科目は卒業の所要単位に算入しない

## 生物環境化学科 食品生物資源コース

○：必修 □：選択必修 △：選択

	1年		2年		3年		4年		備考
	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	
第1群	<input type="checkbox"/> 企業倫理と知的財産	2	<input type="checkbox"/> 現代社会と倫理	2	<input type="checkbox"/> 暮らしの中の憲法	2			第1群の□から2単位以上修得すること
	<input type="checkbox"/> 現代社会と倫理	2	<input type="checkbox"/> 環境と科学	2	<input type="checkbox"/> 哲学と人間・社会	2			
	<input type="checkbox"/> 環境と科学	2	<input type="checkbox"/> 現代社会と法	2	<input type="checkbox"/> 環境と社会	2			
	<input type="checkbox"/> 現代社会と法	2	<input type="checkbox"/> 暮らしの中の憲法	2	<input type="triangle"/> インターンシップ	2			
	<input type="triangle"/> 建学のこころ	1	<input type="checkbox"/> 哲学と人間・社会	2					
	<input type="checkbox"/> 心理と行動	2	<input type="checkbox"/> 心理と行動	2					
			<input type="checkbox"/> 環境と社会	2					
			<input type="triangle"/> インターンシップ	2					
第2群			<input type="checkbox"/> 教養特殊講義A	2					第2群の□から2単位以上修得すること
	<input type="checkbox"/> 國際經濟入門	2	<input type="checkbox"/> 國際經濟入門	2	<input type="checkbox"/> 日本文學論	2			
	<input type="checkbox"/> 國際社會と日本	2	<input type="checkbox"/> 國際社會と日本	2					
	<input type="checkbox"/> 國際化と異文化理解	2	<input type="checkbox"/> 國際化と異文化理解	2					
	<input type="checkbox"/> 地域社會と情報	2	<input type="checkbox"/> 地域社會と情報	2					
	<input type="checkbox"/> 地域社會と電氣技術	2	<input type="checkbox"/> 地域社會と電氣技術	2					
	<input type="checkbox"/> 日本史概論	2	<input type="checkbox"/> 日本史概論	2					
			<input type="checkbox"/> 日本文學論	2					
教養教育科目 第3群	<input type="circle"/> 基礎ゼミ	2	<input type="circle"/> 論理的表現法I	1	<input type="triangle"/> 就職計画	2			第4群の□から1単位以上修得すること
	<input type="circle"/> 科學的問題解決法	2	<input type="triangle"/> 論理的表現法II	2					
	<input type="circle"/> ライフデザイン	2	<input type="triangle"/> キャリアデザイン	2					
	<input type="circle"/> 日本語の技法	1	<input type="triangle"/> 情報処理III	2					
	<input type="circle"/> 情報処理I	2	<input type="triangle"/> 教養特殊講義C	2					
	<input type="triangle"/> 情報処理II	2							
第4群	<input type="checkbox"/> 健康とスポーツの科学	2	<input type="checkbox"/> 生涯スポーツI	1	<input type="checkbox"/> 視覚表現の科学	2			第5群の□から4単位以上修得すること ただし、“□1”から2単位以上を含めること □*は外国人留学生のみ履修できる
	<input type="checkbox"/> 食生活と健康	2	<input type="checkbox"/> 生涯スポーツII	1	<input type="checkbox"/> 空間とデザイン	2			
	<input type="checkbox"/> 空間とデザイン	2	<input type="checkbox"/> 食生活と健康	2					
			<input type="checkbox"/> 空間とデザイン	2					
			<input type="checkbox"/> 健康とスポーツの科学	2					
			<input type="checkbox"/> 視覚表現の科学	2					
第5群	<input type="circle"/> 英語I	1	<input type="checkbox"/> 1 実用英語I	1	<input type="checkbox"/> 1 アドヴァンスト英語I	1	<input type="triangle"/> 海外語学研修	1	第5群の□から4単位以上修得すること ただし、“□1”から2単位以上を含めること □*は外国人留学生のみ履修できる
	<input type="circle"/> 英語II	1	<input type="checkbox"/> 1 実用英語II	1	<input type="checkbox"/> 1 アドヴァンスト英語II	1	<input type="triangle"/> 留学英語	2	
	<input type="circle"/> 英語III	1	<input type="checkbox"/> 1 インタラクティブ英語I	1	<input type="triangle"/> 海外語学研修	1			
	<input type="circle"/> 英語IV	1	<input type="checkbox"/> 1 インタラクティブ英語II	1	<input type="triangle"/> 留学英語	2			
	<input type="checkbox"/> * 日本語I	1	<input type="checkbox"/> * 日本語II	1					
	<input type="triangle"/> 海外語学研修	1	<input type="checkbox"/> * 日本語III	1					
			<input type="checkbox"/> * 日本語IV	1					
			<input type="checkbox"/> 中国語I	1					
			<input type="checkbox"/> 中国語II	1					
			<input type="checkbox"/> フランス語I	1					
			<input type="checkbox"/> フランス語II	1					
			<input type="checkbox"/> スペイン語I	1					
			<input type="checkbox"/> スペイン語II	1					
			<input type="triangle"/> 海外語学研修	1					
			<input type="triangle"/> 留学英語	2					

	1年		2年		3年		4年		備考
	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	
専門科目	○ 生物学 I	2	○ 物理化学 I	2	○ 環境化学実験	3	○ 卒業研究	6	△*は、教職課程履修者*のみ履修できる。*Webによる履修申請だけでなく、学生支援課に教職課程受講申込書を提出し、かつ教職課程受講料を毎年度納入していなければなりません。
	○ 有機化学 I	2	○ 生物化学基礎実験	3	○ 物質化学実験	3	△ 生物環境化学特別講義 I	2	
	○ 無機化学 I	2	○ 物質化学基礎実験	3	○ 生物化学実験	3	△ 生物環境化学特別講義 II	2	
	○ 生物環境化学基礎実験	3	□ 物理化学 II	2	○ 生物環境化学実験	3			
	○ 環境化学基礎実験	3	□ バイオ分析化学	2	□ 生物資源利用学	2			
	□ 生物学 II	2	□ 生理学	2	□ 公衆衛生学	2			
	□ 有機化学 II	2	□ 環境バイオテクノロジー	2	□ 微生物バイオテクノロジー	2			
	□ 無機化学 II	2	□ 食品衛生学	2	□ 食品化学	2			
	□ 分析化学	2	□ 生物化学 I	2	□ 食品保存学	2			
	△ 数学 I	2	□ 微生物学	2	△ 栄養化学	2			
	△ 数学 II	2	△ アカデミック有機化学 II	2	△ アカデミック物理化学	2			
	△ 物理学 I	2	△ アカデミック物理化学	2	△ アカデミック有機化学 I	2			
	△ 物理学 II	2	△ アカデミック有機化学 I	2	△ 生物環境化学特別講義 I	2			
	△ 生物環境化学特別講義 I	2	△ 生物環境化学特別講義 II	2	△ 生物環境化学特別講義 II	2			
	△ 栄養学	2	△ 生物環境化学特別講義 II	2	△ 資源エネルギー化学	2			
	△ 化学と安全	2	△ 分光分析法	2	△ 環境生物学	2			
			△ 公害防止管理	2	△ 環境計量学	2			
			△ 環境とバイオの統計学	2	△ 分子遺伝学	2			
			△ 生物化学 II	2	△ 生物有機化学	2			
			△ 固体化学	2	△ バイオセンシング	2			
			△ 地学概論	4	△ 遺伝子工学	2			
					△ 高分子合成化学	2			
					△ 高分子物性	2			
					△ 分子シミュレーション	2			
					△ 先端無機材料化学	2			
					△ 先端有機材料化学	2			
					△ 有機合成化学	2			
					△ 生体機能分子化学	2			
					△ 環境材料化学	2			

## 【3年次進級条件（2年次から3年次へ）】

- (1) 2年間以上在学していること  
 (2) 所属するコースで開講されている教養教育科目および専門科目における必修／選択必修／選択科目の中から総計61単位以上を修得していること  
 ※教職課程科目のうち教職に関する科目は進級の所要単位に算入しない

## 【4年次進級条件（3年次から4年次へ）】

- (1) 3年間以上在学していること  
 (2) 所属するコースで開講されている教養教育科目および専門科目における必修／選択必修／選択科目の中から総計110単位以上を修得していること  
 (3) 所属するコースで3年次までに開講されている教養教育科目および専門科目における必修科目の全単位を修得していること  
 ※教職課程科目のうち教職に関する科目は進級の所要単位に算入しない

## 【卒業要件】

- (1) 4年間以上在学していること  
 (2) 所属するコースで開講されている教養教育科目および専門科目における必修／選択必修／選択科目の中から総計124単位以上を修得していること  
 (3) 所属するコースで開講されている教養教育科目および専門科目における必修科目の全単位を修得していること  
 (4) 教養教育科目の中から必修科目14単位、選択必修科目9単位以上を含む総計28単位以上を修得していること  
 (5) 教養教育科目の選択必修科目については、第1科目群から2単位以上、第2科目群から2単位以上、第4科目群から1単位以上、第5科目群から英語科目2単位以上を含む4単位以上を修得していること  
 (6) 所属するコースで開講されている専門科目の中から必修科目38単位、選択必修科目14単位以上を含む総計70単位以上を修得していること  
 ※教職課程科目のうち教職に関する科目は卒業の所要単位に算入しない

## 生物環境化学科 エネルギー・環境コース

○：必修 □：選択必修 △：選択

	1年		2年		3年		4年		備考
	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	
第1群	<input type="checkbox"/> 企業倫理と知的財産	2	<input type="checkbox"/> 現代社会と倫理	2	<input type="checkbox"/> 暮らしの中の憲法	2			第1群の□から2単位以上修得すること
	<input type="checkbox"/> 現代社会と倫理	2	<input type="checkbox"/> 環境と科学	2	<input type="checkbox"/> 哲学と人間・社会	2			
	<input type="checkbox"/> 環境と科学	2	<input type="checkbox"/> 現代社会と法	2	<input type="checkbox"/> 環境と社会	2			
	<input type="checkbox"/> 現代社会と法	2	<input type="checkbox"/> 暮らしの中の憲法	2	<input type="triangle"/> インターンシップ	2			
	<input type="triangle"/> 建学のこころ	1	<input type="checkbox"/> 哲学と人間・社会	2					
	<input type="checkbox"/> 心理と行動	2	<input type="checkbox"/> 心理と行動	2					
			<input type="checkbox"/> 環境と社会	2					
			<input type="triangle"/> インターンシップ	2					
第2群			<input type="checkbox"/> 教養特殊講義A	2					第2群の□から2単位以上修得すること
	<input type="checkbox"/> 國際經濟入門	2	<input type="checkbox"/> 國際經濟入門	2	<input type="checkbox"/> 日本文學論	2			
	<input type="checkbox"/> 國際社會と日本	2	<input type="checkbox"/> 國際社會と日本	2					
	<input type="checkbox"/> 國際化と異文化理解	2	<input type="checkbox"/> 國際化と異文化理解	2					
	<input type="checkbox"/> 地域社會と情報	2	<input type="checkbox"/> 地域社會と情報	2					
	<input type="checkbox"/> 地域社會と電氣技術	2	<input type="checkbox"/> 地域社會と電氣技術	2					
	<input type="checkbox"/> 日本史概論	2	<input type="checkbox"/> 日本史概論	2					
			<input type="checkbox"/> 日本文學論	2					
第3群 教養教育科目	<input type="circle"/> 基礎ゼミ	2	<input type="circle"/> 論理的表現法I	1	<input type="triangle"/> 就職計画	2			第4群の□から1単位以上修得すること
	<input type="circle"/> 科學的問題解決法	2	<input type="triangle"/> 論理的表現法II	2					
	<input type="circle"/> ライフデザイン	2	<input type="triangle"/> キャリアデザイン	2					
	<input type="circle"/> 日本語の技法	1	<input type="triangle"/> 情報処理III	2					
	<input type="circle"/> 情報処理I	2	<input type="triangle"/> 教養特殊講義C	2					
	<input type="triangle"/> 情報処理II	2							
	<input type="checkbox"/> 健康とスポーツの科学	2	<input type="checkbox"/> 生涯スポーツI	1	<input type="checkbox"/> 視覚表現の科学	2			
	<input type="checkbox"/> 食生活と健康	2	<input type="checkbox"/> 生涯スポーツII	1	<input type="checkbox"/> 空間デザイン	2			
第4群	<input type="checkbox"/> 空間とデザイン	2	<input type="checkbox"/> 食生活と健康	2					第5群の□から4単位以上修得すること ただし、“□1”から2単位以上を含めること □*は外国人留学生のみ履修できる
			<input type="checkbox"/> 空間とデザイン	2					
			<input type="checkbox"/> 健康とスポーツの科学	2					
			<input type="checkbox"/> 視覚表現の科学	2					
	<input type="circle"/> 英語I	1	<input type="checkbox"/> 1 実用英語I	1	<input type="checkbox"/> 1 アドヴァンスト英語I	1	<input type="triangle"/> 海外語学研修	1	
	<input type="circle"/> 英語II	1	<input type="checkbox"/> 1 実用英語II	1	<input type="checkbox"/> 1 アドヴァンスト英語II	1	<input type="triangle"/> 留学英語	2	
	<input type="circle"/> 英語III	1	<input type="checkbox"/> 1 インタラクティブ英語I	1	<input type="triangle"/> 海外語学研修	1			
	<input type="circle"/> 英語IV	1	<input type="checkbox"/> 1 インタラクティブ英語II	1	<input type="triangle"/> 留学英語	2			
第5群	<input type="checkbox"/> * 日本語I	1	<input type="checkbox"/> * 日本語II	1					
	<input type="triangle"/> 海外語学研修	1	<input type="checkbox"/> * 日本語III	1					
			<input type="checkbox"/> * 日本語IV	1					
			<input type="checkbox"/> 中国語I	1					
			<input type="checkbox"/> 中国語II	1					
			<input type="checkbox"/> フランス語I	1					
			<input type="checkbox"/> フランス語II	1					
			<input type="checkbox"/> スペイン語I	1					
			<input type="checkbox"/> スペイン語II	1					
			<input type="triangle"/> 海外語学研修	1					
			<input type="triangle"/> 留学英語	2					

	1年		2年		3年		4年		備考
	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	
専門科目	○ 生物学 I	2	○ 物理化学 I	2	○ 環境化学実験	3	○ 卒業研究	6	△*は、教職課程履修者*のみ履修できる。*Webによる履修申請だけでなく、学生支援課に教職課程受講申込書を提出し、かつ教職課程受講料を毎年度納入していなければなりません。
	○ 有機化学 I	2	○ 生物化学基礎実験	3	○ 物質化学実験	3	△ 生物環境化学特別講義 I	2	
	○ 無機化学 I	2	○ 物質化学基礎実験	3	○ 生物化学実験	3	△ 生物環境化学特別講義 II	2	
	○ 生物環境化学基礎実験	3	□ 物理化学 II	2	○ 生物環境化学実験	3			
	○ 環境化学基礎実験	3	□ アカデミック物理化学	2	□ アカデミック物理化学	2			
	□ 生物学 II	2	□ アカデミック有機化学 I	2	□ アカデミック有機化学 I	2			
	□ 有機化学 II	2	□ 公害防止管理	2	□ 資源エネルギー化学	2			
	□ 無機化学 II	2	□ 環境バイオテクノロジー	2	□ 環境計量学	2			
	□ 分析化学	2	□ 固体化学	2	□ 分子シミュレーション	2			
	□ 化学と安全	2	△ アカデミック有機化学 II	2	□ 環境材料化学	2			
	△ 数学 I	2	△ バイオ分析化学	2	△ 生物資源利用学	2			
	△ 数学 II	2	△ 生物環境化学特別講義 I	2	△ 栄養化学	2			
	△ 物理学 I	2	△ 生物環境化学特別講義 II	2	△ 生物環境化学特別講義 I	2			
	△ 物理学 II	2	△ 生理学	2	△ 生物環境化学特別講義 II	2			
	△ 生物環境化学特別講義 I	2	△ 分光分析法	2	△ 公衆衛生学	2			
	△ 栄養学	2	△ 環境とバイオの統計学	2	△ 環境生物学	2			
			△ 食品衛生学	2	△ 分子遺伝学	2			
			△ 生物化学 I	2	△ 生物有機化学	2			
			△ 生物化学 II	2	△ バイオセンシング	2			
			△ 微生物学	2	△ 微生物バイオテクノロジー	2			
			△ 地学概論	4	△ 遺伝子工学	2			
					△ 食品化学	2			
					△ 食品保存学	2			
					△ 高分子合成化学	2			
					△ 高分子物性	2			
					△ 先端無機材料化学	2			
					△ 先端有機材料化学	2			
					△ 有機合成化学	2			
					△ 生体機能分子化学	2			

## 【3年次進級条件（2年次から3年次へ）】

- (1) 2年間以上在学していること  
 (2) 所属するコースで開講されている教養教育科目および専門科目における必修／選択必修／選択科目の中から総計61単位以上を修得していること  
 ※教職課程科目のうち教職に関する科目は進級の所要単位に算入しない

## 【4年次進級条件（3年次から4年次へ）】

- (1) 3年間以上在学していること  
 (2) 所属するコースで開講されている教養教育科目および専門科目における必修／選択必修／選択科目の中から総計110単位以上を修得していること  
 (3) 所属するコースで3年次までに開講されている教養教育科目および専門科目における必修科目の全単位を修得していること  
 ※教職課程科目のうち教職に関する科目は進級の所要単位に算入しない

## 【卒業要件】

- (1) 4年間以上在学していること  
 (2) 所属するコースで開講されている教養教育科目および専門科目における必修／選択必修／選択科目の中から総計124単位以上を修得していること  
 (3) 所属するコースで開講されている教養教育科目および専門科目における必修科目の全単位を修得していること  
 (4) 教養教育科目の中から必修科目14単位、選択必修科目9単位以上を含む総計28単位以上を修得していること  
 (5) 教養教育科目の選択必修科目については、第1科目群から2単位以上、第2科目群から2単位以上、第4科目群から1単位以上、第5科目群から英語科目2単位以上を含む4単位以上を修得していること  
 (6) 所属するコースで開講されている専門科目の中から必修科目38単位、選択必修科目14単位以上を含む総計70単位以上を修得していること  
 ※教職課程科目のうち教職に関する科目は卒業の所要単位に算入しない

## 2.3 電気電子工学科総括表

○：必修科目 □：選択必修科目 △：選択科目

科目区分	分野	授業科目の名称	単位数	開講年次	学期	必修・選択			備考
						応用エレクトロニクス	エネルギー・環境	情報通信	
専門科目	基礎	基礎数学	2	1	前	○	○	○	応用エレクトロニクスコース
		基礎数学演習	2	1	前	○	○	○	□ 6 : 10単位以上
		電気電子数学	2	1	後	○	○	○	
		電気電子数学演習	2	1	後	○	○	○	
		応用数学 I	2	2	前	□6	□6	□6	エネルギー・環境コース
		応用数学 II	2	3	前	□6	□6	□6	□ 6 : 12単位以上
		初等電磁気学	2	1	前	○	○	○	
		初等信号理論	2	1	前	○	○	○	
		シミュレーション	2	1	後	○	○	○	情報通信コース
		コンピュータ概論	2	1	後	○	○	○	□ 6 : 16単位以上
		エレクトロニクス概論	2	1	前	○	○	○	
	電気基礎	電磁気学 I	2	1	後	○	○	○	
		電磁気学 II	2	2	前	○	○	□6	
		電気回路 I	2	1	前	○	○	○	
		電気回路 I 演習	2	1	後	○	○	○	
		電気回路 II	2	1	後	○	○	○	
		電気回路 III	2	2	後	○	○	□6	
	電子工学	電子回路 I	2	2	前	○	○	○	
		電子回路 I 演習	2	2	後	○	○	○	
		電子回路 II	2	2	前	○	○	□6	
		電子回路 設計	2	3	後	○	○	△	
		計測工学	2	2	前	○	○	○	
		電気材料物性	2	3	後	□6	□6	△	
		半導体工学	2	3	前	□6	△	△	
		集積回路	2	3	後	○	△	□6	
	電力工学	電力システム概論	2	2	後	□6	○	△	
		電気機器	2	3	前	△	○	△	
		パワーエレクトロニクス	2	3	後	△	○	△	
		発変電工学	2	3	前	△	□6	△	
		送配電工学	2	3	後	△	□6	△	
		電気法規・施設管理	2	4	前	△	□6	△	
		エネルギー環境システム	2	3	後	○	○	△	
	計算機工学	計算機システム	2	2	前	○	○	○	
		論理回路	2	2	後	○	○	○	
		論理回路演習	2	2	後	□6	□6	□6	
		プログラミング	2	2	前	○	○	○	
		プログラミング演習	2	2	後	○	○	○	
		データ処理とプログラミング	2	2	後	○	△	○	
	情報・通信システム	電磁波工学	2	3	前	□6	□6	□6	
		無線通信工学	2	3	後	□6	△	□6	
		情報通信工学	2	3	前	○	△	○	
		情報ネットワーク	2	3	後	□6	△	○	
		情報と職業	2	1	前	△	△	△	
		情報社会と倫理	2	1	後	△	△	△	
		情報と法	2	3	前	△	△	△	

科目区分	分野	授業科目の名称	単位数	開講年次	学期	必修・選択			備考
						応用エレクトロニクス	エネルギー・環境	情報通信	
専門科目	応用エレクトロニクス	システムプログラミング	2	2	後	○	△	○	
		制御工学	2	3	前	○	△	□6	
		組込み制御	2	3	前	○	△	○	
		ロボティクス	2	3	後	□6	△	□6	
		情報センシング	2	3	後	○	△	□6	
	実験・実習	情報メディア工学	2	4	前	△	△	□6	
		初等理工学実験	1	1	前	○	○	○	
		初等電気工学実験	1	1	後	○	○	○	
		電気工学基礎実験 I	2	2	前	○	○	○	
		電気工学基礎実験 II	2	2	後	○	○	○	
		電気電子情報工学実験 I	2	3	前	○	○	○	
		電気電子情報工学実験 II	2	3	後	○	○	○	
		電子情報設計プロジェクト	2	3	後	○	○	○	
		電子情報工学セミナー	2	3	後	○	○	○	
		電機設計・製図	2	4	前	△	□6	△	
		卒業研究	6	4	通年	○	○	○	

## 電気電子工学科 応用エレクトロニクスコース

○：必修 □：選択必修 △：選択

	1年		2年		3年		4年		備考
	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	
第1群	<input type="checkbox"/> 企業倫理と知的財産	2	<input type="checkbox"/> 環境と科学	2	<input type="checkbox"/> 暮らしの中の憲法	2			第1群の□から2単位以上修得すること
	<input type="checkbox"/> 現代社会と倫理	2	<input type="checkbox"/> 現代社会と法	2	<input type="checkbox"/> 哲学と人間・社会	2			
	<input type="checkbox"/> 環境と科学	2	<input type="checkbox"/> 暮らしの中の憲法	2	<input type="checkbox"/> 環境と社会	2			
	<input type="checkbox"/> 現代社会と法	2	<input type="checkbox"/> 哲学と人間・社会	2	<input type="triangle"/> インターンシップ	2			
	<input type="triangle"/> 建学のこころ	1	<input type="checkbox"/> 心理と行動	2					
	<input type="checkbox"/> 心理と行動	2	<input type="checkbox"/> 環境と社会	2					
			<input type="triangle"/> インターンシップ	2					
			<input type="triangle"/> 教養特殊講義A	2					
第2群	<input type="checkbox"/> 國際經濟入門	2	<input type="checkbox"/> 國際經濟入門	2	<input type="checkbox"/> 日本文學論	2			第2群の□から2単位以上修得すること
	<input type="checkbox"/> 國際社會と日本	2	<input type="checkbox"/> 國際社會と日本	2					
	<input type="checkbox"/> 國際化と異文化理解	2	<input type="checkbox"/> 國際化と異文化理解	2					
	<input type="checkbox"/> 地域社會と情報	2	<input type="checkbox"/> 地域社會と情報	2					
	<input type="checkbox"/> 地域社會と電氣技術	2	<input type="checkbox"/> 地域社會と電氣技術	2					
	<input type="checkbox"/> 日本史概論	2	<input type="checkbox"/> 日本史概論	2					
			<input type="checkbox"/> 日本文學論	2					
			<input type="triangle"/> 教養特殊講義B	2					
教養教育科目 第3群	<input type="circle"/> 基礎ゼミ	2	<input type="circle"/> 論理的表現法I	1	<input type="triangle"/> 就職計画	2			第4群の□から1単位以上修得すること
	<input type="circle"/> 科学的問題解決法	2	<input type="triangle"/> 論理的表現法II	2					
	<input type="circle"/> ライフデザイン	2	<input type="triangle"/> キャリアデザイン	2					
	<input type="circle"/> 日本語の技法	1	<input type="triangle"/> 情報処理III	2					
	<input type="circle"/> 情報処理I	2	<input type="triangle"/> 教養特殊講義C	2					
	<input type="triangle"/> 情報処理II	2							
第4群	<input type="checkbox"/> 健康とスポーツの科学	2	<input type="checkbox"/> 生涯スポーツI	1	<input type="checkbox"/> 視覚表現の科学	2			第5群の□から4単位以上修得すること ただし、“□1”から2単位以上を含めること □*は外国人留学生のみ履修できる
	<input type="checkbox"/> 食生活と健康	2	<input type="checkbox"/> 生涯スポーツII	1	<input type="checkbox"/> 空間とデザイン	2			
	<input type="checkbox"/> 空間とデザイン	2	<input type="checkbox"/> 食生活と健康	2					
			<input type="checkbox"/> 空間とデザイン	2					
			<input type="checkbox"/> 健康とスポーツの科学	2					
			<input type="checkbox"/> 視覚表現の科学	2					
第5群	<input type="circle"/> 英語I	1	<input type="checkbox"/> 実用英語I	1	<input type="checkbox"/> アドヴァンスト英語I	1	<input type="triangle"/> 海外語学研修	1	第5群の□から4単位以上修得すること ただし、“□1”から2単位以上を含めること □*は外国人留学生のみ履修できる
	<input type="circle"/> 英語II	1	<input type="checkbox"/> 実用英語II	1	<input type="checkbox"/> アドヴァンスト英語II	1	<input type="triangle"/> 留学英語	2	
	<input type="circle"/> 英語III	1	<input type="checkbox"/> インタラクティブ英語I	1	<input type="triangle"/> 海外語学研修	1			
	<input type="circle"/> 英語IV	1	<input type="checkbox"/> インタラクティブ英語II	1	<input type="triangle"/> 留学英語	2			
	<input type="checkbox"/> * 日本語I	1	<input type="checkbox"/> * 日本語II	1					
	<input type="triangle"/> 海外語学研修	1	<input type="checkbox"/> * 日本語III	1					
			<input type="checkbox"/> * 日本語IV	1					
			<input type="checkbox"/> 中国語I	1					
			<input type="checkbox"/> 中国語II	1					
			<input type="checkbox"/> フランス語I	1					
			<input type="checkbox"/> フランス語II	1					
			<input type="checkbox"/> スペイン語I	1					
			<input type="checkbox"/> スペイン語II	1					
			<input type="triangle"/> 海外語学研修	1					
			<input type="triangle"/> 留学英語	2					

	1年		2年		3年		4年		備考
	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	
専門科目	○ 基礎数学	2	○ 電磁気学Ⅱ	2	○ 電子回路設計	2	○ 卒業研究	6	□ 6 : 10単位以上修得すること
	○ 基礎数学演習	2	○ 電気回路Ⅲ	2	○ 集積回路	2	△ 電気法規・施設管理	2	
	○ 電気電子数学	2	○ 電子回路Ⅰ	2	○ エネルギー環境システム	2	△ 情報メディア工学	2	
	○ 電気電子数学演習	2	○ 電子回路Ⅰ演習	2	○ 情報通信工学	2	△ 電機設計・製図	2	
	○ 初等電磁気学	2	○ 電子回路Ⅱ	2	○ 制御工学	2			
	○ 初等信号理論	2	○ 計測工学	2	○ 組込み制御	2			
	○ シミュレーション	2	○ 計算機システム	2	○ 情報センシング	2			
	○ コンピュータ概論	2	○ 論理回路	2	○ 電気電子情報工学実験Ⅰ	2			
	○ エレクトロニクス概論	2	○ プログラミング	2	○ 電気電子情報工学実験Ⅱ	2			
	○ 電磁気学Ⅰ	2	○ プログラミング演習	2	○ 電子情報設計プロジェクト	2			
	○ 電気回路Ⅰ	2	○ データ処理とプログラミング	2	○ 電子情報工学セミナー	2			
	○ 電気回路Ⅰ演習	2	○ システムプログラミング	2	□6 応用数学Ⅱ	2			
	○ 電気回路Ⅱ	2	○ 電気工学基礎実験Ⅰ	2	□6 電磁波工学	2			
	○ 初等理工学実験	1	○ 電気工学基礎実験Ⅱ	2	□6 電気材料物性	2			
	○ 初等電気工学実験	1	□6 電力システム概論	2	□6 半導体工学	2			
	△ 情報と職業	2	□6 論理回路演習	2	□6 無線通信工学	2			
	△ 情報社会と倫理	2	□6 応用数学Ⅰ	2	□6 情報ネットワーク	2			
				□6 ロボティクス	2				
				△ 電気機器	2				
				△ パワーエレクトロニクス	2				
				△ 発電工学	2				
				△ 送配電工学	2				
				△ 情報と法	2				

## 【3年次進級条件（2年次から3年次へ）】

- (1) 2年間以上在学していること  
 (2) 所属するコースで開講されている教養教育科目および専門科目における必修／選択必修／選択科目の中から総計61単位以上を修得していること  
 (3) 所属するコースで1年次に開講されている専門科目における必修科目の全単位を修得していること

※教職課程科目のうち教職に関する科目は進級の所要単位に算入しない

## 【4年次進級条件（3年次から4年次へ）】

- (1) 3年間以上在学していること  
 (2) 所属するコースで開講されている教養教育科目および専門科目における必修／選択必修／選択科目の中から総計110単位以上を修得していること  
 (3) 所属するコースで1年次に開講されている教養教育科目における必修科目の全単位を修得していること  
 (4) 所属するコースで2年次までに開講されている専門科目における必修科目の全単位を修得していること  
 (5) 3年次に開講されている専門科目のうち、『電気電子情報工学実験Ⅰ』、『電気電子情報工学実験Ⅱ』、『電子情報設計プロジェクト』、『電子情報工学セミナー』の4科目のいずれの単位も修得していること

※教職課程科目のうち教職に関する科目は進級の所要単位に算入しない

## 【卒業要件】

- (1) 4年間以上在学していること  
 (2) 所属するコースで開講されている教養教育科目および専門科目における必修／選択必修／選択科目の中から総計124単位以上を修得していること  
 (3) 所属するコースで開講されている教養教育科目および専門科目における必修科目の全単位を修得していること  
 (4) 応用エレクトロニクスコースにおいては、教養教育科目の中から必修科目14単位、選択必修科目9単位以上を含む総計28単位以上を修得していること  
 (5) 教養教育科目の選択必修科目については、第1科目群から2単位以上、第2科目群から2単位以上、第4科目群から1単位以上、第5科目群から英語科目2単位以上を含む4単位以上を修得していること  
 (6) 応用エレクトロニクスコースにおいては、専門科目の中から必修科目84単位、選択必修科目10単位以上を含む総計94単位以上を修得していること

※教職課程科目のうち教職に関する科目は卒業の所要単位に算入しない

## 電気電子工学科 エネルギー・環境コース

○：必修 □：選択必修 △：選択

	1年		2年		3年		4年		備考
	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	
第1群	<input type="checkbox"/> 企業倫理と知的財産	2	<input type="checkbox"/> 現代社会と倫理	2	<input type="checkbox"/> 暮らしの中の憲法	2			第1群の□から2単位以上修得すること
	<input type="checkbox"/> 現代社会と倫理	2	<input type="checkbox"/> 環境と科学	2	<input type="checkbox"/> 哲学と人間・社会	2			
	<input type="checkbox"/> 環境と科学	2	<input type="checkbox"/> 現代社会と法	2	<input type="checkbox"/> 環境と社会	2			
	<input type="checkbox"/> 現代社会と法	2	<input type="checkbox"/> 暮らしの中の憲法	2	<input type="triangle"/> インターンシップ	2			
	<input type="triangle"/> 建学のこころ	1	<input type="checkbox"/> 哲学と人間・社会	2					
	<input type="checkbox"/> 心理と行動	2	<input type="checkbox"/> 心理と行動	2					
			<input type="checkbox"/> 環境と社会	2					
			<input type="triangle"/> インターンシップ	2					
第2群			<input type="checkbox"/> 教養特殊講義A	2					第2群の□から2単位以上修得すること
	<input type="checkbox"/> 國際經濟入門	2	<input type="checkbox"/> 國際經濟入門	2	<input type="checkbox"/> 日本文學論	2			
	<input type="checkbox"/> 國際社會と日本	2	<input type="checkbox"/> 國際社會と日本	2					
	<input type="checkbox"/> 國際化と異文化理解	2	<input type="checkbox"/> 國際化と異文化理解	2					
	<input type="checkbox"/> 地域社會と情報	2	<input type="checkbox"/> 地域社會と情報	2					
	<input type="checkbox"/> 地域社會と電氣技術	2	<input type="checkbox"/> 地域社會と電氣技術	2					
	<input type="checkbox"/> 日本史概論	2	<input type="checkbox"/> 日本史概論	2					
			<input type="checkbox"/> 日本文學論	2					
第3群 教養教育科目	<input type="circle"/> 基礎ゼミ	2	<input type="circle"/> 論理的表現法I	1	<input type="triangle"/> 就職計画	2			第3群の□から2単位以上修得すること
	<input type="circle"/> 科學的問題解決法	2	<input type="triangle"/> 論理的表現法II	2					
	<input type="circle"/> ライフデザイン	2	<input type="triangle"/> キャリアデザイン	2					
	<input type="circle"/> 日本語の技法	1	<input type="triangle"/> 情報処理III	2					
	<input type="circle"/> 情報処理I	2	<input type="triangle"/> 教養特殊講義C	2					
	<input type="triangle"/> 情報処理II	2							
第4群	<input type="checkbox"/> 健康とスポーツの科学	2	<input type="checkbox"/> 生涯スポーツI	1	<input type="checkbox"/> 視覚表現の科学	2			第4群の□から1単位以上修得すること
	<input type="checkbox"/> 食生活と健康	2	<input type="checkbox"/> 生涯スポーツII	1	<input type="checkbox"/> 空間とデザイン	2			
	<input type="checkbox"/> 空間とデザイン	2	<input type="checkbox"/> 食生活と健康	2					
			<input type="checkbox"/> 空間とデザイン	2					
			<input type="checkbox"/> 健康とスポーツの科学	2					
			<input type="checkbox"/> 視覚表現の科学	2					
第5群	<input type="circle"/> 英語I	1	<input type="checkbox"/> 1 実用英語I	1	<input type="checkbox"/> 1 アドヴァンスト英語I	1	<input type="triangle"/> 海外語学研修	1	第5群の□から4単位以上修得すること ただし、“□1”から2単位以上を含めること □*は外国人留学生のみ履修できる
	<input type="circle"/> 英語II	1	<input type="checkbox"/> 1 実用英語II	1	<input type="checkbox"/> 1 アドヴァンスト英語II	1	<input type="triangle"/> 留学英語	2	
	<input type="circle"/> 英語III	1	<input type="checkbox"/> 1 インタラクティブ英語I	1	<input type="triangle"/> 海外語学研修	1			
	<input type="circle"/> 英語IV	1	<input type="checkbox"/> 1 インタラクティブ英語II	1	<input type="triangle"/> 留学英語	2			
	<input type="checkbox"/> * 日本語I	1	<input type="checkbox"/> * 日本語II	1					
	<input type="triangle"/> 海外語学研修	1	<input type="checkbox"/> * 日本語III	1					
			<input type="checkbox"/> * 日本語IV	1					
			<input type="checkbox"/> 中国語I	1					
			<input type="checkbox"/> 中国語II	1					
			<input type="checkbox"/> フランス語I	1					
			<input type="checkbox"/> フランス語II	1					
			<input type="checkbox"/> スペイン語I	1					
			<input type="checkbox"/> スペイン語II	1					
			<input type="triangle"/> 海外語学研修	1					
			<input type="triangle"/> 留学英語	2					

	1年		2年		3年		4年		備考
	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	
専門科目	○ 基礎数学	2	○ 電磁気学Ⅱ	2	○ 電子回路設計	2	○ 卒業研究	6	□ 6 : 12単位以上修得すること
	○ 基礎数学演習	2	○ 電気回路Ⅲ	2	○ 電気機器	2	□6 電気法規・施設管理	2	
	○ 電気電子数学	2	○ 電子回路Ⅰ	2	○ パワーエレクトロニクス	2	□6 電機設計・製図	2	
	○ 電気電子数学演習	2	○ 電子回路Ⅰ演習	2	○ エネルギー環境システム	2	△ 情報メディア工学	2	
	○ 初等電磁気学	2	○ 電子回路Ⅱ	2	○ 電気電子情報工学実験Ⅰ	2			
	○ 初等信号理論	2	○ 計測工学	2	○ 電気電子情報工学実験Ⅱ	2			
	○ シミュレーション	2	○ 電力システム概論	2	○ 電子情報設計プロジェクト	2			
	○ コンピュータ概論	2	○ 計算機システム	2	○ 電子情報工学セミナー	2			
	○ エレクトロニクス概論	2	○ 論理回路	2	□6 応用数学Ⅱ	2			
	○ 電磁気学Ⅰ	2	○ プログラミング	2	□6 電磁波工学	2			
	○ 電気回路Ⅰ	2	○ プログラミング演習	2	□6 電気材料物性	2			
	○ 電気回路Ⅰ演習	2	○ 電気工学基礎実験Ⅰ	2	□6 発電工学	2			
	○ 電気回路Ⅱ	2	○ 電気工学基礎実験Ⅱ	2	□6 送配電工学	2			
	○ 初等理工学実験	1	□6 論理回路演習	2	△ 半導体工学	2			
	○ 初等電気工学実験	1	□6 応用数学Ⅰ	2	△ 集積回路	2			
	△ 情報と職業	2	△ データ処理とプログラミング	2	△ 無線通信工学	2			
	△ 情報社会と倫理	2	△ システムプログラミング	2	△ 情報通信工学	2			
					△ 情報ネットワーク	2			
					△ 制御工学	2			
					△ 組込み制御	2			
					△ ロボティクス	2			
					△ 情報センシング	2			
					△ 情報と法	2			

## 【3年次進級条件（2年次から3年次へ）】

- (1) 2年間以上在学していること  
 (2) 所属するコースで開講されている教養教育科目および専門科目における必修／選択必修／選択科目の中から総計61単位以上を修得していること  
 (3) 所属するコースで1年次に開講されている専門科目における必修科目の全単位を修得していること

※教職課程科目のうち教職に関する科目は進級の所要単位に算入しない

## 【4年次進級条件（3年次から4年次へ）】

- (1) 3年間以上在学していること  
 (2) 所属するコースで開講されている教養教育科目および専門科目における必修／選択必修／選択科目の中から総計110単位以上を修得していること  
 (3) 所属するコースで1年次に開講されている教養教育科目における必修科目の全単位を修得していること  
 (4) 所属するコースで2年次までに開講されている専門科目における必修科目の全単位を修得していること  
 (5) 3年次に開講されている専門科目のうち、『電気電子情報工学実験Ⅰ』、『電気電子情報工学実験Ⅱ』、『電子情報設計プロジェクト』、『電子情報工学セミナー』の4科目のいずれの単位も修得していること

※教職課程科目のうち教職に関する科目は進級の所要単位に算入しない

## 【卒業要件】

- (1) 4年間以上在学していること  
 (2) 所属するコースで開講されている教養教育科目および専門科目における必修／選択必修／選択科目の中から総計124単位以上を修得していること  
 (3) 所属するコースで開講されている教養教育科目および専門科目における必修科目の全単位を修得していること  
 (4) エネルギー・環境コースにおいては、教養教育科目の中から必修科目14単位、選択必修科目9単位以上を含む総計28単位以上を修得していること  
 (5) 教養教育科目の選択必修科目については、第1科目群から2単位以上、第2科目群から2単位以上、第4科目群から1単位以上、第5科目群から英語科目2単位以上を含む4単位以上を修得していること  
 (6) エネルギー・環境コースにおいては、専門科目の中から必修科目76単位、選択必修科目12単位以上を含む総計88単位以上を修得していること

※教職課程科目のうち教職に関する科目は卒業の所要単位に算入しない

## 電気電子工学科 情報通信コース

○：必修 □：選択必修 △：選択

	1年		2年		3年		4年		備考
	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	
第1群	<input type="checkbox"/> 企業倫理と知的財産	2	<input type="checkbox"/> 現代社会と倫理	2	<input type="checkbox"/> 暮らしの中の憲法	2			第1群の□から2単位以上修得すること
	<input type="checkbox"/> 現代社会と倫理	2	<input type="checkbox"/> 環境と科学	2	<input type="checkbox"/> 哲学と人間・社会	2			
	<input type="checkbox"/> 環境と科学	2	<input type="checkbox"/> 現代社会と法	2	<input type="checkbox"/> 環境と社会	2			
	<input type="checkbox"/> 現代社会と法	2	<input type="checkbox"/> 暮らしの中の憲法	2	<input type="triangle"/> インターンシップ	2			
	<input type="triangle"/> 建学のこころ	1	<input type="checkbox"/> 哲学と人間・社会	2					
	<input type="checkbox"/> 心理と行動	2	<input type="checkbox"/> 心理と行動	2					
			<input type="checkbox"/> 環境と社会	2					
			<input type="triangle"/> インターンシップ	2					
第2群			<input type="checkbox"/> 教養特殊講義A	2					第2群の□から2単位以上修得すること
	<input type="checkbox"/> 國際經濟入門	2	<input type="checkbox"/> 國際經濟入門	2	<input type="checkbox"/> 日本文學論	2			
	<input type="checkbox"/> 國際社會と日本	2	<input type="checkbox"/> 國際社會と日本	2					
	<input type="checkbox"/> 國際化と異文化理解	2	<input type="checkbox"/> 國際化と異文化理解	2					
	<input type="checkbox"/> 地域社會と情報	2	<input type="checkbox"/> 地域社會と情報	2					
	<input type="checkbox"/> 地域社會と電氣技術	2	<input type="checkbox"/> 地域社會と電氣技術	2					
	<input type="checkbox"/> 日本史概論	2	<input type="checkbox"/> 日本史概論	2					
			<input type="checkbox"/> 日本文學論	2					
第3群 教養教育科目	<input type="circle"/> 基礎ゼミ	2	<input type="circle"/> 論理的表現法I	1	<input type="triangle"/> 就職計画	2			第4群の□から1単位以上修得すること
	<input type="circle"/> 科學的問題解決法	2	<input type="triangle"/> 論理的表現法II	2					
	<input type="circle"/> ライフデザイン	2	<input type="triangle"/> キャリアデザイン	2					
	<input type="circle"/> 日本語の技法	1	<input type="triangle"/> 情報処理III	2					
	<input type="circle"/> 情報処理I	2	<input type="triangle"/> 教養特殊講義C	2					
	<input type="triangle"/> 情報処理II	2							
	<input type="checkbox"/> 健康とスポーツの科学	2	<input type="checkbox"/> 生涯スポーツI	1	<input type="checkbox"/> 視覚表現の科学	2			
	<input type="checkbox"/> 食生活と健康	2	<input type="checkbox"/> 生涯スポーツII	1	<input type="checkbox"/> 空間とデザイン	2			
第4群	<input type="checkbox"/> 空間とデザイン	2	<input type="checkbox"/> 食生活と健康	2					第5群の□から4単位以上修得すること ただし、“□1”から2単位以上を含めること □*は外国人留学生のみ履修できる
			<input type="checkbox"/> 空間とデザイン	2					
			<input type="checkbox"/> 健康とスポーツの科学	2					
			<input type="checkbox"/> 視覚表現の科学	2					
	<input type="circle"/> 英語I	1	<input type="checkbox"/> 1 実用英語I	1	<input type="checkbox"/> 1 アドヴァンスト英語I	1	<input type="triangle"/> 海外語学研修	1	
	<input type="circle"/> 英語II	1	<input type="checkbox"/> 1 実用英語II	1	<input type="checkbox"/> 1 アドヴァンスト英語II	1	<input type="triangle"/> 留学英語	2	
	<input type="circle"/> 英語III	1	<input type="checkbox"/> 1 インタラクティブ英語I	1	<input type="triangle"/> 海外語学研修	1			
	<input type="circle"/> 英語IV	1	<input type="checkbox"/> 1 インタラクティブ英語II	1	<input type="triangle"/> 留学英語	2			
第5群	<input type="checkbox"/> * 日本語I	1	<input type="checkbox"/> * 日本語II	1					
	<input type="triangle"/> 海外語学研修	1	<input type="checkbox"/> * 日本語III	1					
			<input type="checkbox"/> * 日本語IV	1					
			<input type="checkbox"/> 中国語I	1					
			<input type="checkbox"/> 中国語II	1					
			<input type="checkbox"/> フランス語I	1					
			<input type="checkbox"/> フランス語II	1					
			<input type="checkbox"/> スペイン語I	1					
			<input type="checkbox"/> スペイン語II	1					
			<input type="triangle"/> 海外語学研修	1					
			<input type="triangle"/> 留学英語	2					

	1年		2年		3年		4年		備考
	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	
専 門 科 目	○ 基礎数学	2	○ 電子回路I	2	○ 情報通信工学	2	○ 卒業研究	6	□ 6 : 16単位以上修得すること
	○ 基礎数学演習	2	○ 電子回路I演習	2	○ 情報ネットワーク	2	□6 情報メディア工学	2	
	○ 電気電子数学	2	○ 計測工学	2	○ 組込み制御	2	△ 電気法規・施設管理	2	
	○ 電気電子数学演習	2	○ 計算機システム	2	○ 電気電子情報工学実験I	2	△ 電機設計・製図	2	
	○ 初等電磁気学	2	○ 論理回路	2	○ 電気電子情報工学実験II	2			
	○ 初等信号理論	2	○ プログラミング	2	○ 電子情報設計プロジェクト	2			
	○ シミュレーション	2	○ プログラミング演習	2	○ 電子情報工学セミナー	2			
	○ コンピュータ概論	2	○ データ処理とプログラミング	2	□6 応用数学II	2			
	○ エレクトロニクス概論	2	○ システムプログラミング	2	□6 電磁気学II	2			
	○ 電磁気学I	2	○ 電気工学基礎実験I	2	□6 集積回路	2			
	○ 電気回路I	2	○ 電気工学基礎実験II	2	□6 無線通信工学	2			
	○ 電気回路I演習	2	□6 電気回路III	2	□6 制御工学	2			
	○ 電気回路II	2	□6 電子回路II	2	□6 ロボティクス	2			
	○ 初等理工学実験	1	□6 論理回路演習	2	□6 情報センシング	2			
	○ 初等電気工学実験	1	□6 応用数学I	2	□6 電磁波工学	2			
	△ 情報と職業	2	△ 電力システム概論	2	△ 電子回路設計	2			
	△ 情報社会と倫理	2			△ 電気材料物性	2			
					△ 半導体工学	2			
					△ 電気機器	2			
					△ パワーエレクトロニクス	2			
					△ 発電工学	2			
					△ 送配電工学	2			
					△ エネルギー環境システム	2			
					△ 情報と法	2			

## 【3年次進級条件（2年次から3年次へ）】

- (1) 2年間以上在学していること  
(2) 所属するコースで開講されている教養教育科目および専門科目における必修／選択必修／選択科目の中から総計61単位以上を修得していること  
(3) 所属するコースで1年次に開講されている専門科目における必修科目の全単位を修得していること

※教職課程科目のうち教職に関する科目は進級の所要単位に算入しない

## 【4年次進級条件（3年次から4年次へ）】

- (1) 3年間以上在学していること  
(2) 所属するコースで開講されている教養教育科目および専門科目における必修／選択必修／選択科目の中から総計110単位以上を修得していること  
(3) 所属するコースで1年次に開講されている教養教育科目における必修科目の全単位を修得していること  
(4) 所属するコースで2年次までに開講されている専門科目における必修科目の全単位を修得していること  
(5) 3年次に開講されている専門科目のうち、『電気電子情報工学実験I』、『電気電子情報工学実験II』、『電子情報設計プロジェクト』、『電子情報工学セミナー』の4科目のいずれの単位も修得していること

※教職課程科目のうち教職に関する科目は進級の所要単位に算入しない

## 【卒業要件】

- (1) 4年間以上在学していること  
(2) 所属するコースで開講されている教養教育科目および専門科目における必修／選択必修／選択科目の中から総計124単位以上を修得していること  
(3) 所属するコースで開講されている教養教育科目および専門科目における必修科目の全単位を修得していること  
(4) 情報通信コースにおいては、教養教育科目の中から必修科目14単位、選択必修科目9単位以上を含む総計28単位以上を修得していること  
(5) 教養教育科目の選択必修科目については、第1科目群から2単位以上、第2科目群から2単位以上、第4科目群から1単位以上、第5科目群から英語科目2単位以上を含む4単位以上を修得していること  
(6) 情報通信コースにおいては、専門科目の中から必修科目70単位、選択必修科目16単位以上を含む総計86単位以上を修得していること

※教職課程科目のうち教職に関する科目は卒業の所要単位に算入しない

## 2.4 建築・デザイン学科総括表

令和3年度 (2021年度)

分野	授業科目	開講年次	単位数	必修・選択		週授業時間数								備 考
				建築工学	建築・デザイン	1年次	2年次	3年次	4年次	前	後	前	後	
基礎	数学及び演習	1	3	△	△	4								
	物理学	1	2	△	△		2							
構造	静定構造力学Ⅰ及び演習	1	3	○	○	4								□ 6 : 3 単位以上
	静定構造力学Ⅱ及び演習	1	3	○	△		4							
	不静定構造力学及び演習	2	3	○	△			4						
	建築と構造	1	2	○	○	2								
	鉄筋コンクリート構造	2	2	○	△			2						
	鋼構造	3	2	○	△				2					
	構造設計及び演習	3	3	□ 6	△						4			
生産	建築材料	1	2	○	○	2								
	施工法Ⅰ	2	2	○	○			2						
	施工法Ⅱ	2	2	○	△				2					
	施工管理及び演習	3	3	□ 6	△					4				
環境	環境概論	2	2	○	○			2						□ 7 : 4 単位以上
	建築と環境	2	2	□ 7	△				2					
	都市と環境	3	2	□ 7	△					2				
	建築設備の基礎	2	2	○	○				2					
	建築設備の計画	3	2	□ 7	△				2					
	設備設計及び演習	3	3	□ 6	△						4			
計画	環境とデザイン	1	2	□ 8	□ 9	2								□ 8 : 10 単位以上 □ 9 : 4 単位以上
	近現代建築論	1	2	□ 8	□ 9		2							
	住まいの計画	2	2	□ 8	□ 9			2						
	地域施設の計画	2	2	□ 8	□ 9				2					
	建築計画	3	2	□ 8	□ 9					2				
	空間造形	3	2	□ 8	□ 9					2				
	都市計画	3	2	□ 8	△						2			
造形・表現	基礎造形	1	3	△	△	4								
	造形演習	1	3	△	△		4							
	デザイン企画論	2	2	△	△				2					
	インテリアデザイン論	2	2	△	△					2				
	インテリアデザイン演習	3	3	△	△						4			
	画像設計演習	2	3	△	△				4					
	視覚表現演習	3	3	△	△					4				
	建築メディア論	3	2	△	△						2			
	プレゼンテーション演習	3	3	△	△					4				
	感性とデザイン	2	2	△	△				2					
	リアルサイズデザイン	2	2	△	△				2					
	色彩検定講座	2	2	△	△				2					
	図とデザイン	2	2	△	△				2					
設計	建築・デザイン演習Ⅰ	1	3	○	○	4								
	建築・デザイン演習Ⅱ	1	3	○	○		4							
	建築設計Ⅰ	2	3	○	○			4						
	建築設計Ⅱ	2	3	○	△				4					
	建築設計Ⅲ	3	3	○	△					4				
	建築設計Ⅳ	3	3	□ 6	△						4			
	CADトレーニング	2	2	△	△			4						
共通	建築工学実験	2	2	○	△				4					
	建築法規	3	2	○	○					2				
	建築技術者倫理	3	2	△	△					2				
	プロジェクト研究	3	3	○	○					4				
	卒業研究	4	6	○	○							(10)	(10)	

(注) 1. 表中の記号は、○：必修科目 □：選択必修科目 △：選択科目を表します。

2. 表中の週授業時間数2時間は、1週に1時限を意味します。



## 建築・デザイン学科 建築工学コース

○：必修 □：選択必修 △：選択

	1年		2年		3年		4年		備考
	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	
第1群	<input type="checkbox"/> 企業倫理と知的財産	2	<input type="checkbox"/> 現代社会と倫理	2	<input type="checkbox"/> 暮らしの中の憲法	2			第1群の□から2単位以上修得すること
	<input type="checkbox"/> 現代社会と倫理	2	<input type="checkbox"/> 環境と科学	2	<input type="checkbox"/> 哲学と人間・社会	2			
	<input type="checkbox"/> 環境と科学	2	<input type="checkbox"/> 現代社会と法	2	<input type="checkbox"/> 環境と社会	2			
	<input type="checkbox"/> 現代社会と法	2	<input type="checkbox"/> 暮らしの中の憲法	2	<input type="triangle"/> インターンシップ	2			
	<input type="triangle"/> 建学のこころ	1	<input type="checkbox"/> 哲学と人間・社会	2					
	<input type="checkbox"/> 心理と行動	2	<input type="checkbox"/> 心理と行動	2					
			<input type="checkbox"/> 環境と社会	2					
			<input type="triangle"/> インターンシップ	2					
第2群			<input type="checkbox"/> 教養特殊講義A	2					第2群の□から2単位以上修得すること
	<input type="checkbox"/> 國際經濟入門	2	<input type="checkbox"/> 國際經濟入門	2	<input type="checkbox"/> 日本文學論	2			
	<input type="checkbox"/> 國際社會と日本	2	<input type="checkbox"/> 國際社會と日本	2					
	<input type="checkbox"/> 國際化と異文化理解	2	<input type="checkbox"/> 國際化と異文化理解	2					
	<input type="checkbox"/> 地域社會と情報	2	<input type="checkbox"/> 地域社會と情報	2					
	<input type="checkbox"/> 地域社會と電氣技術	2	<input type="checkbox"/> 地域社會と電氣技術	2					
	<input type="checkbox"/> 日本史概論	2	<input type="checkbox"/> 日本史概論	2					
			<input type="checkbox"/> 日本文學論	2					
第3群 教養教育科目	<input type="circle"/> 基礎ゼミ	2	<input type="circle"/> 論理的表現法I	1	<input type="triangle"/> 就職計画	2			第4群の□から1単位以上修得すること
	<input type="circle"/> 科學的問題解決法	2	<input type="triangle"/> 論理的表現法II	2					
	<input type="circle"/> ライフデザイン	2	<input type="triangle"/> キャリアデザイン	2					
	<input type="circle"/> 日本語の技法	1	<input type="triangle"/> 情報処理III	2					
	<input type="circle"/> 情報処理I	2	<input type="triangle"/> 教養特殊講義C	2					
	<input type="triangle"/> 情報処理II	2							
	<input type="checkbox"/> 健康とスポーツの科学	2	<input type="checkbox"/> 生涯スポーツI	1	<input type="checkbox"/> 視覚表現の科学	2			
	<input type="checkbox"/> 食生活と健康	2	<input type="checkbox"/> 生涯スポーツII	1	<input type="checkbox"/> 空間とデザイン	2			
第4群	<input type="checkbox"/> 空間とデザイン	2	<input type="checkbox"/> 食生活と健康	2					第5群の□から4単位以上修得すること ただし、“□1”から2単位以上を含めること □*は外国人留学生のみ履修できる
			<input type="checkbox"/> 空間とデザイン	2					
			<input type="checkbox"/> 健康とスポーツの科学	2					
			<input type="checkbox"/> 視覚表現の科学	2					
	<input type="circle"/> 英語I	1	<input type="checkbox"/> 1 実用英語I	1	<input type="checkbox"/> 1 アドヴァンスト英語I	1	<input type="triangle"/> 海外語学研修	1	
	<input type="circle"/> 英語II	1	<input type="checkbox"/> 1 実用英語II	1	<input type="checkbox"/> 1 アドヴァンスト英語II	1	<input type="triangle"/> 留学英語	2	
	<input type="circle"/> 英語III	1	<input type="checkbox"/> 1 インタラクティブ英語I	1	<input type="triangle"/> 海外語学研修	1			
	<input type="circle"/> 英語IV	1	<input type="checkbox"/> 1 インタラクティブ英語II	1	<input type="triangle"/> 留学英語	2			
第5群	<input type="checkbox"/> * 日本語I	1	<input type="checkbox"/> * 日本語II	1					
	<input type="triangle"/> 海外語学研修	1	<input type="checkbox"/> * 日本語III	1					
			<input type="checkbox"/> * 日本語IV	1					
			<input type="checkbox"/> 中国語I	1					
			<input type="checkbox"/> 中国語II	1					
			<input type="checkbox"/> フランス語I	1					
			<input type="checkbox"/> フランス語II	1					
			<input type="checkbox"/> スペイン語I	1					
			<input type="checkbox"/> スペイン語II	1					
			<input type="triangle"/> 海外語学研修	1					
			<input type="triangle"/> 留学英語	2					

	1年		2年		3年		4年		備考
	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	
専門科目	○ 静定構造力学Ⅰ及び演習	3	○ 不静定構造力学及び演習	3	○ 鋼構造	2	○ 卒業研究	6	□ 1 : 2 単位以上
	○ 静定構造力学Ⅱ及び演習	3	○ 鉄筋コンクリート構造	2	○ プロジェクト研究	3			□ 2 : 4 単位以上
	○ 建築と構造	2	○ 施工法Ⅰ	2	○ 建築設計Ⅲ	3			□ 3 : 10 単位以上
	○ 建築材料	2	○ 施工法Ⅱ	2	○ 建築法規	2			
	○ 建築・デザイン演習Ⅰ	3	○ 環境概論	2	□1 施工管理及び演習	3			
	○ 建築・デザイン演習Ⅱ	3	○ 建築設備の基礎	2	□1 建築設計Ⅳ	3			
	□3 環境とデザイン	2	○ 建築設計Ⅰ	3	□1 設備設計及び演習	3			
	□3 近現代建築論	2	○ 建築設計Ⅱ	3	□1 構造設計及び演習	3			
	△ 数学及び演習	3	○ 建築工学実験	2	□2 都市と環境	2			
	△ 物理学	2	□2 建築と環境	2	□2 建築設備の計画	2			
	△ 基礎造形	3	□3 住まいの計画	2	□3 建築計画	2			
	△ 造形演習	3	□3 地域施設の計画	2	□3 空間造形	2			
			△ デザイン企画論	2	□3 都市計画	2			
			△ 画像設計演習	3	△ インテリアデザイン論	2			
			△ C A Dトレーニング	2	△ インテリアデザイン演習	3			
			△ 感性とデザイン	2	△ 視覚表現演習	3			
			△ リアルサイズデザイン	2	△ 建築メディア論	2			
			△ 色彩検定講座	2	△ プレゼンテーション演習	3			
			△ 図とデザイン	2	△ 建築技術者倫理	2			

## 【3年次進級条件（2年次から3年次へ）】

- (1) 2年間以上在学していること  
(2) 所属するコースで開講されている教養教育科目および専門科目における必修／選択必修／選択科目の中から総計61単位以上を修得していること  
(3) 1年次に開講されている専門科目のうち、『建築・デザイン演習Ⅰ』、『建築・デザイン演習Ⅱ』、『静定構造力学Ⅰ及び演習』、『建築と構造』の4科目のいずれの単位も修得していること

※教職課程科目のうち教職に関する科目は進級の所要単位に算入しない

## 【4年次進級条件（3年次から4年次へ）】

- (1) 3年間以上在学していること  
(2) 所属するコースで開講されている教養教育科目および専門科目における必修／選択必修／選択科目の中から総計110単位以上を修得していること  
(3) 所属するコースで2年次までに開講されている専門科目における必修科目の全単位を修得していること  
(4) 教養教育科目の英語科目における必修／選択必修科目の中から4単位以上を修得していること

※教職課程科目のうち教職に関する科目は進級の所要単位に算入しない

## 【卒業要件】

- (1) 4年間以上在学していること  
(2) 所属するコースで開講されている教養教育科目および専門科目における必修／選択必修／選択科目の中から総計124単位以上を修得していること  
(3) 所属するコースで開講されている教養教育科目および専門科目における必修科目の全単位を修得していること  
(4) 教養教育科目の中から必修科目14単位、選択必修科目9単位以上を含む総計28単位以上を修得していること  
(5) 教養教育科目の選択必修科目については、第1科目群から2単位以上、第2科目群から2単位以上、第4科目群から1単位以上、第5科目群から英語科目2単位以上を含む4単位以上を修得していること  
(6) 建築工学コースにおいては、専門科目の中から必修科目53単位、選択必修科目17単位以上を含む総計70単位以上を修得していること

※教職課程科目のうち教職に関する科目は卒業の所要単位に算入しない

## 建築・デザイン学科 建築・デザインコース

○：必修 □：選択必修 △：選択

	1年		2年		3年		4年		備考
	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	
第1群	<input type="checkbox"/> 企業倫理と知的財産	2	<input type="checkbox"/> 現代社会と倫理	2	<input type="checkbox"/> 暮らしの中の憲法	2			第1群の□から2単位以上修得すること
	<input type="checkbox"/> 現代社会と倫理	2	<input type="checkbox"/> 環境と科学	2	<input type="checkbox"/> 哲学と人間・社会	2			
	<input type="checkbox"/> 環境と科学	2	<input type="checkbox"/> 現代社会と法	2	<input type="checkbox"/> 環境と社会	2			
	<input type="checkbox"/> 現代社会と法	2	<input type="checkbox"/> 暮らしの中の憲法	2	<input type="triangle"/> インターンシップ	2			
	<input type="triangle"/> 建学のこころ	1	<input type="checkbox"/> 哲学と人間・社会	2					
	<input type="checkbox"/> 心理と行動	2	<input type="checkbox"/> 心理と行動	2					
			<input type="checkbox"/> 環境と社会	2					
			<input type="triangle"/> インターンシップ	2					
第2群			<input type="checkbox"/> 教養特殊講義A	2					第2群の□から2単位以上修得すること
	<input type="checkbox"/> 國際經濟入門	2	<input type="checkbox"/> 國際經濟入門	2	<input type="checkbox"/> 日本文學論	2			
	<input type="checkbox"/> 國際社會と日本	2	<input type="checkbox"/> 國際社會と日本	2					
	<input type="checkbox"/> 國際化と異文化理解	2	<input type="checkbox"/> 國際化と異文化理解	2					
	<input type="checkbox"/> 地域社會と情報	2	<input type="checkbox"/> 地域社會と情報	2					
	<input type="checkbox"/> 地域社會と電氣技術	2	<input type="checkbox"/> 地域社會と電氣技術	2					
	<input type="checkbox"/> 日本史概論	2	<input type="checkbox"/> 日本史概論	2					
			<input type="checkbox"/> 日本文學論	2					
第3群 教養教育科目	<input type="circle"/> 基礎ゼミ	2	<input type="circle"/> 論理的表現法I	1	<input type="triangle"/> 就職計画	2			第4群の□から1単位以上修得すること
	<input type="circle"/> 科學的問題解決法	2	<input type="triangle"/> 論理的表現法II	2					
	<input type="circle"/> ライフデザイン	2	<input type="triangle"/> キャリアデザイン	2					
	<input type="circle"/> 日本語の技法	1	<input type="triangle"/> 情報処理III	2					
	<input type="circle"/> 情報処理I	2	<input type="triangle"/> 教養特殊講義C	2					
	<input type="triangle"/> 情報処理II	2							
	<input type="checkbox"/> 健康とスポーツの科学	2	<input type="checkbox"/> 生涯スポーツI	1	<input type="checkbox"/> 視覚表現の科学	2			
	<input type="checkbox"/> 食生活と健康	2	<input type="checkbox"/> 生涯スポーツII	1	<input type="checkbox"/> 空間とデザイン	2			
第4群	<input type="checkbox"/> 空間とデザイン	2	<input type="checkbox"/> 食生活と健康	2					第5群の□から4単位以上修得すること ただし、“□1”から2単位以上を含めること □*は外国人留学生のみ履修できる
			<input type="checkbox"/> 空間とデザイン	2					
			<input type="checkbox"/> 健康とスポーツの科学	2					
			<input type="checkbox"/> 視覚表現の科学	2					
	<input type="circle"/> 英語I	1	<input type="checkbox"/> 1 実用英語I	1	<input type="checkbox"/> 1 アドヴァンスト英語I	1	<input type="triangle"/> 海外語学研修	1	
	<input type="circle"/> 英語II	1	<input type="checkbox"/> 1 実用英語II	1	<input type="checkbox"/> 1 アドヴァンスト英語II	1	<input type="triangle"/> 留学英語	2	
	<input type="circle"/> 英語III	1	<input type="checkbox"/> 1 インタラクティブ英語I	1	<input type="triangle"/> 海外語学研修	1			
	<input type="circle"/> 英語IV	1	<input type="checkbox"/> 1 インタラクティブ英語II	1	<input type="triangle"/> 留学英語	2			
第5群	<input type="checkbox"/> * 日本語I	1	<input type="checkbox"/> * 日本語II	1					
	<input type="triangle"/> 海外語学研修	1	<input type="checkbox"/> * 日本語III	1					
			<input type="checkbox"/> * 日本語IV	1					
			<input type="checkbox"/> 中国語I	1					
			<input type="checkbox"/> 中国語II	1					
			<input type="checkbox"/> フランス語I	1					
			<input type="checkbox"/> フランス語II	1					
			<input type="checkbox"/> スペイン語I	1					
			<input type="checkbox"/> スペイン語II	1					
			<input type="triangle"/> 海外語学研修	1					
			<input type="triangle"/> 留学英語	2					

	1年		2年		3年		4年		備考
	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	
専門科目	○ 静定構造力学Ⅰ及び演習	3	○ 施工法Ⅰ	2	○ 建築法規	2	○ 卒業研究	6	□4：4単位以上修得すること
	○ 建築と構造	2	○ 環境概論	2	○ プロジェクト研究	3			
	○ 建築材料	2	○ 建築設備の基礎	2	□4 建築計画	2			
	○ 建築・デザイン演習Ⅰ	3	○ 建築設計Ⅰ	3	□4 空間造形	2			
	○ 建築・デザイン演習Ⅱ	3	□4 住まいの計画	2	△ 鋼構造	2			
	△ 数学及び演習	3	□4 地域施設の計画	2	△ 構造設計及び演習	3			
	△ 物理学	2	△ 不静定構造力学及び演習	3	△ 施工管理及び演習	3			
	△ 静定構造力学Ⅱ及び演習	3	△ 鉄筋コンクリート構造	2	△ 都市と環境	2			
	□4 環境とデザイン	2	△ 施工法Ⅱ	2	△ 建築設備の計画	2			
	□4 近現代建築論	2	△ 建築と環境	2	△ 設備設計及び演習	3			
	△ 基礎造形	3	△ デザイン企画論	2	△ 都市計画	2			
	△ 造形演習	3	△ 画像設計演習	3	△ インテリアデザイン論	2			
	△ 造形演習	3	△ 建築設計Ⅱ	3	△ インテリアデザイン演習	3			
		△ C A Dトレーニング	2	△ 視覚表現演習	3				
		△ 建築工学実験	2	△ 建築メディア論	2				
		△ 感性とデザイン	2	△ プレゼンテーション演習	3				
		△ リアルサイズデザイン	2	△ 建築設計Ⅲ	3				
		△ 色彩検定講座	2	△ 建築設計Ⅳ	3				
		△ 図とデザイン	2	△ 建築技術者倫理	2				

## 【3年次進級条件（2年次から3年次へ）】

- (1) 2年間以上在学していること  
(2) 所属するコースで開講されている教養教育科目および専門科目における必修／選択必修／選択科目の中から総計61単位以上を修得していること  
(3) 1年次に開講されている専門科目のうち、「建築・デザイン演習Ⅰ」、「建築・デザイン演習Ⅱ」、「静定構造力学Ⅰ及び演習」、「建築と構造」の4科目のいずれの単位も修得していること

※教職課程科目のうち教職に関する科目は進級の所要単位に算入しない

## 【4年次進級条件（3年次から4年次へ）】

- (1) 3年間以上在学していること  
(2) 所属するコースで開講されている教養教育科目および専門科目における必修／選択必修／選択科目の中から総計110単位以上を修得していること  
(3) 所属するコースで2年次までに開講されている専門科目における必修科目の全単位を修得していること  
(4) 教養教育科目の英語科目における必修／選択必修科目の中から4単位以上を修得していること

※教職課程科目のうち教職に関する科目は進級の所要単位に算入しない

## 【卒業要件】

- (1) 4年間以上在学していること  
(2) 所属するコースで開講されている教養教育科目および専門科目における必修／選択必修／選択科目の中から総計124単位以上を修得していること  
(3) 所属するコースで開講されている教養教育科目および専門科目における必修科目の全単位を修得していること  
(4) 教養教育科目の中から必修科目14単位、選択必修科目9単位以上を含む総計28単位以上を修得していること  
(5) 教養教育科目の選択必修科目については、第1科目群から2単位以上、第2科目群から2単位以上、第4科目群から1単位以上、第5科目群から英語科目2単位以上を含む4単位以上を修得していること  
(6) 建築・デザインコースにおいては、専門科目の中から必修科目33単位、選択必修科目4単位以上を含む総計70単位以上を修得していること

※教職課程科目のうち教職に関する科目は卒業の所要単位に算入しない

## 2.5 情報学科総括表

○：必修科目 □：選択必修科目 △：選択科目

科目区分	分野	授業科目的名称	単位数	開講年次	学期	必修・選択			備考
						情報エンジニアリング	メディア情報	データサイエンス	
専門科目	数学	数学	2	1	前	△	△	△	メディア情報コース □ 1 から 6 単位以上、□ 2 から 2 単位以上修得すること
		数学演習	2	1	前	△	△	△	
		情報数学	2	1	後	△	△	△	
		情報数学演習	2	1	後	△	△	△	
		応用数学	2	2	前	△	△	△	
		応用情報数学	2	2	前	△	△	○	
	基礎・理論	多変量解析	2	3	後	△	△	○	メディア情報コース □ 1 から 6 単位以上、□ 2 から 2 単位以上修得すること
		コンピュータ概論 I	2	1	前	○	○	○	
		コンピュータ概論 II	2	1	後	○	○	○	
		ネットワークと通信の理論	2	2	前	△	△	△	
		情報と符号の理論	2	2	後	△	△	△	
専門科目	マネジメント・資格支援	計算の複雑さ	2	3	前	△	△	△	△
		暗号とセキュリティの理論	2	3	後	△	△	△	
		情報システム概論	2	1	後	○	□1	△	
	情報と職業	プロジェクト管理	2	2	後	○	□1	△	△
		プロフェッショナルデザイン	2	2	後	△	□1	△	
	情報と社会	情報と職業	2	1	前	△	□1	△	△
		情報社会と倫理	2	1	後	△	□1	△	
		情報と法	2	3	前	△	□1	△	
	専門科目	プログラミング I	2	1	前	○	○	○	△
		プログラミング II	2	1	後	○	△	△	
		データ構造とアルゴリズム	2	2	前	○	△	△	
		データ構造とアルゴリズム演習	2	2	前	○	△	△	
		オブジェクト指向プログラミング	2	2	前	○	△	△	
		オブジェクト指向プログラミング演習	2	2	前	○	△	△	
		アドバンスドプログラミング	4	2	後	○	△	△	
		ソフトウェア工学	2	3	前	○	△	△	
		ソフトウェア分析・設計	2	3	前	○	△	△	
		ソフトウェア開発・展開	2	3	前	○	△	△	
		ソフトウェア開発演習	4	3	後	○	△	△	
専門科目	ネットワーク	コンピュータネットワーク	2	2	前	○	○	○	△
		インターネット工学	2	3	前	○	△	△	
		インターネット工学演習	2	3	前	△	△	△	
		ネットワークセキュリティ	2	3	後	△	△	△	
		ネットワークセキュリティ演習	4	3	後	△	△	△	
	コンテンツ系	マルチメディア	2	1	前	△	○	△	△
		コンピュータ音楽	2	2	後	△	△	△	
		Webコンテンツ制作	2	2	後	△	□2	△	
		Webコンテンツ企画設計	2	3	前	△	△	△	
		画像処理	2	3	後	△	○	△	

科目区分	分野	授業科目的名称	単位数	開講年次	学期	必修・選択		
						情報エンジニアリング	メディア情報	データサイエンス
専門科目	統計ソフトウェア・可視化	統計ソフトウェアⅠ	2	1	後	△	△	△
		統計ソフトウェアⅡ	2	2	前	△	△	△
		深層学習	2	2	後	△	△	△
		データマイニングと可視化	2	3	前	△	△	△
	情報の知的処理	シミュレーション	2	2	前	△	△	△
		知識工学	2	2	後	△	△	△
		知識工学演習	2	2	後	△	△	△
		データベース	2	2	後	○	△	○
		データベース演習	2	2	後	○	△	○
	関連	データサイエンス	2	3	後	△	△	○
		データ分析演習	2	3	後	△	△	○
		情報学概論	2	2	前	○	○	○
		情報学序論	2	2	後	○	○	○
		情報学プロジェクトⅠ	2	3	前	○	○	○
		情報学プロジェクトⅡ	2	3	後	○	○	○
		卒業研究	6	4	通年	○	○	○

## 情報学科 情報エンジニアリングコース

○：必修 □：選択必修 △：選択

	1年		2年		3年		4年		備考
	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	
第1群	□ 企業倫理と知的財産	2	□ 現代社会と倫理	2	□ 暮らしの中の憲法	2			第1群の□から2単位以上修得すること
	□ 現代社会と倫理	2	□ 環境と科学	2	□ 哲学と人間・社会	2			
	□ 環境と科学	2	□ 現代社会と法	2	□ 環境と社会	2			
	□ 現代社会と法	2	□ 暮らしの中の憲法	2	△ インターンシップ	2			
	△ 建学のこころ	1	□ 哲学と人間・社会	2					
	□ 心理と行動	2	□ 心理と行動	2					
			□ 環境と社会	2					
			△ インターンシップ	2					
第2群			△ 教養特殊講義A	2					第2群の□から2単位以上修得すること
	□ 國際經濟入門	2	□ 國際經濟入門	2	□ 日本文學論	2			
	□ 國際社會と日本	2	□ 國際社會と日本	2					
	□ 國際化と異文化理解	2	□ 國際化と異文化理解	2					
	□ 地域社會と情報	2	□ 地域社會と情報	2					
	□ 地域社會と電氣技術	2	□ 地域社會と電氣技術	2					
	□ 日本史概論	2	□ 日本史概論	2					
			□ 日本文學論	2					
第3群 教養教育科目	○ 基礎ゼミ	2	○ 論理的表現法I	1	△ 就職計画	2			第3群の□から2単位以上修得すること
	○ 科學的問題解決法	2	△ 論理的表現法II	2					
	○ ライフデザイン	2	△ キャリアデザイン	2					
	○ 日本語の技法	1	△ 情報処理III	2					
	○ 情報処理I	2	△ 教養特殊講義C	2					
	△ 情報処理II	2							
第4群	□ 健康とスポーツの科学	2	□ 生涯スポーツI	1	□ 視覚表現の科学	2			第4群の□から1単位以上修得すること
	□ 食生活と健康	2	□ 生涯スポーツII	1	□ 空間とデザイン	2			
	□ 空間とデザイン	2	□ 食生活と健康	2					
			□ 空間とデザイン	2					
			□ 健康とスポーツの科学	2					
			□ 視覚表現の科学	2					
第5群	○ 英語I	1	□1 実用英語I	1	□1 アドヴァンスト英語I	1	△ 海外語学研修	1	第5群の□から4単位以上修得すること ただし、“□1”から2単位以上を含めること □*は外国人留学生のみ履修できる
	○ 英語II	1	□1 実用英語II	1	□1 アドヴァンスト英語II	1	△ 留学英語	2	
	○ 英語III	1	□1 インタラクティブ英語I	1	△ 海外語学研修	1			
	○ 英語IV	1	□1 インタラクティブ英語II	1	△ 留学英語	2			
	□* 日本語I	1	□* 日本語II	1					
	△ 海外語学研修	1	□* 日本語III	1					
			□* 日本語IV	1					
			□ 中国語I	1					
			□ 中国語II	1					
			□ フランス語I	1					
			□ フランス語II	1					
			□ スペイン語I	1					
			□ スペイン語II	1					
			△ 海外語学研修	1					
			△ 留学英語	2					

	1年		2年		3年		4年		備考
	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	
専門科目	○ コンピュータ概論 I	2	○ データ構造とアルゴリズム	2	○ ソフトウェア工学	2	○ 卒業研究	6	
	○ コンピュータ概論 II	2	○ デーク構造とアルゴリズム演習	2	○ ソフトウェア分析・設計	2			
	○ 情報システム概論	2	○ オブジェクト指向プログラミング	2	○ ソフトウェア開発・展開	2			
	○ プログラミング I	2	○ オブジェクト指向プログラミング演習	2	○ ソフトウェア開発演習	4			
	○ プログラミング II	2	○ アドバンスドプログラミング	4	○ インターネット工学	2			
	△ 数学	2	○ コンピュータネットワーク	2	○ 情報学プロジェクト I	2			
	△ 数学演習	2	○ プロジェクト管理	2	○ 情報学プロジェクト II	2			
	△ 情報数学	2	○ データベース	2	△ 計算の複雑さ	2			
	△ 情報数学演習	2	○ データベース演習	2	△ 暗号とセキュリティの理論	2			
	△ 情報と職業	2	○ 情報学概論	2	△ 情報と法	2			
	△ 情報社会と倫理	2	○ 情報学序論	2	△ インターネット工学演習	2			
	△ マルチメディア	2	△ 応用数学	2	△ ネットワークセキュリティ	2			
	△ コンピュータグラフィックス	2	△ 応用情報数学	2	△ ネットワークセキュリティ演習	4			
	△ 統計ソフトウェア I	2	△ ゲームとシナリオのデザイン	2	△ Webコンテンツ企画設計	2			
			△ ネットワークと通信の理論	2	△ 画像処理	2			
			△ 情報と符号の理論	2	△ 多変量解析	2			
			△ プロフェッショナルデザイン	2	△ プロダクションワーク	2			
			△ コンピュータ音楽	2	△ データマイニングと可視化	2			
			△ Webコンテンツ制作	2	△ データサイエンス	2			
			△ 映像表現	2	△ データ分析演習	2			
			△ 統計ソフトウェア II	2					
			△ シミュレーション	2					
			△ 知識工学	2					
			△ 知識工学演習	2					
			△ 深層学習	2					

## 【3年次進級条件（2年次から3年次へ）】

- (1) 2年間以上在学していること
- (2) 所属するコースで開講されている教養教育科目および専門科目における必修／選択必修／選択科目の中から総計61単位以上を修得していること
- (3) 所属するコースで1年次に開講されている専門科目における必修科目の全単位を修得していること
- (4) 1年次に開講されている教養教育科目のうち、『基礎ゼミ』、『科学的問題解決法』の2科目のいずれの単位も修得していること

※教職課程科目のうち教職に関する科目は進級の所要単位に算入しない

## 【4年次進級条件（3年次から4年次へ）】

- (1) 3年間以上在学していること
- (2) 所属するコースで開講されている教養教育科目および専門科目における必修／選択必修／選択科目の中から総計110単位以上を修得していること
- (3) 所属するコースで2年次までに開講されている教養教育科目および専門科目における必修科目の全単位を修得していること
- (4) 3年次に開講されている専門科目のうち、『情報学プロジェクト I』、『情報学プロジェクト II』の2科目のいずれの単位も修得していること

※教職課程科目のうち教職に関する科目は進級の所要単位に算入しない

## 【卒業要件】

- (1) 4年間以上在学していること
- (2) 所属するコースで開講されている教養教育科目および専門科目における必修／選択必修／選択科目の中から総計124単位以上を修得していること
- (3) 所属するコースで開講されている教養教育科目および専門科目における必修科目の全単位を修得していること
- (4) 教養教育科目の中から必修科目14単位、選択必修科目9単位以上を含む総計28単位以上を修得していること
- (5) 教養教育科目の選択必修科目については、第1科目群から2単位以上、第2科目群から2単位以上、第4科目群から1単位以上、第5科目群から英語科目2単位以上を含む4単位以上を修得していること
- (6) 情報エンジニアリングコースにおいては、専門科目の中から必修科目56単位を含む総計70単位以上を修得していること

※教職課程科目のうち教職に関する科目は卒業の所要単位に算入しない

## 情報学科 メディア情報コース

○：必修 □：選択必修 △：選択

	1年		2年		3年		4年		備考
	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	
第1群	<input type="checkbox"/> 企業倫理と知的財産	2	<input type="checkbox"/> 現代社会と倫理	2	<input type="checkbox"/> 暮らしの中の憲法	2			第1群の□から2単位以上修得すること
	<input type="checkbox"/> 現代社会と倫理	2	<input type="checkbox"/> 環境と科学	2	<input type="checkbox"/> 哲学と人間・社会	2			
	<input type="checkbox"/> 環境と科学	2	<input type="checkbox"/> 現代社会と法	2	<input type="checkbox"/> 環境と社会	2			
	<input type="checkbox"/> 現代社会と法	2	<input type="checkbox"/> 暮らしの中の憲法	2	<input type="triangle"/> インターンシップ	2			
	<input type="triangle"/> 建学のこころ	1	<input type="checkbox"/> 哲学と人間・社会	2					
	<input type="checkbox"/> 心理と行動	2	<input type="checkbox"/> 心理と行動	2					
			<input type="checkbox"/> 環境と社会	2					
			<input type="triangle"/> インターンシップ	2					
第2群			<input type="checkbox"/> 教養特殊講義A	2					第2群の□から2単位以上修得すること
	<input type="checkbox"/> 國際經濟入門	2	<input type="checkbox"/> 國際經濟入門	2	<input type="checkbox"/> 日本文學論	2			
	<input type="checkbox"/> 國際社會と日本	2	<input type="checkbox"/> 國際社會と日本	2					
	<input type="checkbox"/> 國際化と異文化理解	2	<input type="checkbox"/> 國際化と異文化理解	2					
	<input type="checkbox"/> 地域社會と情報	2	<input type="checkbox"/> 地域社會と情報	2					
	<input type="checkbox"/> 地域社會と電氣技術	2	<input type="checkbox"/> 地域社會と電氣技術	2					
	<input type="checkbox"/> 日本史概論	2	<input type="checkbox"/> 日本史概論	2					
			<input type="checkbox"/> 日本文學論	2					
第3群 教養教育科目	<input type="circle"/> 基礎ゼミ	2	<input type="circle"/> 論理的表現法I	1	<input type="triangle"/> 就職計画	2			第3群の□から2単位以上修得すること
	<input type="circle"/> 科學的問題解決法	2	<input type="triangle"/> 論理的表現法II	2					
	<input type="circle"/> ライフデザイン	2	<input type="triangle"/> キャリアデザイン	2					
	<input type="circle"/> 日本語の技法	1	<input type="triangle"/> 情報処理III	2					
	<input type="circle"/> 情報処理I	2	<input type="triangle"/> 教養特殊講義C	2					
	<input type="triangle"/> 情報処理II	2							
第4群	<input type="checkbox"/> 健康とスポーツの科学	2	<input type="checkbox"/> 生涯スポーツI	1	<input type="checkbox"/> 視覚表現の科学	2			第4群の□から1単位以上修得すること
	<input type="checkbox"/> 食生活と健康	2	<input type="checkbox"/> 生涯スポーツII	1	<input type="checkbox"/> 空間とデザイン	2			
	<input type="checkbox"/> 空間とデザイン	2	<input type="checkbox"/> 食生活と健康	2					
			<input type="checkbox"/> 空間とデザイン	2					
			<input type="checkbox"/> 健康とスポーツの科学	2					
			<input type="checkbox"/> 視覚表現の科学	2					
第5群	<input type="circle"/> 英語I	1	<input type="checkbox"/> 1 実用英語I	1	<input type="checkbox"/> 1 アドヴァンスト英語I	1	<input type="triangle"/> 海外語学研修	1	第5群の□から4単位以上修得すること ただし、“□1”から2単位以上を含めること □*は外国人留学生のみ履修できる
	<input type="circle"/> 英語II	1	<input type="checkbox"/> 1 実用英語II	1	<input type="checkbox"/> 1 アドヴァンスト英語II	1	<input type="triangle"/> 留学英語	2	
	<input type="circle"/> 英語III	1	<input type="checkbox"/> 1 インタラクティブ英語I	1	<input type="triangle"/> 海外語学研修	1			
	<input type="circle"/> 英語IV	1	<input type="checkbox"/> 1 インタラクティブ英語II	1	<input type="triangle"/> 留学英語	2			
	<input type="checkbox"/> * 日本語I	1	<input type="checkbox"/> * 日本語II	1					
	<input type="triangle"/> 海外語学研修	1	<input type="checkbox"/> * 日本語III	1					
			<input type="checkbox"/> * 日本語IV	1					
			<input type="checkbox"/> 中国語I	1					
			<input type="checkbox"/> 中国語II	1					
			<input type="checkbox"/> フランス語I	1					
			<input type="checkbox"/> フランス語II	1					
			<input type="checkbox"/> スペイン語I	1					
			<input type="checkbox"/> スペイン語II	1					
			<input type="triangle"/> 海外語学研修	1					
			<input type="triangle"/> 留学英語	2					

	1年		2年		3年		4年		備考
	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	
専門科目	○ コンピュータ概論 I	2	○ コンピュータネットワーク	2	○ 画像処理	2	○ 卒業研究	6	□ 1から6単位以上、□2から2単位以上修得すること
	○ コンピュータ概論 II	2	○ 情報学概論	2	○ プロダクションワーク	2			
	○ プログラミング I	2	○ 情報学序論	2	○ 情報学プロジェクト I	2			
	○ マルチメディア	2	□1 プロジェクト管理	2	○ 情報学プロジェクト II	2			
	□1 情報システム概論	2	□1 プロフェッショナルデザイン	2	□1 情報と法	2			
	□1 情報と職業		□2 Webコンテンツ制作	2	△ 計算の複雑さ	2			
	□1 情報社会と倫理	2	△ 応用数学	2	△ 暗号とセキュリティの理論	2			
	△ 数学	2	△ 応用情報数学	2	△ ソフトウェア工学	2			
	△ 数学演習	2	△ ゲームとシナリオのデザイン	2	△ ソフトウェア分析・設計	2			
	△ 情報数学	2	△ ネットワークと通信の理論	2	△ ソフトウェア開発・展開	2			
	△ 情報数学演習	2	△ 情報と符号の理論	2	△ ソフトウェア開発演習	4			
	△ プログラミング II	2	△ データ構造とアルゴリズム	2	△ インターネット工学	2			
	□2 コンピュータグラフィックス	2	△ データ構造とアルゴリズム演習	2	△ インターネット工学演習	2			
	△ 統計ソフトウェア I	2	△ オブジェクト指向プログラミング	2	△ ネットワークセキュリティ	2			
			△ オブジェクト指向プログラミング演習	2	△ ネットワークセキュリティ演習	4			
			△ アドバンスドプログラミング	4	△ Webコンテンツ企画設計	2			
			△ コンピュータ音楽	2	△ 多変量解析	2			
			△ 映像表現	2	△ データマイニングと可視化	2			
			△ 統計ソフトウェア II	2	△ データサイエンス	2			
			△ シミュレーション	2	△ データ分析演習	2			
			△ 知識工学	2					
			△ 知識工学演習	2					
			△ データベース	2					
			△ データベース演習	2					
			△ 深層学習	2					

## 【3年次進級条件（2年次から3年次へ）】

- (1) 2年間以上在学していること  
 (2) 所属するコースで開講されている教養教育科目および専門科目における必修／選択必修／選択科目の中から総計61単位以上を修得していること  
 (3) 所属するコースで1年次に開講されている専門科目における必修科目の全単位を修得していること  
 (4) 1年次に開講されている教養教育科目のうち、『基礎ゼミ』、『科学的問題解決法』の2科目のいずれの単位も修得していること

※教職課程科目のうち教職に関する科目は進級の所要単位に算入しない

## 【4年次進級条件（3年次から4年次へ）】

- (1) 3年間以上在学していること  
 (2) 所属するコースで開講されている教養教育科目および専門科目における必修／選択必修／選択科目の中から総計110単位以上を修得していること  
 (3) 所属するコースで2年次までに開講されている教養教育科目および専門科目における必修科目の全単位を修得していること  
 (4) 3年次に開講されている専門科目のうち、『情報学プロジェクト I』、『情報学プロジェクト II』の2科目のいずれの単位も修得していること

※教職課程科目のうち教職に関する科目は進級の所要単位に算入しない

## 【卒業要件】

- (1) 4年間以上在学していること  
 (2) 所属するコースで開講されている教養教育科目および専門科目における必修／選択必修／選択科目の中から総計124単位以上を修得していること  
 (3) 所属するコースで開講されている教養教育科目および専門科目における必修科目の全単位を修得していること  
 (4) 教養教育科目の中から必修科目14単位、選択必修科目9単位以上を含む総計28単位以上を修得していること  
 (5) 教養教育科目の選択必修科目については、第1科目群から2単位以上、第2科目群から2単位以上、第4科目群から1単位以上、第5科目群から英語科目2単位以上を含む4単位以上を修得していること  
 (6) メディア情報コースにおいては、専門科目の中から必修科目28単位、選択必修科目8単位以上を含む総計70単位以上を修得していること

※教職課程科目のうち教職に関する科目は卒業の所要単位に算入しない

## 情報学科 データサイエンスコース

○：必修 □：選択必修 △：選択

	1年		2年		3年		4年		備考
	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	
第1群	<input type="checkbox"/> 企業倫理と知的財産	2	<input type="checkbox"/> 現代社会と倫理	2	<input type="checkbox"/> 暮らしの中の憲法	2			第1群の□から2単位以上修得すること
	<input type="checkbox"/> 現代社会と倫理	2	<input type="checkbox"/> 環境と科学	2	<input type="checkbox"/> 哲学と人間・社会	2			
	<input type="checkbox"/> 環境と科学	2	<input type="checkbox"/> 現代社会と法	2	<input type="checkbox"/> 環境と社会	2			
	<input type="checkbox"/> 現代社会と法	2	<input type="checkbox"/> 暮らしの中の憲法	2	<input type="triangle"/> インターンシップ	2			
	<input type="triangle"/> 建学のこころ	1	<input type="checkbox"/> 哲学と人間・社会	2					
	<input type="checkbox"/> 心理と行動	2	<input type="checkbox"/> 心理と行動	2					
			<input type="checkbox"/> 環境と社会	2					
			<input type="triangle"/> インターンシップ	2					
第2群			<input type="checkbox"/> 教養特殊講義A	2					第2群の□から2単位以上修得すること
	<input type="checkbox"/> 國際經濟入門	2	<input type="checkbox"/> 國際經濟入門	2	<input type="checkbox"/> 日本文學論	2			
	<input type="checkbox"/> 國際社會と日本	2	<input type="checkbox"/> 國際社會と日本	2					
	<input type="checkbox"/> 國際化と異文化理解	2	<input type="checkbox"/> 國際化と異文化理解	2					
	<input type="checkbox"/> 地域社會と情報	2	<input type="checkbox"/> 地域社會と情報	2					
	<input type="checkbox"/> 地域社會と電氣技術	2	<input type="checkbox"/> 地域社會と電氣技術	2					
	<input type="checkbox"/> 日本史概論	2	<input type="checkbox"/> 日本史概論	2					
			<input type="checkbox"/> 日本文學論	2					
第3群 教養教育科目	<input type="circle"/> 基礎ゼミ	2	<input type="circle"/> 論理的表現法I	1	<input type="triangle"/> 就職計画	2			第4群の□から1単位以上修得すること
	<input type="circle"/> 科學的問題解決法	2	<input type="triangle"/> 論理的表現法II	2					
	<input type="circle"/> ライフデザイン	2	<input type="triangle"/> キャリアデザイン	2					
	<input type="circle"/> 日本語の技法	1	<input type="triangle"/> 情報処理III	2					
	<input type="circle"/> 情報処理I	2	<input type="triangle"/> 教養特殊講義C	2					
	<input type="triangle"/> 情報処理II	2							
	<input type="checkbox"/> 健康とスポーツの科学	2	<input type="checkbox"/> 生涯スポーツI	1	<input type="checkbox"/> 視覚表現の科学	2			
	<input type="checkbox"/> 食生活と健康	2	<input type="checkbox"/> 生涯スポーツII	1	<input type="checkbox"/> 空間とデザイン	2			
第4群	<input type="checkbox"/> 空間とデザイン	2	<input type="checkbox"/> 食生活と健康	2					第5群の□から4単位以上修得すること ただし、“□1”から2単位以上を含めること □*は外国人留学生のみ履修できる
			<input type="checkbox"/> 空間とデザイン	2					
			<input type="checkbox"/> 健康とスポーツの科学	2					
			<input type="checkbox"/> 視覚表現の科学	2					
	<input type="circle"/> 英語I	1	<input type="checkbox"/> 1 実用英語I	1	<input type="checkbox"/> 1 アドヴァンスト英語I	1	<input type="triangle"/> 海外語学研修	1	
	<input type="circle"/> 英語II	1	<input type="checkbox"/> 1 実用英語II	1	<input type="checkbox"/> 1 アドヴァンスト英語II	1	<input type="triangle"/> 留学英語	2	
	<input type="circle"/> 英語III	1	<input type="checkbox"/> 1 インタラクティブ英語I	1	<input type="triangle"/> 海外語学研修	1			
	<input type="circle"/> 英語IV	1	<input type="checkbox"/> 1 インタラクティブ英語II	1	<input type="triangle"/> 留学英語	2			
第5群	<input type="checkbox"/> * 日本語I	1	<input type="checkbox"/> * 日本語II	1					
	<input type="triangle"/> 海外語学研修	1	<input type="checkbox"/> * 日本語III	1					
			<input type="checkbox"/> * 日本語IV	1					
			<input type="checkbox"/> 中国語I	1					
			<input type="checkbox"/> 中国語II	1					
			<input type="checkbox"/> フランス語I	1					
			<input type="checkbox"/> フランス語II	1					
			<input type="checkbox"/> スペイン語I	1					
			<input type="checkbox"/> スペイン語II	1					
			<input type="triangle"/> 海外語学研修	1					
			<input type="triangle"/> 留学英語	2					

	1年		2年		3年		4年		備考
	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	
専門科目	○ コンピュータ概論 I	2	○ 応用情報数学	2	○ データサイエンス	2	○ 卒業研究	6	
	○ コンピュータ概論 II	2	△ 深層学習	2	○ データ分析演習	2			
	○ プログラミング I	2	○ コンピュータネットワーク	2	○ 情報学プロジェクト I	2			
	△ 数学	2	○ データベース	2	○ 情報学プロジェクト II	2			
	△ 数学演習	2	○ データベース演習	2	△ 計算の複雑さ	2			
	△ 情報数学	2	○ 情報学概論	2	△ 暗号とセキュリティの理論	2			
	△ 情報数学演習	2	○ 情報学序論	2	△ 情報と法	2			
	△ 情報システム概論	2	△ 応用数学	2	△ ソフトウェア工学	2			
	△ 情報と職業	2	△ ネットワークと通信の理論	2	△ ソフトウェア分析・設計	2			
	△ 情報社会と倫理	2	△ 情報と符号の理論	2	△ ソフトウェア開発・展開	2			
	△ プログラミング II	2	△ プロジェクト管理	2	△ ソフトウェア開発演習	4			
	△ マルチメディア	2	△ プロフェッショナルデザイン	2	△ インターネット工学	2			
	△ コンピュータグラフィックス	2	△ データ構造とアルゴリズム	2	△ インターネット工学演習	2			
	△ 統計ソフトウェア I	2	△ データ構造とアルゴリズム演習	2	△ ネットワークセキュリティ	2			
			△ オブジェクト指向プログラミング	2	△ ネットワークセキュリティ演習	4			
			△ オブジェクト指向プログラミング演習	2	△ Webコンテンツ企画設計	2			
			△ アドバンスドプログラミング	4	△ 画像処理	2			
			△ コンピュータ音楽	2	○ 多変量解析	2			
			△ Webコンテンツ制作	2	△ プロダクションワーク	2			
			△ ゲームとシナリオのデザイン	2	△ データマイニングと可視化	2			
			△ 統計ソフトウェア II	2					
			△ シミュレーション	2					
			△ 知識工学	2					
			△ 知識工学演習	2					
			△ 映像表現	2					

## 【3年次進級条件（2年次から3年次へ）】

- (1) 2年間以上在学していること  
 (2) 所属するコースで開講されている教養教育科目および専門科目における必修／選択必修／選択科目の中から総計61単位以上を修得していること  
 (3) 所属するコースで1年次に開講されている専門科目における必修科目の全単位を修得していること  
 (4) 1年次に開講されている教養教育科目のうち、『基礎ゼミ』、『科学的問題解決法』の2科目のいずれの単位も修得していること

※教職課程科目のうち教職に関する科目は進級の所要単位に算入しない

## 【4年次進級条件（3年次から4年次へ）】

- (1) 3年間以上在学していること  
 (2) 所属するコースで開講されている教養教育科目および専門科目における必修／選択必修／選択科目の中から総計110単位以上を修得していること  
 (3) 所属するコースで2年次までに開講されている教養教育科目および専門科目における必修科目の全単位を修得していること  
 (4) 3年次に開講されている専門科目のうち、『情報学プロジェクト I』、『情報学プロジェクト II』の2科目のいずれの単位も修得していること

※教職課程科目のうち教職に関する科目は進級の所要単位に算入しない

## 【卒業要件】

- (1) 4年間以上在学していること  
 (2) 所属するコースで開講されている教養教育科目および専門科目における必修／選択必修／選択科目の中から総計124単位以上を修得していること  
 (3) 所属するコースで開講されている教養教育科目および専門科目における必修科目の全単位を修得していること  
 (4) 教養教育科目の中から必修科目14単位、選択必修科目9単位以上を含む総計28単位以上修得していること  
 (5) 教養教育科目の選択必修科目については、第1科目群から2単位以上、第2科目群から2単位以上、第4科目群から1単位以上、第5科目群から英語科目2単位以上を含む4単位以上を修得していること  
 (6) データサイエンスコースにおいては、専門科目の中から必修科目34単位を含む総計80単位以上を修得していること

※教職課程科目のうち教職に関する科目は卒業の所要単位に算入しない

## 2.6 経営ビジネス学科総括表

○：必修科目 □：選択必修科目 △：選択科目

科目区分	分野	授業科目的名称	単位数	開講年次	学期	必修・選択		備考
						経営マネジメント	グローバル経営	
専門科目	基礎	経営ビジネス学入門	2	1	前	○	○	□から 6 単位以上修得すること
		基礎経営学	2	1	前	○	○	
		基礎経済学	2	1	前	○	○	
		基礎流通論	2	1	前	○	○	
		基礎簿記 I	2	1	前	○	○	
		地域マネジメント基礎論	2	1	後	○	○	
		ビジネス英語基礎	2	1	後	△	□	
		基礎情報システム論	2	1	後	△	△	
		基礎産業心理学	2	1	前	□	△	
		経営管理論	2	1	後	□	□	
専門科目	経営学・商学	経営戦略論	2	2	前	□	□	
		人的資源管理論	2	3	後	△	△	
		企業論	2	2	後	△	△	
		マーケティング論	2	1	後	○	○	
		流通システム論	2	2	後	△	△	
		データ分析	2	1	後	△	△	
		統計学	2	1	前	△	△	
		会社法	2	2	前	△	△	
		組織論	2	3	後	△	△	
		広告論	2	2	前	△	△	
専門科目	会計・財務	消費者行動論	2	3	前	△	△	
		マーケティングリサーチ	2	3	後	△	△	
		経営財務論	2	3	後	△	△	
		基礎簿記 II	2	1	後	□	□	
		会計学	2	2	前	□	△	
		財務諸表論 I	2	2	後	□	△	
		財務諸表論 II	2	3	前	△	△	
		原価管理	2	2	前	△	△	
		経営分析	2	3	後	△	△	
		税務会計	2	3	前	△	△	
専門科目	社会・工学	税法 I	2	2	後	△	△	
		税法 II	2	3	前	△	△	
		管理会計論	2	2	後	△	△	
		社会調査論	2	2	後	□	□	
		システムの基礎	2	1	前	△	△	
		産業心理学	2	2	後	△	△	
		NPOマネジメント論	2	3	前	△	△	
		地域ビジネス論	2	2	前	□	△	

科目区分	分野	授業科目の名称	単位数	開講年次	学期	必修・選択		備考
						経営マネジメント	グローバル経営	
専門科目	グローバル	グローバル経営論	2	3	前	□	□	
		グローバル経済論	2	3	前	△	□	
		サステイナビリティ論	2	3	前	△	△	
		比較経営論	2	2	後	□	□	
		アジア社会文化論	2	2	後	△	△	
		グローバル・スタディ	2	3	後	△	△	
		スポーツ社会学	2	3	前	△	△	
		スポーツ文化論	2	2	前	△	△	
		アジア企業論	2	2	後	△	△	
	コミュニケーション	外書講読	2	1	後	△	△	
		ビジネス英語	2	2	前	□	□	
		英語コミュニケーション I	2	2	後	△	△	
		英語コミュニケーション II	2	3	前	△	△	
		中国語コミュニケーション I	2	2	後	△	□	
		中国語コミュニケーション II	2	3	前	△	△	
		韓国語会話	2	2	前	△	□	
		韓国語コミュニケーション I	2	2	後	△	△	
		韓国語コミュニケーション II	2	3	前	△	△	
	演習	フィールドワーク	4	3	後	△	△	
		会計処理演習	2	3	後	△	△	
		特別講義 I	2	1	後	△	△	
		特別講義 II	2	2	前	△	△	
		特別講義 III	2	2	後	△	△	
		特別講義 IV	2	3	前	△	△	
	ゼミナール	プレゼミナール I	2	2	前	○	○	
		プレゼミナール II	2	2	後	○	○	
		ゼミナール I	2	3	前	○	○	
		ゼミナール II	2	3	後	○	○	
		卒業研究	6	4	通年	○	○	

## 経営ビジネス学科 経営マネジメントコース

○：必修 □：選択必修 △：選択

	1年		2年		3年		4年		備考
	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	
第1群	<input type="checkbox"/> 企業倫理と知的財産	2	<input type="checkbox"/> 現代社会と倫理	2	<input type="checkbox"/> 暮らしの中の憲法	2			第1群の□から2単位以上修得すること
	<input type="checkbox"/> 現代社会と倫理	2	<input type="checkbox"/> 環境と科学	2	<input type="checkbox"/> 哲学と人間・社会	2			
	<input type="checkbox"/> 環境と科学	2	<input type="checkbox"/> 現代社会と法	2	<input type="checkbox"/> 環境と社会	2			
	<input type="checkbox"/> 現代社会と法	2	<input type="checkbox"/> 暮らしの中の憲法	2	<input type="triangle"/> インターンシップ	2			
	<input type="triangle"/> 建学のこころ	1	<input type="checkbox"/> 哲学と人間・社会	2					
	<input type="checkbox"/> 心理と行動	2	<input type="checkbox"/> 心理と行動	2					
			<input type="checkbox"/> 環境と社会	2					
			<input type="triangle"/> インターンシップ	2					
第2群			<input type="checkbox"/> 教養特殊講義A	2					第2群の□から2単位以上修得すること
	<input type="checkbox"/> 國際經濟入門	2	<input type="checkbox"/> 國際經濟入門	2	<input type="checkbox"/> 日本文學論	2			
	<input type="checkbox"/> 國際社會と日本	2	<input type="checkbox"/> 國際社會と日本	2					
	<input type="checkbox"/> 國際化と異文化理解	2	<input type="checkbox"/> 國際化と異文化理解	2					
	<input type="checkbox"/> 地域社會と情報	2	<input type="checkbox"/> 地域社會と情報	2					
	<input type="checkbox"/> 地域社會と電氣技術	2	<input type="checkbox"/> 地域社會と電氣技術	2					
	<input type="checkbox"/> 日本史概論	2	<input type="checkbox"/> 日本史概論	2					
			<input type="checkbox"/> 日本文學論	2					
第3群 教養教育科目	<input type="circle"/> 基礎ゼミ	2	<input type="circle"/> 論理的表現法I	1	<input type="triangle"/> 就職計画	2			第4群の□から1単位以上修得すること
	<input type="circle"/> 科學的問題解決法	2	<input type="triangle"/> 論理的表現法II	2					
	<input type="circle"/> ライフデザイン	2	<input type="triangle"/> キャリアデザイン	2					
	<input type="circle"/> 日本語の技法	1	<input type="triangle"/> 情報処理III	2					
	<input type="circle"/> 情報処理I	2	<input type="triangle"/> 教養特殊講義C	2					
	<input type="triangle"/> 情報処理II	2							
	<input type="checkbox"/> 健康とスポーツの科学	2	<input type="checkbox"/> 生涯スポーツI	1	<input type="checkbox"/> 視覚表現の科学	2			
	<input type="checkbox"/> 食生活と健康	2	<input type="checkbox"/> 生涯スポーツII	1	<input type="checkbox"/> 空間とデザイン	2			
第4群	<input type="checkbox"/> 空間とデザイン	2	<input type="checkbox"/> 食生活と健康	2					第5群の□から4単位以上修得すること ただし、“□1”から2単位以上を含めること □*は外国人留学生のみ履修できる
			<input type="checkbox"/> 空間とデザイン	2					
			<input type="checkbox"/> 健康とスポーツの科学	2					
			<input type="checkbox"/> 視覚表現の科学	2					
	<input type="circle"/> 英語I	1	<input type="checkbox"/> 1 実用英語I	1	<input type="checkbox"/> 1 アドヴァンスト英語I	1	<input type="triangle"/> 海外語学研修	1	
	<input type="circle"/> 英語II	1	<input type="checkbox"/> 1 実用英語II	1	<input type="checkbox"/> 1 アドヴァンスト英語II	1	<input type="triangle"/> 留学英語	2	
	<input type="circle"/> 英語III	1	<input type="checkbox"/> 1 インタラクティブ英語I	1	<input type="triangle"/> 海外語学研修	1			
	<input type="circle"/> 英語IV	1	<input type="checkbox"/> 1 インタラクティブ英語II	1	<input type="triangle"/> 留学英語	2			
第5群	<input type="checkbox"/> * 日本語I	1	<input type="checkbox"/> * 日本語II	1					
	<input type="triangle"/> 海外語学研修	1	<input type="checkbox"/> * 日本語III	1					
			<input type="checkbox"/> * 日本語IV	1					
			<input type="checkbox"/> 中国語I	1					
			<input type="checkbox"/> 中国語II	1					
			<input type="checkbox"/> フランス語I	1					
			<input type="checkbox"/> フランス語II	1					
			<input type="checkbox"/> スペイン語I	1					
			<input type="checkbox"/> スペイン語II	1					
			<input type="triangle"/> 海外語学研修	1					
			<input type="triangle"/> 留学英語	2					

	1年		2年		3年		4年		備考
	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	
専 門 科 目	○ 経営ビジネス学入門	2	○ プレゼミナールⅠ	2	○ ゼミナールⅠ	2	○ 卒業研究	6	□から6単位以上修得すること
	○ 基礎経営学	2	○ プレゼミナールⅡ	2	○ ゼミナールⅡ	2			
	○ 基礎経済学	2	□ 経営戦略論	2	□ グローバル経営論	2			
	○ 基礎流通論	2	□ 会計学	2	△ 人的資源管理論	2			
	○ 基礎簿記Ⅰ	2	□ 財務諸表論Ⅰ	2	△ 組織論	2			
	○ 地域マネジメント基礎論	2	□ 社会調査論	2	△ 消費者行動論	2			
	○ マーケティング論	2	□ 地域ビジネス論	2	△ マーケティングリサーチ	2			
	□ 基礎産業心理学	2	□ 比較経営論	2	△ 経営財務論	2			
	□ 経営管理論	2	□ ビジネス英語	2	△ 財務諸表論Ⅱ	2			
	□ 基礎簿記Ⅱ	2	△ 企業論	2	△ 経営分析	2			
	△ ビジネス英語基礎	2	△ 流通システム論	2	△ 税務会計	2			
	△ 基礎情報システム論	2	△ 会社法	2	△ 税法Ⅱ	2			
	△ データ分析	2	△ 広告論	2	△ NPOマネジメント論	2			
	△ 統計学	2	△ 原価管理	2	△ 地域経済分析	2			
	△ システムの基礎	2	△ 税法Ⅰ	2	△ 都市経営論	2			
	△ 外書講読	2	△ 管理会計論	2	△ グローバル経済論	2			
	△ 特別講義Ⅰ	2	△ 産業心理学	2	△ サステイナビリティ論	2			
			△ スポーツマネジメント	2	△ グローバル・スタディ	2			
			△ アジア社会文化論	2	△ スポーツ社会学	2			
			△ スポーツ文化論	2	△ 英語コミュニケーションⅡ	2			
			△ アジア企業論	2	△ 中国語コミュニケーションⅡ	2			
			△ 英語コミュニケーションⅠ	2	△ 韓国語コミュニケーションⅡ	2			
			△ 中国語コミュニケーションⅠ	2	△ フィールドワーク	4			
			△ 韓国語会話	2	△ 会計処理演習	2			
			△ 韓国語コミュニケーションⅠ	2	△ 特別講義Ⅳ	2			
			△ 特別講義Ⅱ	2					
			△ 特別講義Ⅲ	2					

## 【3年次進級条件（2年次から3年次へ）】

- (1) 2年間以上在学していること
  - (2) 教養教育科目および専門科目における必修／選択必修／選択科目の中から総計61単位以上を修得していること
  - (3) 1年次に開講されている教養教育科目のうち、『基礎ゼミ』、『科学的問題解決法』、『ライフデザイン』、『日本語の技法』、『情報処理Ⅰ』の5科目のいずれの単位も修得していること
  - (4) 1年次に開講されている専門科目における必修科目の全単位を修得していること
- ※教職課程科目のうち教職に関する科目は進級の所要単位に算入しない

## 【4年次進級条件（3年次から4年次へ）】

- (1) 3年間以上在学していること
  - (2) 教養教育科目および専門科目における必修／選択必修／選択科目の中から総計110単位以上を修得していること
  - (3) 3年次までに開講されている教養教育科目および専門科目における必修科目の全単位を修得していること
  - (4) 3年次までに開講されている専門科目における所属するコースの選択必修科目の中から6単位以上を修得していること
- ※教職課程科目のうち教職に関する科目は進級の所要単位に算入しない

## 【卒業要件】

- (1) 4年間以上在学していること
  - (2) 教養教育科目および専門科目における必修／選択必修／選択科目の中から総計124単位以上を修得していること
  - (3) 教養教育科目および専門科目における必修科目の全単位を修得していること
  - (4) 教養教育科目の中から必修科目14単位、選択必修科目9単位以上を含む総計28単位以上を修得していること
  - (5) 教養教育科目の選択必修科目については、第1科目群から2単位以上、第2科目群から2単位以上、第4科目群から1単位以上、第5科目群から英語科目2単位以上を含む4単位以上を修得していること
  - (6) 専門科目の中から必修科目28単位、所属するコースの選択必修科目6単位以上を含む総計70単位以上を修得していること
- ※教職課程科目のうち教職に関する科目は卒業の所要単位に算入しない

## 経営ビジネス学科 グローバル経営コース

○：必修 □：選択必修 △：選択

	1年		2年		3年		4年		備考
	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	
第1群	<input type="checkbox"/> 企業倫理と知的財産	2	<input type="checkbox"/> 現代社会と倫理	2	<input type="checkbox"/> 暮らしの中の憲法	2			第1群の□から2単位以上修得すること
	<input type="checkbox"/> 現代社会と倫理	2	<input type="checkbox"/> 環境と科学	2	<input type="checkbox"/> 哲学と人間・社会	2			
	<input type="checkbox"/> 環境と科学	2	<input type="checkbox"/> 現代社会と法	2	<input type="checkbox"/> 環境と社会	2			
	<input type="checkbox"/> 現代社会と法	2	<input type="checkbox"/> 暮らしの中の憲法	2	<input type="triangle"/> インターンシップ	2			
	<input type="triangle"/> 建学のこころ	1	<input type="checkbox"/> 哲学と人間・社会	2					
	<input type="checkbox"/> 心理と行動	2	<input type="checkbox"/> 心理と行動	2					
			<input type="checkbox"/> 環境と社会	2					
			<input type="triangle"/> インターンシップ	2					
第2群			<input type="checkbox"/> 教養特殊講義A	2					第2群の□から2単位以上修得すること
	<input type="checkbox"/> 國際經濟入門	2	<input type="checkbox"/> 國際經濟入門	2	<input type="checkbox"/> 日本文學論	2			
	<input type="checkbox"/> 國際社會と日本	2	<input type="checkbox"/> 國際社會と日本	2					
	<input type="checkbox"/> 國際化と異文化理解	2	<input type="checkbox"/> 國際化と異文化理解	2					
	<input type="checkbox"/> 地域社會と情報	2	<input type="checkbox"/> 地域社會と情報	2					
	<input type="checkbox"/> 地域社會と電氣技術	2	<input type="checkbox"/> 地域社會と電氣技術	2					
	<input type="checkbox"/> 日本史概論	2	<input type="checkbox"/> 日本史概論	2					
			<input type="checkbox"/> 日本文學論	2					
第3群 教養教育科目	<input type="circle"/> 基礎ゼミ	2	<input type="circle"/> 論理的表現法I	1	<input type="triangle"/> 就職計画	2			第3群の□から2単位以上修得すること
	<input type="circle"/> 科學的問題解決法	2	<input type="triangle"/> 論理的表現法II	2					
	<input type="circle"/> ライフデザイン	2	<input type="triangle"/> キャリアデザイン	2					
	<input type="circle"/> 日本語の技法	1	<input type="triangle"/> 情報処理III	2					
	<input type="circle"/> 情報処理I	2	<input type="triangle"/> 教養特殊講義C	2					
	<input type="triangle"/> 情報処理II	2							
第4群	<input type="checkbox"/> 健康とスポーツの科学	2	<input type="checkbox"/> 生涯スポーツI	1	<input type="checkbox"/> 視覚表現の科学	2			第4群の□から1単位以上修得すること
	<input type="checkbox"/> 食生活と健康	2	<input type="checkbox"/> 生涯スポーツII	1	<input type="checkbox"/> 空間とデザイン	2			
	<input type="checkbox"/> 空間とデザイン	2	<input type="checkbox"/> 食生活と健康	2					
			<input type="checkbox"/> 空間とデザイン	2					
			<input type="checkbox"/> 健康とスポーツの科学	2					
			<input type="checkbox"/> 視覚表現の科学	2					
第5群	<input type="circle"/> 英語I	1	<input type="checkbox"/> 1 実用英語I	1	<input type="checkbox"/> 1 アドヴァンスト英語I	1	<input type="triangle"/> 海外語学研修	1	第5群の□から4単位以上修得すること ただし、“□1”から2単位以上を含めること □*は外国人留学生のみ履修できる
	<input type="circle"/> 英語II	1	<input type="checkbox"/> 1 実用英語II	1	<input type="checkbox"/> 1 アドヴァンスト英語II	1	<input type="triangle"/> 留学英語	2	
	<input type="circle"/> 英語III	1	<input type="checkbox"/> 1 インタラクティブ英語I	1	<input type="triangle"/> 海外語学研修	1			
	<input type="circle"/> 英語IV	1	<input type="checkbox"/> 1 インタラクティブ英語II	1	<input type="triangle"/> 留学英語	2			
	<input type="checkbox"/> * 日本語I	1	<input type="checkbox"/> * 日本語II	1					
	<input type="triangle"/> 海外語学研修	1	<input type="checkbox"/> * 日本語III	1					
			<input type="checkbox"/> * 日本語IV	1					
			<input type="checkbox"/> 中国語I	1					
			<input type="checkbox"/> 中国語II	1					
			<input type="checkbox"/> フランス語I	1					
			<input type="checkbox"/> フランス語II	1					
			<input type="checkbox"/> スペイン語I	1					
			<input type="checkbox"/> スペイン語II	1					
			<input type="triangle"/> 海外語学研修	1					
			<input type="triangle"/> 留学英語	2					

	1年		2年		3年		4年		備考
	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	
専門科目	○ 経営ビジネス学入門	2	○ プレゼミナールⅠ	2	○ ゼミナールⅠ	2	○ 卒業研究	6	□から6単位以上修得すること
	○ 基礎経営学	2	○ プレゼミナールⅡ	2	○ ゼミナールⅡ	2			
	○ 基礎経済学	2	□ 経営戦略論	2	□ グローバル経営論	2			
	○ 基礎流通論	2	□ 社会調査論	2	□ グローバル経済論	2			
	○ 基礎簿記Ⅰ	2	□ 比較経営論	2	△ 人的資源管理論	2			
	○ 地域マネジメント基礎論	2	□ ビジネス英語	2	△ 組織論	2			
	○ マーケティング論	2	□ 中国語コミュニケーションⅠ	2	△ 消費者行動論	2			
	□ ビジネス英語基礎	2	□ 韓国語会話	2	△ マーケティングリサーチ	2			
	□ 経営管理論	2	△ 企業論	2	△ 経営財務論	2			
	□ 基礎簿記Ⅱ	2	△ 流通システム論	2	△ 財務諸表論Ⅱ	2			
	△ 基礎情報システム論	2	△ 会社法	2	△ 経営分析	2			
	△ 基礎産業心理学	2	△ 広告論	2	△ 税務会計	2			
	△ データ分析	2	△ 会計学	2	△ 税法Ⅱ	2			
	△ 統計学	2	△ 財務諸表論Ⅰ	2	△ NPOマネジメント論	2			
	△ システムの基礎	2	△ 原価管理	2	△ 地域経済分析	2			
	△ 外書講読	2	△ 税法Ⅰ	2	△ 都市経営論	2			
	△ 特別講義Ⅰ	2	△ 管理会計論	2	△ サステイナビリティ論	2			
			△ 産業心理学	2	△ グローバル・スタディ	2			
			△ 地域ビジネス論	2	△ スポーツ社会学	2			
			△ スポーツマネジメント	2	△ 英語コミュニケーションⅡ	2			
			△ アジア社会文化論	2	△ 中国語コミュニケーションⅡ	2			
			△ スポーツ文化論	2	△ 韓国語コミュニケーションⅡ	2			
			△ アジア企業論	2	△ フィールドワーク	4			
			△ 英語コミュニケーションⅠ	2	△ 会計処理演習	2			
			△ 韓国語コミュニケーションⅠ	2	△ 特別講義Ⅳ	2			
			△ 特別講義Ⅱ	2					
			△ 特別講義Ⅲ	2					

## 【3年次進級条件（2年次から3年次へ）】

- (1) 2年間以上在学していること  
 (2) 教養教育科目および専門科目における必修／選択必修／選択科目の中から総計61単位以上を修得していること  
 (3) 1年次に開講されている教養教育科目のうち、『基礎ゼミ』、『科学的問題解決法』、『ライフデザイン』、『日本語の技法』、『情報処理Ⅰ』の5科目のいずれの単位も修得していること  
 (4) 1年次に開講されている専門科目における必修科目の全単位を修得していること  
 ※教職課程科目のうち教職に関する科目は進級の所要単位に算入しない

## 【4年次進級条件（3年次から4年次へ）】

- (1) 3年間以上在学していること  
 (2) 教養教育科目および専門科目における必修／選択必修／選択科目の中から総計110単位以上を修得していること  
 (3) 3年次までに開講されている教養教育および専門科目における必修科目の全単位を修得していること  
 (4) 3年次までに開講されている専門科目における所属するコースの選択必修科目の中から6単位以上を修得していること  
 ※教職課程科目のうち教職に関する科目は進級の所要単位に算入しない

## 【卒業要件】

- (1) 4年間以上在学していること  
 (2) 教養教育科目および専門科目における必修／選択必修／選択科目の中から総計124単位以上を修得していること  
 (3) 教養教育科目および専門科目における必修科目の全単位を修得していること  
 (4) 教養教育科目の中から必修科目14単位、選択必修科目9単位以上を含む総計28単位以上を修得していること  
 (5) 教養教育科目の選択必修科目については、第1科目群から2単位以上、第2科目群から2単位以上、第4科目群から1単位以上、第5科目群から英語科目2単位以上を含む4単位以上を修得していること  
 (6) 専門科目の中から必修科目28単位、所属するコースの選択必修科目6単位以上を含む総計70単位以上を修得していること  
 ※教職課程科目のうち教職に関する科目は卒業の所要単位に算入しない



## 2.7 インターンシップ

## インターンシップについて

インターンシップとは、自分の専攻や将来のキャリアに関連して就業体験することをいいます。在学中に一定の期間、企業や官公庁に出向いて実際の業務に携わる実地研修を行います。企業体験を通じて専攻分野と将来の職業に対する興味が高まるだけでなく、自らの職業観と社会観を確立させるのに有効です。もちろん、4年次での職業選択や就職活動にも大いに役立ちます。インターンシップ制度は今では日本のはとんどの大学で実施されていますが、産業理工学部では平成14年度から正課の授業科目として実施しています。インターンシップは大学と様々な分野の企業・官公庁が連携して行うのですが、まだ学生である皆さんを受け入れる事は受入先の大きな負担になります。このため、インターンシップに参加できるのは、所定の基準を満たした学生に限られます。

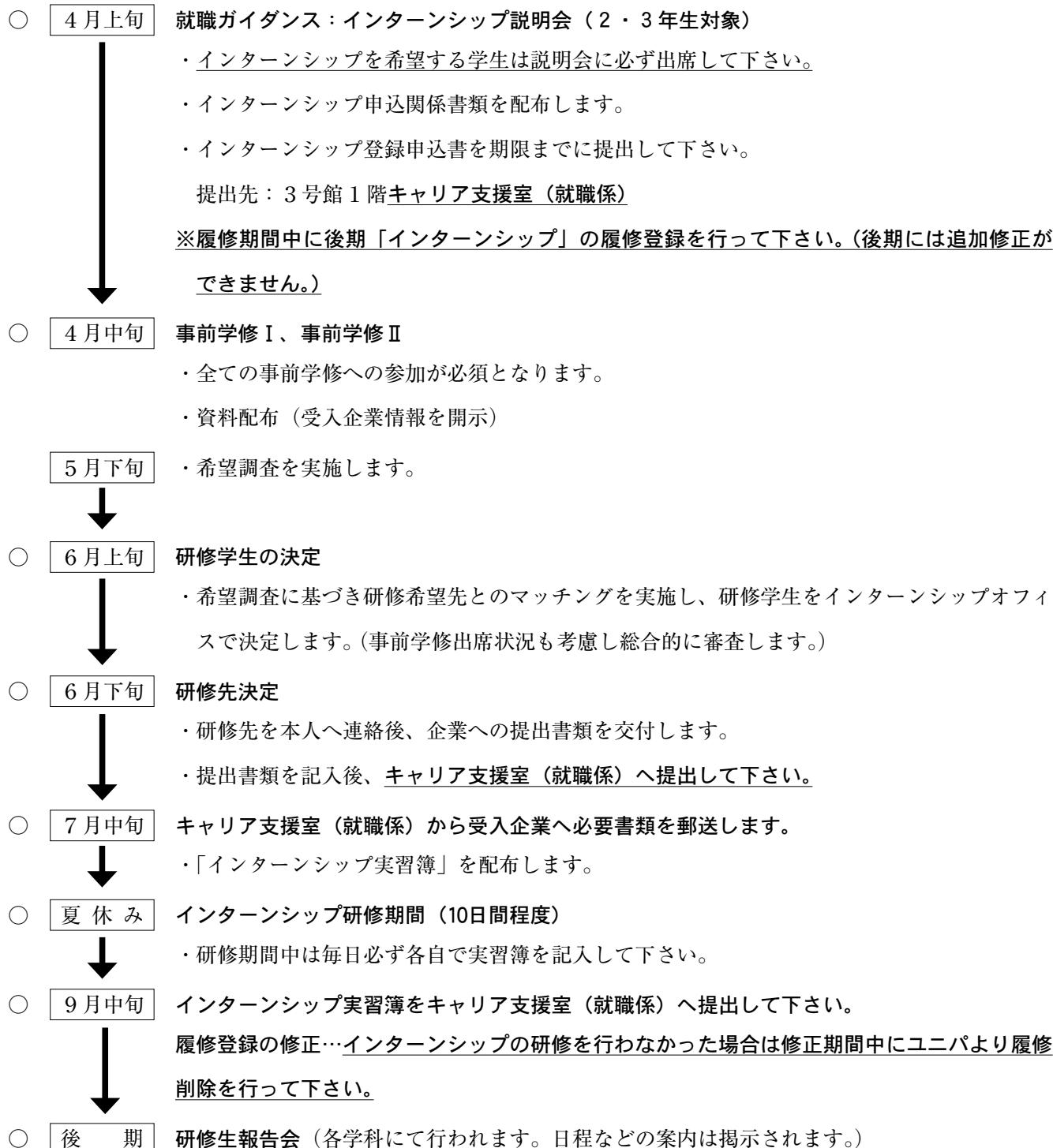
インターンシップの受講を希望する全ての学生は、まず2年次および3年次前期に「インターンシップ」のWeb履修登録を行い、その後、当学部で行われるインターンシップ事前学修を通じて、実地研修に最低限必要な事項を学修し、さらに各学科で実地研修へ進むための選抜を受けます。選抜基準には、各教科の成績だけでなく、コミュニケーション能力やチャレンジ精神、主体性、誠実性、協調性、責任感、礼儀など人格面や専攻分野の実技能力も重視されます。また、パソコンで報告書などの文書を迅速かつ正確に作成する能力も要求されます。事前学修後の選抜によって選ばれた学生は、夏季休暇中に企業・官公庁で実際の業務に携わる実地研修（10日間程度）を受けます。その後、後期になってから各学科で開催される報告会において、体験した業務の研修内容などについて、報告してもらいます。事前学修・実地研修・報告の3点を総合的に評価し、所定の成績を収めた人には単位（インターンシップ2単位）が認定されます。なお、学科によっては体験レポート等の提出も必要です。

インターンシップは2年次、3年次に配置されています。他の科目と異なり、2年次で履修して、さらに、3年次においても挑戦することもできます。

インターンシップ科目の履修登録や実施要領についてはユニバおよび掲示板を確認して下さい。

不明な点は3号館1階キャリア支援室（就職係）まで問い合わせて下さい。

## インターンシップ（単位認定型）の主なスケジュール



※上記以外に春季インターンシップ（1～3年生対象）や非単位認定型のインターンシップも実施されています。

詳しくは就職ガイダンスで説明があります。

※令和2年度に発生した新型コロナウイルスなど社会情勢の影響により、スケジュールが大幅に変更または非開講となる場合があります。そのため、履修登録の際に開講の有無をご確認下さい。



## 近畿大学における教員養成の理念と目的

近畿大学は建学以来、未来志向の実学主義を掲げ、全人教育の実現に向けて邁進しながら、教育目標とする「人に愛される人、信頼される人、尊敬される人」の育成に取り組んできました。

本学教職教育部における教員養成もこの教育目標と全く軌を一にしています。すなわち、「人に愛される教師、信頼される教師、尊敬される教師」の養成、これが本学教員養成の理念です。この理念を実現することにより、本学が与えられた社会的使命の一端を果たしたいと考えます。

そのため、以下の目的に重点を置きながら、全学的な協力・指導体制をもってこの理念の実現に取り組み、「わが国の次世代を担う教育者」を養成します。

### **1. 真に教育者たるにふさわしい人間性の育成**

人に愛され、尊敬され、信頼される教師となるためには、豊かな教養や子どもに対する愛情と理解を持つとともに、人と深く関わることのできるコミュニケーション能力や協調性、教育者としての使命感を備えていることが必要です。このような能力に裏づけられた豊かな人間性を育むことを目指します。

### **2. 教員に求められる専門性、実践的指導力の養成**

現実に教員としての職責を全うするには、様々な課題を持つ子どもたちと向き合い、具体的かつ効果的な指導や援助ができなければなりません。そのために必要な専門的知識および技能の修得と実践的指導力の養成を目指します。

### **3. 自ら資質を向上させ続ける自己教育力の獲得**

今日のような変化の激しい時代にあって、特に教員には、教職についた後も、自己を教育者として、また人間として、生涯にわたって高めていくことが求められます。そのための不断の努力を可能にする自己教育力の獲得を目指します。

## 産業理工学部が目指す教師像

本学部では、「実学教育」と「人格の陶冶」という建学精神や「真に教育者たるにふさわしい人間性の育成」及び「教員に求められる専門性、実践的指導力の養成」という、大学全体の教員養成に対する理念・構想を受け、さらに、文理協働の新しい発想を持った教養ある社会人育成という本学部の目標に基づいて、以下のような高等学校教員の育成を目指している。

### **1. 理工学及び経営学という文理両方にまたがる幅広い専門分野を背景に、実践的教科指導力を有する教師**

本学部では、高等学校一種の文系・理系4教科（生物環境化学科は理科・工業科、電気電子工学科は工業科・情報科、建築・デザイン学科は工業科、情報学科は情報科・工業科、経営ビジネス学科は商業科）の教員免許状が取得でき、なおかつ、本学部独自の特色として、真剣に教師を目指している学生に対しては、公立高等学校教員採用試験の個別対策指導や私立高等学校教員への就職斡旋等も実施している。単に教員免許状を取得させることが目的なのではなく、各々の担当教科の教科指導力に秀で、学校現場での即戦力を身につけた教師を育成することに尽力している。このため、各学科の専門教育担当教員と教職課程専任教員が常に密接な連携を取り、「生徒の学力実態に即応した、分かりやすい授業を行うことができる能力」を実践的教科指導力と捉え、学部教授会、各学科会議、教職委員会、教務委員会等の場で教員養成に関する活発な意見交換を行っており、専門教育担当教員も本学部の教員養成方針や教員就職状況等について熟知し、学部全体をあげての教員養成体制を取っている。

### **2. 総合的な人間力を有する教師**

本学部では学生一人ひとりの学問的・人間的成长を重視しているが、単に教科指導力に優れた教師ではなく、学部の特質である文理協働によって培われた、幅広い教養と円満な人間性を有する教師の育成を目指している。このため、特に、教職に関する科目の授業やゼミナール等の場で、教師の人間性育成に関する指導を全体的及び個別に徹底して行っている。

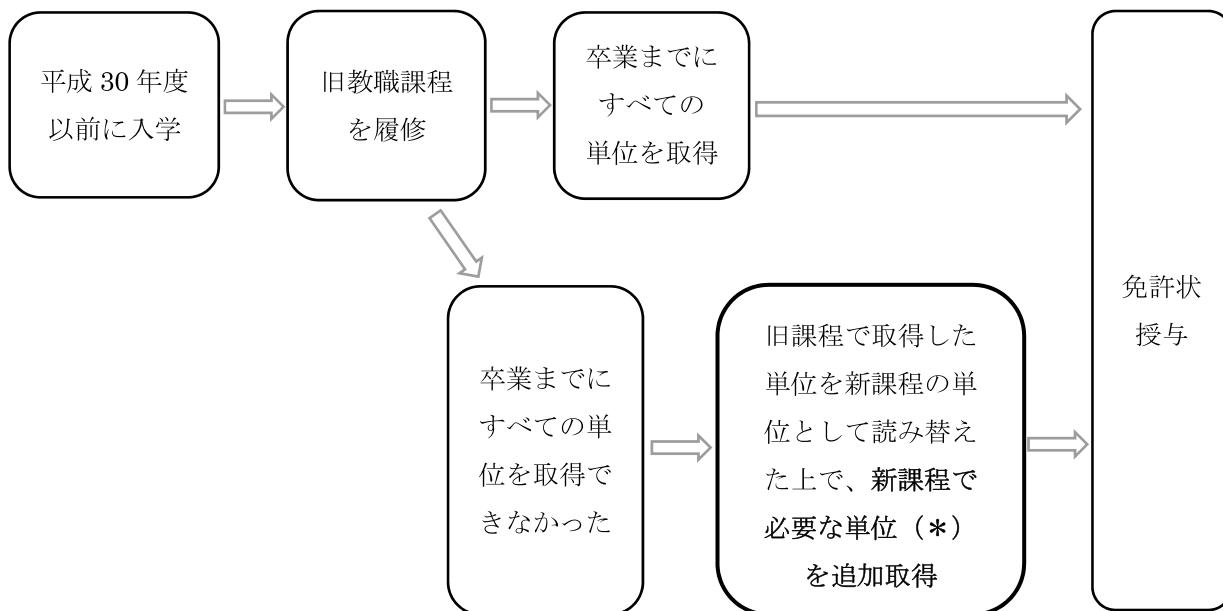
## 教職課程再課程認定に伴う履修単位の変更について

教職課程について、文部科学省により、「平成30年4月1日において免許状の所要資格を得させるための課程として認定を受けている教職課程が、平成31年4月以降も引き続き教職課程を有するための課程認定（再課程認定）を受ける場合は、文部科学大臣に再課程認定の申請を行わなければならない。」（文部科学省HPより引用）と定められています。本学部も平成30年度に再課程認定の申請を行い、従来通り教員免許の取得が可能となりました。これに従い入学年度によって履修すべきカリキュラムが異なります。

平成31年度以降入学生 新教職課程にて教員免許状を取得

平成30年度以前入学生 旧教職課程にて教員免許状を取得

旧教職課程にて教員免許状を取得する予定であった平成30年度以前の入学生が、卒業までに教職に関する単位をすべて取得できなかった場合、卒業後は新教職課程が適応されるため、新教職課程に合わせて追加で単位を取得しなければなりません。



### 新課程で必要な単位（\*）について

新教職課程から初めて教職課程に位置づけられる科目は、以下の3科目となります。

- ・「特別活動及び総合的な学習の時間の理論と方法」
- ・「特別支援教育論」
- ・「教育方法論」

### 3. 教職課程

#### 3.1 教職課程の目的

教職課程とは、本学部卒業後、高等学校の教育職員を希望する学生のために、教員免許状を取得させることを目的としています。免許状の種類に応じた資格条件をみたした学生には、大学による一括申請の後、福岡県教育委員会から教員免許状が授与されます。

教職課程科目は、1年次から4年次まで体系的に編成されていますので、必ず1年次から順に履修してください。卒業要件に示された単位の修得とは別に、多数の教職や教科に関する科目を履修しなければならないため、強い学習意欲とこれにふさわしい人間的、知的資質が必要となります。(教職課程の受講のためには、履修登録・受講料その他も必要です)。

なお、卒業所要単位における教職課程科目の単位の扱い方については、各学科の規定に従ってください。

#### 3.2 教員免許状の種類

本学部で取得できる免許状の種類とその教科を表3.1に示します。

学部での1種免許状取得者が大学院に在籍し、教職科目として認定された所定の単位「24単位」を修得した場合、専修免許状が取得できます。(表3.2参照)。詳細は大学院研究科長および学生支援課の指導に従ってください。

表3.1 本学部で取得できる免許状の種類および教科

学 科	教員免許状の種類および教科	本書での略称
生物環境 化学科	高等学校教諭 1種免許状 理科 高等学校教諭 1種免許状 工業	高校理科 高校工業
電気電子 工学科	高等学校教諭 1種免許状 情報 高等学校教諭 1種免許状 工業	高校情報 高校工業
建築・デザ イン学科	高等学校教諭 1種免許状 工業	高校工業
情報学科	高等学校教諭 1種免許状 情報 高等学校教諭 1種免許状 工業	高校情報 高校工業
経営ビジネス 学科	高等学校教諭 1種免許状 商業	高校商業

表3.2 本学大学院産業理工学研究科で取得できる専修免許状の種類および教科

専 攻	教員免許状の種類および教科
産業理工学専攻	高等学校教諭 専修免許状 工業

#### 3.3 受講手続き

教職課程の受講に関する説明は、教職ガイダンスで行いますが、受講希望学生は本章の説明を各自熟読してください。

##### (1) 教職課程の受講登録

「教職課程履修受講申込書」を学生支援課で受け取り、申請してください。

年度毎に毎年、Web履修申請にて履修登録を行ってください。

##### (2) 教職課程の受講料

教職課程を受講するにあたっては、教職課程の受講料を毎年度納入するとともに、教育実習と、教員免許申請用単位取得証明書の発行に要する費用が必要となります。

「教職課程履修受講申込書」及び、「教職課程受講料用紙」を学生支援課で受け取り、教職課程受講料の証紙を購入し学生支援課にて手続きを行ってください。

#### 3.4 授業科目

教職課程では教員免許状取得に必要な以下(表3.3)の科目を開講しています。なお、教職課程科目とは、「教科及び教科の指導法に関する科目」と「教育の基礎的理解に関する科目等」の2つの科目分野を含みます。

表3.3 教職課程における授業科目の構成

授業科目	内 容
教科及び教科の指導法に関する科目	取得を希望する免許科目に応じて、修得しなければならない専門分野に関する科目（表3.7～表3.11参照）
教育の基礎的理解に関する科目等	免許教科の種類に関係なく共通して、修得しなければならない教育理論や教科指導法などに関する科目（表3.6参照）

### 3.5 所要資格と修得単位数

高等学校1種免許状を取得するためには、表3.4に示すような基礎資格と所定の単位数を修得することが必要です。なお、これは教育職員免許法に基づいて定めた本学部の規定によるものです。

表3.4 免許状取得に必要な基礎資格と最低取得単位数

教科及び教科の指導法に関する科目	教育の基礎的理解に関する科目等			基 础 資 格 教育職員免許法施行規則第66条の6
	教育の基礎的理解に関する科目	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	教育実践に関する科目	
24	10	8	5	8

### 3.6 教科及び教科の指導法に関する科目とその履修方法

#### (1) 開講されている科目

教科及び教科の指導法に関する科目として各学科で開講されている科目は、表3.7～3.11の通りです。

#### (2) 履修方法

教職必修科目と教職選択科目の単位数を合計して40単位以上修得することが必要です。

履修すべき教科及び教科の指導法に関する科目は、免許状の種類によって異なります。

### 3.7 教職課程で履修しなければならない必修科目

教育職員免許法施行規則66条の6に従って、表3.5の諸科目が教職課程の学生には必修となります。

### 3.8 教育の基礎的理解に関する科目等とその履修方法

教育の基礎的理解に関する科目等として開講されている科目は、表3.6の通りです。教育の基礎的理解に関する科目等は、上級履修と他学科履修はできません。

表3.5教職課程の必修「教養・基礎教育部門」(全学科共通)

教育職員免許法施行規則第66条の6

○：教職必修科目

	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	必修・選択	単位数	配当学年	備考
第66条の6	日本国憲法	2 暮らしの中の憲法	○	2	2・3年	
	体育	2 生涯スポーツⅠ 生涯スポーツⅡ	○ ○	1 1	2年 2年	
	外国語コミュニケーション	2 インタラクティブ英語Ⅰ インタラクティブ英語Ⅱ	○ ○	1 1	2年 2年	
	情報機器の操作	2 情報処理Ⅰ	○	2	1年	

表3.6 教職課程の必修「教職に関する開講科目」(全学科共通)

教育の基礎的理解に関する科目等

○：教職必修科目

	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	必修・選択	単位数	配当学年	備考
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10 教育学概論 教職論 教育行政学 教育心理学 特別支援教育論	○	2	1年	教育実習参加の必修科目
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）		○	2	1年	同上
	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）		○	2	2年	同上
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）		○	2	1年	同上
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		○	2	2年	
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		○	2	2年	
指導総合教育学等の時間等の指導及び相談等の時間等の指導	総合的な学習の時間の指導法	8 特別活動及び総合的な学習の時間の理論と方法 教育方法論 生徒・進路指導論 教育相談	○	2	2年	
	特別活動の指導法		○	2	2年	
	教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）		○	2	2年	
	生徒指導の理論及び方法		○	2	3年	
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法		○	2	3年	
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法		○	2	3年	
教育実践に関する科目	教育実習	教育実習	○	2	4年	期間は2週間
		教育実習指導	○	1	3・4年	教育実習参加の必修科目 3年後期、4年後期にかけての受講となります。
	学校体験活動 教職実践演習	2 教職実践演習（高等学校）	○	2	4年	

## 教科及び教科の指導法に関する科目

表3.7(a) 生物環境化学科 (高校工業)

○：教職必修科目 △：教職選択科目

各科目に含めることが必要な事項		授業科目	必修・選択	単位数	備考
教科 教科及び教科の指導法に関する専門的事項	工業の関係科目	物理化学 I	○	2	
		無機化学 I	○	2	
		分析化学	○	2	
		有機化学 I	○	2	
		高分子合成化学	△	2	
		高分子物性	△	2	
		食品衛生学	△	2	
		資源エネルギー化学	△	2	
		有機合成化学	△	2	
		生体機能分子化学	△	2	
		先端有機材料化学	△	2	
		分光分析法	△	2	
		化学と安全	△	2	
		先端無機材料化学	△	2	
		公害防止管理	△	2	
		環境バイオテクノロジー	△	2	
		バイオセンシング	△	2	
		遺伝子工学	△	2	
		食品化学	△	2	
		環境化学実験	○	3	
		生物化学実験	○	3	
		物質化学実験	○	3	
		生物環境化学実験	○	3	
		職業指導	○	4	
	教科及び教科の指導法に関する複数の事項を合わせた内容に係る科目				
	各教科の指導法 (情報機器及び教材の活用を含む。)				
	工業科教育法 I	○	2	教育実習参加の必修科目	
	工業科教育法 II	○	2	同上	

○印の教職必修 + △印の教職選択 = 40単位以上修得のこと。

表3.7(b) 生物環境化学科 (高校理科)

○：教職必修科目 △：教職選択科目

各科目に含めることが必要な事項		授業科目	必修・選択	単位数	備考
教科 教科及び教科の指導法に関する専門的事項	物理学	物理学 I	○	2	
		物理学 II	○	2	
		物理化学 II	○	2	
		分子シミュレーション	△	2	
		固体化学	△	2	
		無機化学 II	○	2	
		有機化学 II	○	2	
		環境材料化学	△	2	
		アカデミック有機化学 II	△	2	
		生物有機化学	△	2	
		環境生物学	△	2	
		生物学 I	○	2	
		生物学 II	○	2	
		生物化学 I	△	2	
		生物化学 II	△	2	
		微生物学	△	2	
		微生物バイオテクノロジー	△	2	
		地学概論	○	4	
		生物環境化学基礎実験	○	3	
		生物化学基礎実験	○	3	
		環境化学基礎実験	○	3	
		物質化学基礎実験	○	3	
	教科及び教科の指導法に関する複数の事項を合わせた内容に係る科目				
	各教科の指導法 (情報機器及び教材の活用を含む。)				
	理科教育法 I	○	2	教育実習参加の必修科目	
	理科教育法 II	○	2	同上	

○印の教職必修 + △印の教職選択 = 40単位以上修得のこと。

- 「生物環境化学科」 - 高校工業と高校理科の免許状を2つとも取得可能です。

表3.8(a) 電気電子工学科 (高校工業)

○：教職必修科目 △：教職選択科目

各科目に含めることが必要な事項		授業科目	必修・選択	単位数	備考
教科に関する専門的事項  工業の関係科目  教科及び教科の指導法に関する科目  職業指導  教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目  各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）	40	電磁気学 I	○	2	
		電磁気学 II	△	2	
		電気回路 I	○	2	
		電気回路 I 演習	○	2	
		電気回路 II	○	2	
		電気回路 III	△	2	
		電子回路 I	○	2	
		電子回路 I 演習	○	2	
		電子回路 II	△	2	
		電子回路設計	△	2	
		エレクトロニクス概論	○	2	
		計測工学	○	2	
		集積回路	△	2	
		電磁波工学	△	2	
		無線通信工学	△	2	
		電気材料物性	△	2	
		半導体工学	△	2	
		発変電工学	△	2	
		送配電工学	△	2	
		電気機器	△	2	
		パワーエレクトロニクス	△	2	
		電力システム概論	△	2	
		電気法規・施設管理	△	2	
		電機設計・製図	△	2	
		エネルギー環境システム	△	2	
		電気工学基礎実験 I	○	2	
		電気工学基礎実験 II	○	2	
		電気電子情報工学実験 I	○	2	
		電気電子情報工学実験 II	○	2	
		職業指導	○	4	
		工業科教育法 I	○	2	教育実習参加の必修科目
		工業科教育法 II	○	2	同上

○印の教職必修+△印の教職選択=40単位以上修得のこと。

表3.8(b) 電気電子工学科 (高校情報)

○：教職必修科目 △：教職選択科目

各科目に含めることが必要な事項		授業科目	必修・選択	単位数	備考
教科に関する専門的事項  情報社会・情報倫理  コンピュータ・情報処理（実習を含む。）  情報システム（実習を含む。）  情報通信ネットワーク（実習を含む。）  マルチメディア表現・マルチメディア技術（実習を含む。）  情報と職業  教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目  各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）	40	情報社会と倫理	○	2	
		情報と法	△	2	
		コンピュータ概論	○	2	
		論理回路	○	2	
		論理回路演習	△	2	
		システムプログラミング	○	2	
		プログラミング	○	2	
		プログラミング演習	○	2	
		制御工学	△	2	
		ロボティクス	○	2	
		データ処理とプログラミング	○	2	
		計算機システム	○	2	
		組込み制御	△	2	
		情報センシング	△	2	
		情報通信工学	○	2	
		情報ネットワーク	○	2	
		情報メディア工学	○	2	
		シミュレーション	○	2	
		情報と職業	○	2	
		情報科教育法 I	○	2	教育実習参加の必修科目
		情報科教育法 II	○	2	同上

○印の教職必修+△印の教職選択=40単位以上修得のこと。

● 「電気電子工学科」 - 高校工業と高校情報の免許状を2つとも取得可能です。

表3.9 建築・デザイン学科（高校工業）

○：教職必修科目 △：教職選択科目

各科目に含めることが必要な事項		授業科目	必修・選択	単位数	備考	
教科に関する専門的事項 教科及び教科の指導法に関する科目	40 工業の関係科目	静定構造力学Ⅰ及び演習	○	3		
		静定構造力学Ⅱ及び演習	△	3		
		不静定構造力学及び演習	△	3		
		建築と構造	○	2		
		鉄筋コンクリート構造	△	2		
		建築材料	○	2		
		施工法Ⅰ	○	2		
		環境概論	○	2		
		建築と環境	△	2		
		建築設備の基礎	○	2		
		環境とデザイン	○	2		
		近現代建築論	△	2		
		住まいの計画	△	2		
		建築計画	△	2		
		都市計画	△	2		
		インテリアデザイン演習	△	3		
		視覚表現演習	△	3		
		プレゼンテーション演習	△	3		
		建築・デザイン演習Ⅰ	○	3		
職業指導	教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目	建築・デザイン演習Ⅱ	○	3		
		建築設計Ⅰ	○	3		
各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）		CADトレーニング	△	2		
		建築工学実験	△	2		
		建築法規	○	2		
		職業指導	○	4		
		工業科教育法Ⅰ	○	2	教育実習参加の必修科目	
		工業科教育法Ⅱ	○	2	同上	

○印の教職必修+△印の教職選択=40単位以上修得のこと。

表3.10(a) 情報学科（高校工業）

○：教職必修科目 △：教職選択科目

各科目に含めることが必要な事項		授業科目	必修・選択	単位数	備考	
教科に関する専門的事項	工業の関係科目	コンピュータ概論 I	○	2		
		コンピュータ概論 II	○	2		
		応用数学	△	2		
		情報数学	△	2		
		情報数学演習	△	2		
		統計ソフトウェア I	△	2		
		統計ソフトウェア II	△	2		
		計算の複雑さ	△	2		
		多変量解析	△	2		
		アドバンスドプログラミング	△	4		
		知識工学	△	2		
		知識工学演習	△	2		
		深層学習	△	2		
		データマイニングと可視化	△	2		
		プロジェクト管理	△	2		
		Webコンテンツ企画設計	△	2		
		プロダクションワーク	△	2		
		データサイエンス	△	2		
		データ分析演習	△	2		
教科及び教科の指導法に関する科目	職業指導	情報学プロジェクト I	○	2		
		情報学プロジェクト II	○	2		
各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）	職業指導		○	4		
		工業科教育法 I	○	2	教育実習参加の必修科目	
		工業科教育法 II	○	2	同上	

○印の教職必修+△印の教職選択=40単位以上修得のこと。

表3.10(b) 情報学科（高校情報）

○：教職必修科目 △：教職選択科目

各科目に含めることが必要な事項		授業科目	必修・選択	単位数	備考
教科に関する専門的事項	情報社会・情報倫理	情報社会と倫理	○	2	
		情報と法	○	2	
		情報学概論	○	2	
		ソフトウェア工学	○	2	
		ソフトウェア分析・設計	△	2	
		ソフトウェア開発・展開	△	2	
		ソフトウェア開発演習	△	4	
		データ構造とアルゴリズム	○	2	
		データ構造とアルゴリズム演習	○	2	
		プログラミング I	○	2	
		プログラミング II	△	2	
		オブジェクト指向プログラミング	△	2	
		オブジェクト指向プログラミング演習	△	2	
		データベース	○	2	
		データベース演習	○	2	
		情報システム概論	○	2	
		コンピュータネットワーク	○	2	
		インターネット工学	○	2	
		ネットワークセキュリティ	○	2	
教科及び教科の指導法に関する科目	コンピュータ・情報処理（実習を含む。）	ネットワークと通信の理論	△	2	
		インターネット工学演習	△	2	
		ネットワークセキュリティ演習	△	4	
		コンピュータグラフィックス	△	2	
		Webコンテンツ制作	△	2	
		画像処理	△	2	
		映像表現	△	2	
		コンピュータ音楽	△	2	
		マルチメディア	△	2	
		シミュレーション	△	2	
		情報と職業	○	2	
		情報科教育法 I	○	2	教育実習参加の必修科目
		情報科教育法 II	○	2	同上
各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）	情報と職業				

○印の教職必修+△印の教職選択=40単位以上修得のこと。

- 「情報学科」 - 高校工業と高校情報の免許状を2つとも取得可能です。

表3.11 経営ビジネス学科（高校商業）

○：教職必修科目 △：教職選択科目

各科目に含めることが必要な事項		授業科目	必修・選択	単位数	備考	
教科 に関する 専門的 事項	商業の関係科目	基礎経済学	○	2		
		基礎経営学	○	2		
		地域経済分析	△	2		
		財務諸表論 I	△	2		
		財務諸表論 II	△	2		
		経営分析	△	2		
		企業論	△	2		
		経営戦略論	○	2		
		経営管理論	○	2		
		基礎流通論	○	2		
		マーケティング論	○	2		
		流通システム論	△	2		
		ビジネス英語基礎	△	2		
		ビジネス英語	△	2		
		会社法	△	2		
		税法 I	△	2		
		税法 II	△	2		
		基礎簿記 I	○	2		
		基礎簿記 II	△	2		
		会計学	△	2		
		原価管理	△	2		
		税務会計	△	2		
		会計処理演習	△	2		
		基礎情報システム論	△	2		
		システムの基礎	○	2		
		職業指導（商業）	○	2		
教科及び教科の指導法に関する科目	職業指導					
		教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目				
各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）		商業科教育法 I	○	2	教育実習参加の必修科目	
		商業科教育法 II	○	2	同上	

○印の教職必修 + △印の教職選択 = 40単位以上修得のこと。

### 3.9 教育実習について

教職課程で学んだ専門知識に基づいて、学校教育の場で教育実践の基礎的訓練を行うことを目的として、教育実習を行います。

ら4年次前期にかけて開講し（集中講義）、合計して1単位分となるので、3年次・4年次ともに必ず履修すること。また、4年次後期の「教職実践演習（高等学校）」を必ず履修すること。

#### (1) 教育実習の参加資格

教育実習（必修）に参加するためには、下記の①②の条件を満たしていることが必要です。

- ①教育実習の実施年度（4年次）までに「教職論」、「教育心理学」、「教育学概論」、「教育行政学」、「該当する教科教育法 I、II」の単位を修得していること。
- ②「教育実習ガイダンス」（3年次4月に行う）に出席し、「教育実習指導」を受講中であること。  
なお、この「教育実習指導」は、3年次後期か

#### (2) 教育実習の概要

広義の教育実習は、次の表3.12の3つから成ります。

表3.12 教育実習の概要

	内 容	場 所
1. 実習事前指導	教育実習の方法や実習に際しての心得、諸注意等に関する講義	本 校
2. 実習校実習	高等学校の教育活動全般について観察・参加・実習を行う 各校の実情に即した指導計画の編成	実習校
3. 実習事後指導	実習中の諸問題についての討議、および教育実習全体のまとめ	本 校

教育実習の成績は実習校の校長と指導教員の採点を主とし、ガイダンス、事前授業、実習関係の提出物、反省会などを含めて総合的に評価します。

※ 教育実習校は、原則として各学生の出身校に依頼するので、母校の恩師との親しい関係を保っておいてください。

### (3) 教育実習の時期と期間

実習は通常5月から10月頃までの期間、実習予定校の指示に従って、約2週間程度行われます。

### (4) 教育実習校の依頼

教育実習は原則として各学生の出身校で行います。(これを「母校実習」と呼びます)。

学内で行われる「教育実習ガイダンス」(第3年次4月に行う)に基づき、第3年次のゴールデンウィークまたは夏季休暇中に各自母校に自身で実習依頼の交渉を行ってください。

#### [教育実習校の依頼に関する注意事項]

- ①交渉に入るまでに「教育実習実施要領(「教育実習ガイダンス」で配布)を熟読し、本学の教育内容の概要をよく理解しておきましょう。
- ②依頼の交渉にあたっては、教育実習生の受け入れがその学校にとって大きな負担であることを十分にわきまえ、謙虚で丁寧な態度で相談してください。
- ③特定の教員との話し合いだけではなく、必ず校長まで話を通し、担当教員や日程などが職員会議で正式に審議された後に内諾を得ることが大切です。

④交渉の結果、内諾が得られた後に大学から正式の依頼状を実習校宛に郵送します。

⑤第4年次4月の時点で実習参加資格(「3.9教育実習について(1)教育実習の参加資格」を参照)を満たせなかった者、やむをえない正当な理由で実習参加を断念する者は、その旨を学生支援課に連絡し、依頼済みの実習校に対して「実習取消の連絡」を必ず責任を持って行ってください。

なお、第4年次4月に教育実習の参加資格を満たした実習参加者氏名を発表します。

### (5) 教育実習の心得

教育実習に参加するにあたっての全般的な心得と実習開始前および期間中の心得を下記に示します。

#### [全般的心得]

①学校の教育活動は成長過程にある生徒の人格形成を目指して行われるもので、従って、生徒の尊重、生徒に対する愛情、そして教育に対する熱意が非常に大切となります。

②教職課程の履修については様々な動機があるにしても、教育実習を単に教育職員免許状取得のための一過程であるとか、「とれるものならとっておこう」という安易な考え方でとらえることは慎まなければなりません。それは教育実習が教育のまねごとや授業の練習ではなく、まさに真実の教育活動そのものだからです。たとえ実際には教職に就かない場合も、実習にあたっては、教師になろうとする者もつべき心構えや態度をわきまえ、責任を自覚して自己に対して厳しくあるべきです。

③教育の実際についてほとんど未経験である教育実習生が、わずか2週間の実習で教育活動のあらゆる領域を経験することは非常に困難です。したがって担当教員の指導助言を謙虚に受け、実習校の教育方針、教育計画に従って実習活動をすすめなければなりません。

④実習校での服装、および実習校の校長や教職員に対する礼儀・言葉遣い・動作は大学生にふさわしいものとしてください。また、生徒に対しては教師としての自信と誠意のある態度で接することが望まれます。

⑤実習期間中の健康維持にくれぐれも注意してください。

## [実習開始前の心得]

- ①母校実習開始前までに、本学において「教育実習指導」の講義を行います。これに欠席したり書類の交付を受けない者は実習を受けることはできません。
- ②実習校を必ず訪問し通勤所要時間を確かめ、次の事項について打ち合わせておきます。
  - ・実習期間中の勤務時間、教科書の準備
  - ・上履き、弁当などの要否
  - ・その他準備を必要とするもの
- ③やむを得ない理由で指定された期日に出勤できなくなったときは、事前に実習校にその理由を申し出て了解を得てください。それと同時に、学生支援課担当者に報告してください。実習校の特定の教員との個人折衝によって実習期日を変更したり、実習を中途放棄することは許されません。

## [実習期間中の心得]

教育実習期間中は、実習校の校長、副校長、教頭、教務主任、指導教員等の指導を謙虚に受け、学校の教育目標・方針や指導目標などを理解し、服務規程等に従うとともに、[近畿大学の学生としての自覚と誇り]を持って良識ある行動、態度、熱意、意欲を示してください。

教育実習期間中に服務に問題がある場合は、中途であっても実習の中止を命ずることがあります。

## (a) 勤務

- ①教育実習期間中は、教員の服務に準じます。
- ②出校したら直ちに、「教育実習生出席簿」に押印します。
- ③教育実習生は、実習校の教職員の指示に従ってください。
- ④病気その他やむをえない事情により欠席、遅刻、早退する場合は、必ず事前に指導教員に連絡し、欠席届けを提出してください。
- 民間企業等の就職活動（面接等）による欠席は、認められません。**
- ⑤出校後の無断外出は禁止されます。外出が必要な場合は必ず指導教員の許可を得てください。
- ⑥下校の際は、指導教員に届け出、承認を得てください。
- ⑦実習生控室の整理、整頓を心がけてください。

- ⑧校内の備品、教材・教具、図書、帳簿等を使用するときは、係の教職員の許可を受け、その管理には責任を持ち、使用後は所定の位置に返却し、係の教職員の承認を得てください。
- ⑨「教育実習日誌」は、毎日下校前に必ず指導教員へ提出し指導を受けてください。
- ⑩服装、言動等については、常に生徒の基本的生活習慣の模範となるように心がけてください。
- ⑪生徒との私的交際や生徒随伴、無断家庭訪問や家庭への連絡は行なってはなりません。
- ⑫いかなる場合でも、生徒に対する暴力行為、体罰、いじめ、精神的・身体的な苦痛、いやがらせ、無視等は禁止されます。
- 問題が生じた場合は、直ちに指導教員等に連絡・届出し指導を受けてください。
- 実習校にあっては、実習期間中、校長・副校長・教頭・教務主任・教育実習係教員、指導教員（教科担当教員、学級担任）、学年主任、特別活動係教員、部活動顧問、生徒指導主事、事務長など、多くの教職員の方が携わられます。学校の組織体制を早く認識・理解し、充実した教育実習となるよう努めてください。

## (b) 教科指導

- ①教育実習期間中を前期・中期・後期に分け、それぞれを「観察」「参加」「実習」の形態になるように、緻密な計画を立ててください。  
「観察」生徒の実態や教師の指導などを客観的に観察して、学校教育を総合的に認識・理解することに心がけてください。(模範授業の観察)  
「参加」指導教員の下に多用な教育活動に積極的に参加し、教師として求められる知識や技術、熱意、態度を修得する実践的な活動をしてください。(実習授業の実践)  
「実習」教科の学習指導を中心に、学習指導案を作成し授業を行い、最終的には査定のための研究授業(多数の教員が参観)などにより実習評価を受けます。
- ②授業実習にあたっては、「教科書を教える」ではなく、「教科書で教える」ように、教材研究に万全を期し、持てる力(知識、技能、意欲、関心、表現、判断など)を發揮してください。
- ③公正で明朗な指導を心がけてください。

- ④教材研究や授業において、理解していない不明な箇所がある場合は、指導教員などに指導を受け、明確にするように心がけてください。
- ⑤器具、機器や薬品などの取り扱いには十分に配慮し、安全の確保に努めてください。
- ⑥授業実践後は、指導教員や他の実習生からの評価を謙虚に受け、その後の工夫改善に生かすよう努力してください。

教科学習指導に偏ることなく、学級活動、特別活動、部活動などにも積極的に参加し、実習の目的や意義を、生徒達と直接交流を重ねるなかで繰り返し問い合わせてください。

また、その視座を学生の受動的視点から、教師としての能動的視点に転換し、自己の適正、能力を見直す絶好の機会としてください。

#### (6) 教育実習終了後の諸手続

- ①帰学後直ちに教育実習簿、その他実習校で指示された書類を学生支援課に提出してください。
- ②教育実習簿は、実習終了時に学生に手渡される場合と、後日郵送される場合があります。
- ③実習簿は、教育実習の評価後に、学生支援課から各学生に返却します。
- ④実習校の校長および指導教員に、必ず礼状を郵送してください。

### 3.10 その他、教職課程に関する履修上の注意事項

#### (1) 学生への伝達方法

学生に対する公示、告示およびその他の履修上周知を要する事項は、すべて「掲示」によって通知します。常に掲示板を見るように心がけてください。

#### (2) 提出期限を守ること

諸手続の申し込み期限や各種提出物の提出期限を守ってください。

#### (3) 出席について

学年のはじめに行なわれるガイダンスには必ず出席してください。

また、3年次の12月～2月と4年次の4月～5月に行われる「教育実習指導」(集中講義)も必ず出席してください。欠席した場合は教育実習に行くことができなくなります。



## 4. 転学部・転学科、大学院進学

1年間以上在学し、第1学年次の必要単位を修得または修得見込みの者で他学部への転学部または産業理工学部内の他学科への転学科を希望する者は、在学中の成績ならびに選考試験などの結果により許可される場合があります。選考試験は、受験資格や試験内容などを定めた転学部・転学科試験要項に基づいて実施されます。

本学部を卒業し、さらに進学を希望する者には近畿大学ならびに他大学の大学院への道が開かれています。

大学院には修士課程（博士前期課程）、さらに博士課程（博士後期課程）があります。修士課程は専門分野における研究能力または高度の専門性を有する職業などに必要な能力を養い、博士後期課程では研究者として独立することを目的とします。修業年限はそれぞれ2年と3年です。本学部に基礎を置く産業理工学研究科にも、平成27年に専攻分野に博士後期課程が設置されました。なお、近畿大学の大学院に進学を希望する場合には、在学中の成績が優秀な者には学内推薦や学費免除の制度がありますので、各専攻幹事の教員に相談して下さい。



## 5. 進路対策講座等および卒業後の進路

### 5.1 進路対策および資格取得対策講座

本学では、大学教育の成果を社会的活動の領域に反映させ、学生が社会的、経済的に自立できることを支援するために進路対策および下記の資格取得対策講座を開講しています。当講座では、雇用情勢をはじめと

して社会・経済的情勢の変化を学生に伝えるとともに、学生に求められている様々な資格の取得に必要な知識等について講義や演習を実施します。当講座には以下の科目があります。

表5.1.1 開講予定の講座の内容

資格講座名	開講予定	対象学科	案内方法	種類
日商簿記3級	4月	全学科	経営ビジネス学科で受付（有料）	公的
マイクロソフト オフィススペシャリスト	授業（情報処理Ⅰ・Ⅱ）	全学科	各講座の担当教員より説明	民間
ITパスポート	授業（情報処理Ⅲ）とe-Learning	全学科	各講座の担当教員より説明	国家
CGクリエーター検定	プロジェクト研究（一部）	建築・デザイン学科	各講座の担当教員より説明	民間
WEBデザイナー検定	プロジェクト研究（一部）	建築・デザイン学科	各講座の担当教員より説明	民間
基本情報技術者	授業（プロフェッショナルデザイン）	情報学科	各講座の担当教員より説明／掲示	国家
公務員試験対策講座	11月（入門コース/1、2年生） 5月（教養・専門コース/3年生）	全学科	就職係で受付（有料）	一
宅地建物取引士	5月	全学科	就職係で受付（有料）	国家
一級・二級建築士	後期（3年生以上）	建築・デザイン学科	就職係で受付（有料）	国家
色彩検定	プロジェクト研究（一部）	建築・デザイン学科	各講座の担当教員より説明	公的
電気主任技術者	ホームページ	電気電子工学科	ホームページで説明	国家
電気工事士	ホームページ	電気電子工学科	ホームページで説明	国家
公害防止管理者	授業（公害防止管理）	生物環境化学科	各講座の担当教員より説明	国家
バイオ技術者（中級、上級）	授業（生物環境化学特別講義Ⅱ）	全学科	各講座の担当教員より説明	民間
危険物取扱者（甲種）	授業（化学と安全）	生物環境化学科	各講座の担当教員より説明	国家
環境計量士	授業（環境計量学）	生物環境化学科	各講座の担当教員より説明	国家
技術士一次	生物環境化学特別講義Ⅰ	生物環境化学科	各講座の担当教員より説明	国家
TOEIC	授業（TOEIC英語）	全学科	各講座の担当教員より説明	民間

#### 【挑戦してみたい その他の資格】

- ・ファイナンシャルプランナー
- ・販売士 (公的資格)
- ・日本漢字能力検定 (公的資格)
- ・カラーコーディネーター (公的資格)
- ・インテリアコーディネーター
- ・環境社会検定 (eco検定)
- ・商業施設士補

## 5.2 キャリア教育

### (1) 豊かな未来を求めて

1年生に入学された皆さんには、大学生としての心構えと同時に、社会情勢、国際情勢等を見極めしっかりした履修計画をもとに学業に専念し、豊かな教養と専門的な知識や学力・技術を身につけることが、これから輝かしい人生を歩むために重要となってきます。そのためには、自分にふさわしいキャリアプランを持って進路選択することが大切な要素です。

近年、学生の就職・採用活動日程については、①日本経済団体連合会（以下「経団連」）による「採用選考に関する指針」の策定、②就職問題懇談会による「申合せ」、③関係省庁（内閣官房、文部科学省、厚生労働省及び経済産業省）による経済団体・業界団体等に対する遵守等の要請、というプロセスによって、毎年度決定されてきましたが、2018年10月、経団連から、中長期的な観点から我が国の採用活動の在り方を議論すべき、大学の教育と企業の姿勢がどうあるべきかを議論すべきといった問題提起と併せて、2020年度（2021年3月）以降に卒業・修了予定の学生の就職・採用活動からは「採用選考に関する指針」を策定しない方針が示されました。

このような見直しに伴い、就職活動の「早期化」「長期化」「多様化」「流動化」がさらに進む中、学修時間等を確保しながら安心して就職活動に取り組むため、低学年からの準備が必要です。特に、2020年に発生した新型コロナウイルス問題など社会変化を機に、国内でも「オンライン選考」「リファラル採用」「通年採用」など採用方法の見直しが急速に進んでいますので、積極的に情報収集を行う必要があります。

### (2) 1年生・2年生への指導

本学部のキャリア教育は、まず1年次に必修科目「建学のこころ（1単位）」、「ライフデザイン（2単位）」を履修し、自身の性格を見つめ、在学中の目標や将来的なライフプランを描くことからスタートします。選択科目では2年次の「キャリアデザイン（2単位）」、3年次の「就職計画（2単位）」で、就業力（実社会で活躍するために必要な力）を養成します。さらに、将来の自分の夢や目標の実現のためだけでなく、就職にも有利となる「資格取得」のための講座も開講しています。キャリア支援室は、これらの講義・講座を通して、一人ひとりが自分に合った進路を選択できるよ

うサポートしています。

### (3) 3年生・4年生への指導

専門スタッフによる本格的な就職支援プログラムは、3年次の早い時期から下記の要領で実践的に始まります。定期的に開かれる就職ガイダンスでは、就職活動の基本から実践までを分かりやすく指導します。同時にSPIや企業研究などの就職試験対策や、4年次に学内企業説明会、採用試験なども実施し、希望の進路を実現できるようバックアップいたします。また、企業での就業体験であるインターンシップも推進しています。

#### ①進路希望の登録と個人面談

3年次前期にユニバによる進路希望登録後、3年次後期にWEB配信される進路希望登録アンケートに回答してください。

就職（進路）登録カードに記された希望進路・就職意識等をもとに、学生との個人面談を実施します。

#### ②就職支援講座の実施

次のような就職支援講座を適宜開催しています。

- ・自己分析講座
- ・業界・職種研究会（キャリアフォーラム）
- ・企業見学会
- ・内定者座談会
- ・選考型インターンシップ対策
- ・エントリーシート・履歴書講座
- ・マナー講座
- ・筆記試験（SPI・WEB試験）対策
- ・面接指導、グループディスカッション対策
- ・学内企業説明会（個別・合同）

※他に就職に関する個別相談も受け付けております。

## II

# 附属施設利用の手引

[II-1] 図書館  
[II-2] 電算機センター



## [ II - 1 ] 図書館

### ●開館時間

通常

月～金	9：00～21：00
土曜日	9：00～13：00
振替授業日	9：00～17：00

冬期・春期休暇 全学休講時

月～金	9：00～17：00（土曜日は通常どおり）
-----	-----------------------

夏期休暇

月～金	9：00～17：00
-----	------------

### ●休館日

・日曜日 祝日 創立記念日（11月5日）

・夏期・冬期休暇中の一定期間

・夏期休暇中の土曜日

※開館時間の変更や臨時の休館はその都度、掲示やホームページでお知らせしています。

★図書館ホームページ

<https://www.kindai.ac.jp/hose/about/facility/library/>

### ●利用上の心得と注意

・学生証は常に携帯してください。

・館内では静肅にし、携帯電話の「通話」、「カメラ」機能の使用など他人の迷惑となる行為はしないでください。

・館内は、喫煙及び飲食禁止です。ただし、密閉できるフタ付き容器の持ち込み、利用については場所を指定して認める場合があります。

・館内ではルールを守り職員の指示に従ってください。

### ●貸出

貸出には学生証が必要です。

貸出条件

貸出冊数：10冊まで	貸出期間：15日以内
------------	------------

・貸出期間を超えて利用したい時は2回まで更新できます（最大45日）。

貸出期間内に①②どちらからかの方法で更新手続きを行ってください。

①\* My ライブライアリーカーから自分で更新する。

②図書館カウンターで貸出資料と学生証を提示する。

※その資料に予約があつたり貸出期間が超過している場合、このサービスは利用できません。

・新聞、学術雑誌、プラウジング雑誌の最新号、“禁帶出”や“館内”ラベルがあるものは貸出できません。

### ●返却

・直接カウンターで返却してください。

・閉館後は自動ドア脇の“閉館後図書返却口”で返却できます。

※直接書架や“館内閲覧図書返却台”に返しても返却にはなりません。ご注意ください。

・ペナルティ

返却が遅れた場合はその日数だけ貸出を停止します。この間新たな貸出や貸出の更新はできません。

### ●館内利用

・館内の資料は全て自由に閲覧できます（開架式）。

#### ◆資料検索

2階カウンター前に検索用パソコンを設置しています。

★図書館ホームページトップ→情報検索（OPAC）でタイトルなどのキーワードを入力して検索します。

※検索結果が貸出中の場合は\* My ライブライアリーカーから予約できます。

※該当する資料がない場合は\* My ライブライアリーカーから他キャンパス所蔵図書の取寄せ、または購入リクエストができます。

・ブラウジングコーナー、AVブースでCDやDVD等の視聴覚資料の視聴ができます。

・ゼミ室…3名以上で利用できます。（Wi-Fi環境も整っています。）

※ゼミ室を利用したい場合は、カウンターで申し込んでください。

・地域資料室（筑豊地区関連の資料を中心に集めています。）…閲覧自由

### ●コピーサービス

・図書館の所蔵資料のみコピーできます。

※それ以外のものをコピーした場合は没収します。

返金もできません。

料金（1枚）

モノクロ：10円	カラー：50円
----------	---------

### ●相互利用

・必要な資料が図書館にない場合は他大学の図書館やその資料を利用できます。

※料金は本人負担です。

申請方法

紹介状の発行	図書館に来館してください
文献複写・借用	* My ライブライアリーカーから申請できます

## ●授業・就職支援

図書館の入口左手にシラバス掲載参考文献・アカデミックスキル関連図書・就職関係・資格関係図書のコーナーがあります。

ぜひ、有効に活用してください。

### ・アカデミックスキル関連図書

レポートの書き方、情報の探し方などについて書かれた資料

### ・シラバス掲載参考文献

今年度のシラバスに掲載されている授業ごとの指定参考書

### ・就職関係

SPIやエントリーシートなどの就職試験に必要な最新の対策本や問題集

### ・資格関係

産業理工学部で取得できる資格試験・問題集など

### \*Myライブラリーとは

利用者個人ごとの図書館情報ページです。

自宅など、図書館以外のパソコンやスマートからも利用できます。

利用に際しては、ログイン名（ID）とパスワードが必要です。

### \*Myライブラリーでできること

図書館ホームページトップ→Myライブラリー→ログイン画面にアクセス ID・パスワードを入力

貸出：貸出状況・貸出履歴の確認

(返却期限・貸出冊数と回数)

貸出期間の更新

(予約がない場合 2回まで)

### 取寄せ

(無料)：他キャンパスからの図書の借用

### 相互利用

(有料)：図書の借用

文献複写（論文や図書の一部）

### 購入リクエスト：所蔵していない資料の購入

### 予約：資料検索の結果が“貸出中”の場合

## [ II – 2 ] 電算機センター

### 1. 概要

4号館（図書館・電算棟）の3階全体を「産業理工学部電算機センター」と呼びます。コンピュータ実習や卒業研究などのために、本学部および大学院産業理工学研究科学生なら誰でも利用することができます。利用に際してはログイン名（ID）とパスワードが必要です。

### 2. 教室

室 名	収容人数	備 考
ターミナル室 1		
ターミナル室 2	48名	主に授業で利用
ターミナル室 3		
ターミナル室 4	20名	少人数用
オープンターミナル室	48名	授業は行わない
リモートターミナル室	–	雑誌の閲覧

どの部屋も授業が行われていない場合は自由に利用できます。

### 3. 利用時間

室 名	平日（月～金）	土曜日
ターミナル室 1		
ターミナル室 2	9:00～17:00	利用不可
ターミナル室 3		
ターミナル室 4		
オープンターミナル室	9:00～20:00	13:00～17:00
リモートターミナル室	9:00～17:00	利用不可

※授業が行われている場合はこの限りではありません。

休暇中の利用については、そのつどホームページ上に掲示します。

- 4. ログイン名とパスワードの入手方法**
- ①授業で利用する場合：最初の授業時に担当教員よりロングン名とパスワードが配布されます。
  - ②授業を受けていない場合：管理室に申し出て受け取ってください。この時、学生証を掲示する必要があります。

## 5. パスワードの取り扱いについて

パスワードは重要な個人情報のひとつであり、他人に知られないよう厳重に管理してください。また初期パスワードは、必ず変更するようしてください。パスワードを忘れても再設定できるよう、ワンタイムパスワードの設定を行ってください。

方法については電算機センターのホームページを参照してください。

パスワードを忘れた場合は、学生証を持って管理室まで問い合わせてください。

## 6. 17時以降(土曜日は13時以降)の利用について

この時間帯は電算機センター補助員（学部学生で、ビブスを着用し胸に名札を付けています）がオープンターミナル室に2名いますので、質問などがある場合は、補助員に相談してください。適切に対応してもらえます。

## 7. ネットワークの利用について

電算機センターのシステムはインターネットに接続されていますので、世界中の人たちと電子的な情報伝達、情報交換が行えます。センターでは出来る限りオープンな環境を学生のみなさんに提供したいと考えておりますが、それは学生のみなさんが正しい利用をすることが前提となります。注意事項を守って利用してください。

また、電子メール等の利用方法は、必修の授業科目「情報処理Ⅰ」で指導します。欠席しないようにしてください。

## 8. ネットワーク利用上の注意事項

- ①個人やグループまたは組織に対する悪意の中傷や一方的な非難をしない。
- ②プライバシーに関する興味本位の話題提供をしない。

- ③音楽ファイル等の著作物をダウンロードするのは違法行為です。
- ④その他、悪用と思われるような行為をしない。
- ⑤ネットワーク利用を安易に考えてはいけません。はなはだしい場合は、刑事事件として罰せられます。

## 9. 電算機センターに関する情報の入手について

電算機センターの説明は全てホームページに掲載されます。また、利用方法等や新しく導入された機能や、システムの停止案内等もホームページに掲載します。

<https://www.kindai.ac.jp/hose/about/facility/center/>

## 10. 電算機センター使用上の注意

下記事項に違反した場合は、一定期間利用を禁止します。

- (1)電子機器の故障の原因となるため、センター内に飲食物および傘を持ち込むことを禁止しています。傘はセンター入り口にある傘立てに入れて下さい。
- (2)プリンター用紙はセンターが供給しますが、ランニングコストが非常に高いので無駄な出力は控えてください。無駄遣いが目立つ場合は課金制になる可能性があります。印刷は1人年間300枚まで制限されています。
- (3)各自の出したゴミは必ずゴミ箱に入れてください。不要になったプリンター用紙は丸めずにプリンター横に用意された用紙入れに入れてください。
- (4)機器は丁寧に操作してください。もし、壊した場合は弁償してもらう場合があります。
- (5)雑誌や資料を借り受ける場合は、管理室で貸出簿に記入してください。
- (6)違法ダウンロードは禁止です。

センター内の通信はすべて記録されています。

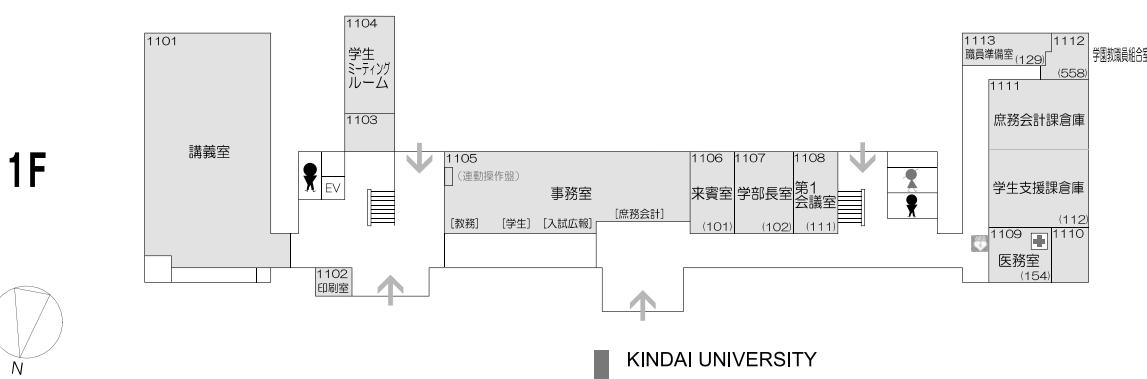
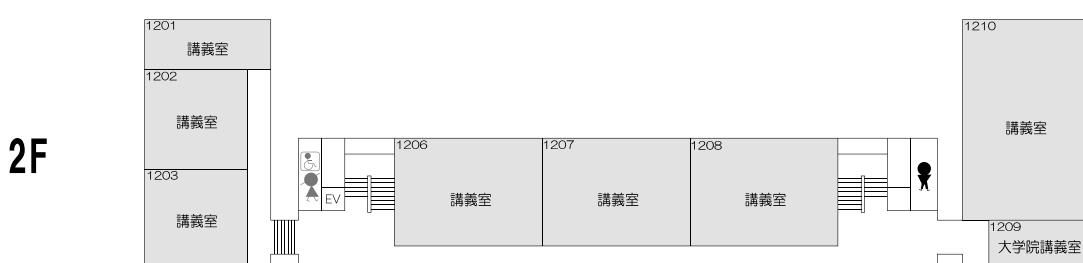
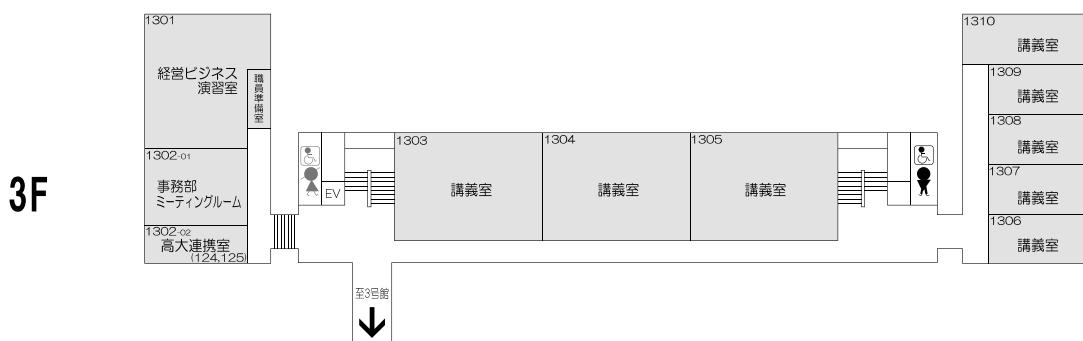
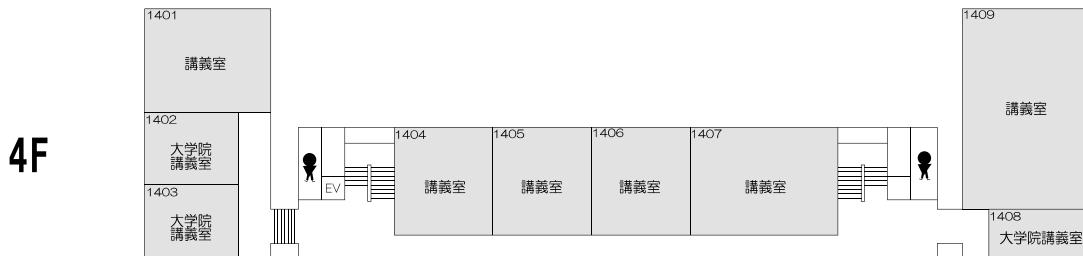


III

配 置 図

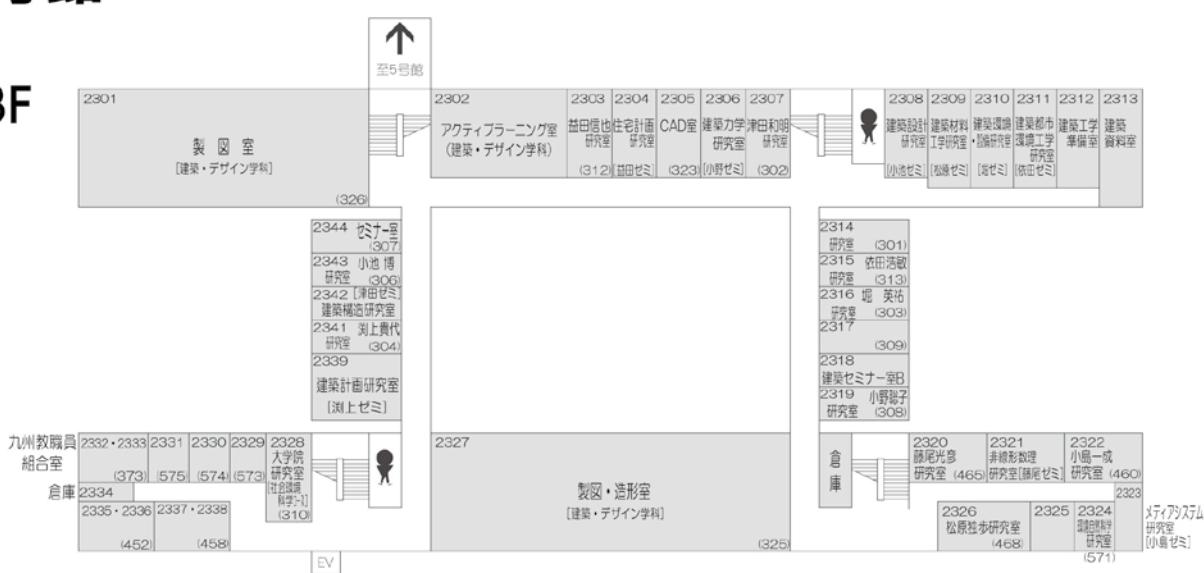


# 1号館

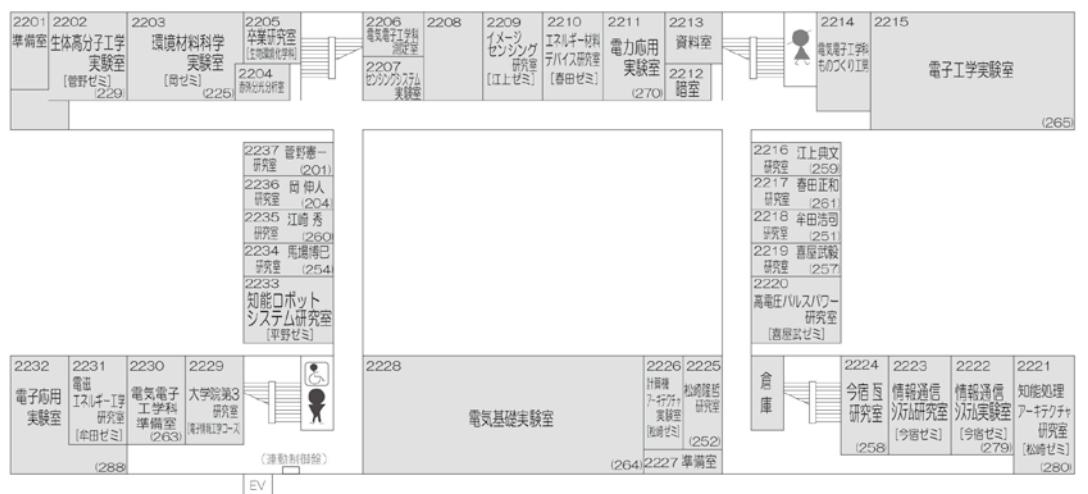


## 2号館

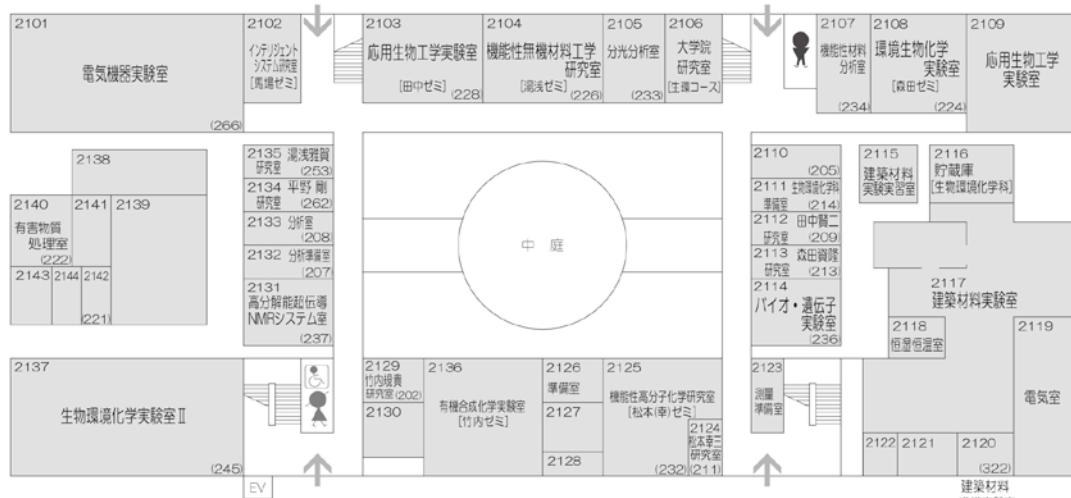
3F



2F



1F



# 3号館

3401	3402	3403	3404	バス準備室		3405	3406	3407	3408	3409	3410	3411	人間工学実験室	3412	3413	3414	会計情報システム研究室
類生物学 文化研究室 [江口ゼミ]	日本歴史 研究室 [永添ゼミ]	産業心理学 研究室 [大沼ゼミ]				太田社販 研究室 [太田ゼミ]	マーティン 研究室 [太田ゼミ]	中牟田哲 研究室 [412]	税法 研究室 [中牟田ゼミ]	黒田次郎 研究室 [410]				大学院演習室 [社会講義学コース]	大学院研究室 [電子情報工学コース]		
(江口ゼミ)	(永添ゼミ)	(大沼ゼミ)				(401)	(412)	(410)					(484)		(422)	(481)	

3432	3431	3430	3429	3428		3427	3426	3425	3424	3423	3422	3421	3420	3419	3418	3417	3416	3415	
江口誠 研究室 [470]	大沼卓也 研究室 [461]	永添祥多 研究室 [459]	高萩広隆 研究室 [403]	藤原 武 研究室 [463]		青井 格 研究室 [464]	問題解決 研究室 [青井ゼミ]	経営管理 研究室 [青井ゼミ]	八口 W 研究室 [藤原ゼミ]	姚 小佳 研究室 [466]	河 利延 坂田裕輔 研究室 [坂田ゼミ]	環境経済学 研究室 [坂田ゼミ]	3419	競争会計 研究室 [坂ゼミ]	長谷川 直樹 研究室 [483]	3417	経営戦略 研究室 [河ゼミ]	3416	平川 茂 研究室 [402]
(470)	(461)	(459)	(403)	(463)		(464)	(464)	(464)	(466)	(457)	(462)	(357)			(414)				

3301	3302	3303	3304A	3304B	3305	3306	3307A	3307B	3308							
情報工学演習室	演習準備室	準備室1 EV [420]	リモート 実験室	情報工房	ネットワーク演習室	情報学科機械室	ソフトウェア演習室A	ソフトウェア演習室B	準備室2							
寺井 仁 研究室 [寺井ゼミ] (409)	人間情報学 研究室 [寺井ゼミ]	金剛システム 研究室 [飯島ゼミ] (406)	3320	3319	3318	3317	3316	3315	3314							
		飯島高雄 研究室 [飯島ゼミ]	佛額郁代 研究室 [405]	リモート 研究室 [藤原ゼミ]	ソフトウェア 研究室 [高橋ゼミ]	高橋圭一 研究室 [407]	山崎重一 研究室 [408]	ネットワーク 研究室 [山崎ゼミ]	インタラクティブ システム研究室 [古賀ゼミ]	3313	3312	3311	3310	3309		
									古賀崇了 研究室 [古賀ゼミ] (453)							

3201	3202	3203	3204	3205
都市 マダム 研究室 [長谷川ゼミ]	大学院研究室 [社会環境科学コース]	EV	造形実習室	図形情報処理室
				CG準備室

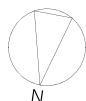
3221	3220	3219	3218	3217	3216	3215	3214	3213	3212	3211	3210	3209	3208	3207	3206	
柳田健太 研究室 [柳田ゼミ] (351)	組織情報 研究室 [日高ゼミ] (355)	地域ビジネス 研究室 [日高ゼミ] (355)	日高 健 研究室 [355]	森岡陽介 研究室 [森岡ゼミ] (358)	イシグロ 研究室 [森岡ゼミ]	江戸文学 研究室 [畠田ゼミ]	佐田綾美 研究室 [畠田ゼミ] (354)	金子哲大 空間デザイン 研究室 [金子ゼミ] (361)	教育基礎学 研究室 [金子ゼミ]	河野吉希子 研究室 [岡野ゼミ] (359)	鶴野幸子 研究室 [鶴野ゼミ] (353)	情報デザイン 研究室 [鶴野ゼミ] (415)	情報政策 研究室 [高野ゼミ] (415)	大学院 研究室 [高野ゼミ] (415)		

3101	第3会議室	3109														
			EV													

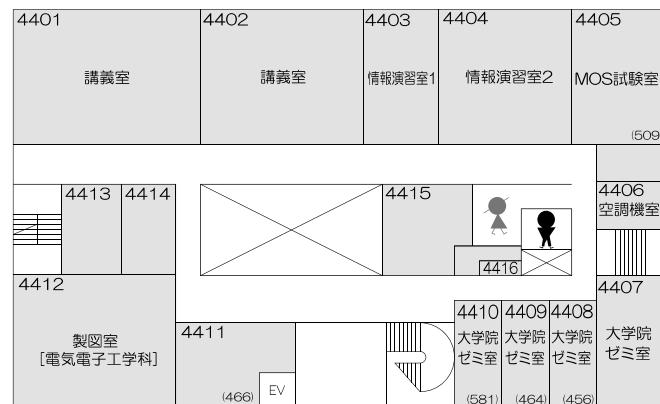
3102	3103	3104	3105	3106	3107	3108	3109	3110	3111	3112	
講師控室 (165)	第4会議室 (114)	事務 給湯室 [116]	事務分室 [400,450]	3号館1階 廊下室 [115]	キャリア支援室 [170~174]			Kindai Platz			

3001	ポンプ室		3002		3003	電気室		3004								
			機械室													

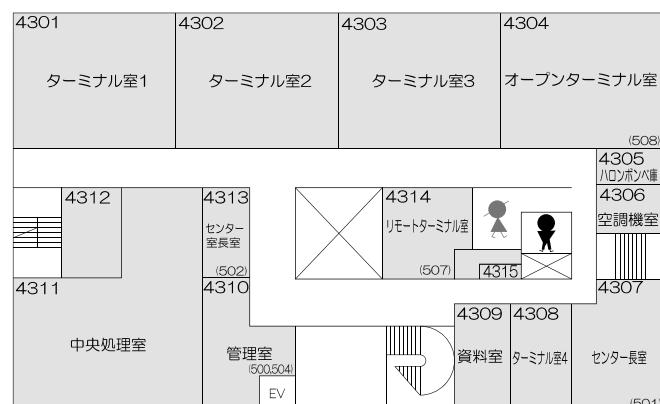


## 4号館

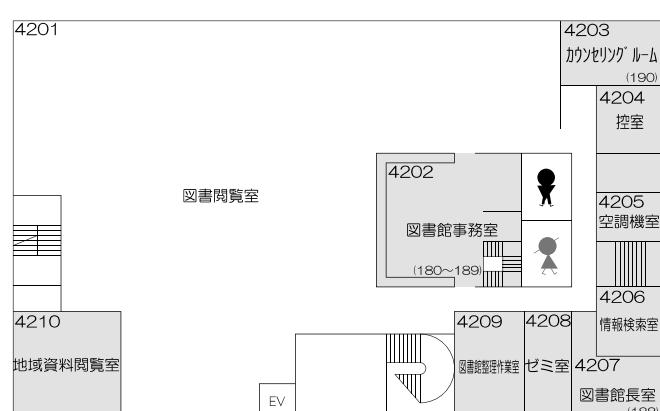
4F



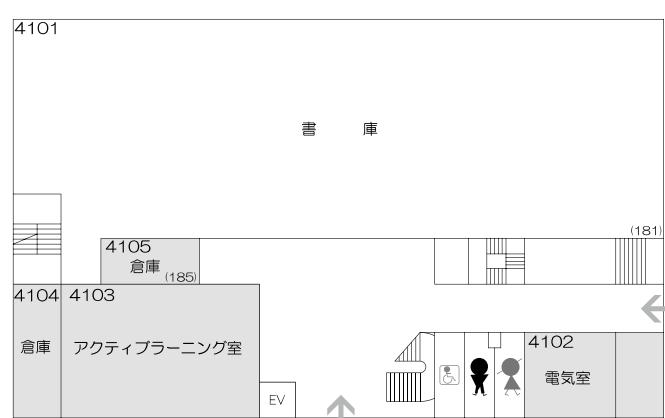
3F



2F

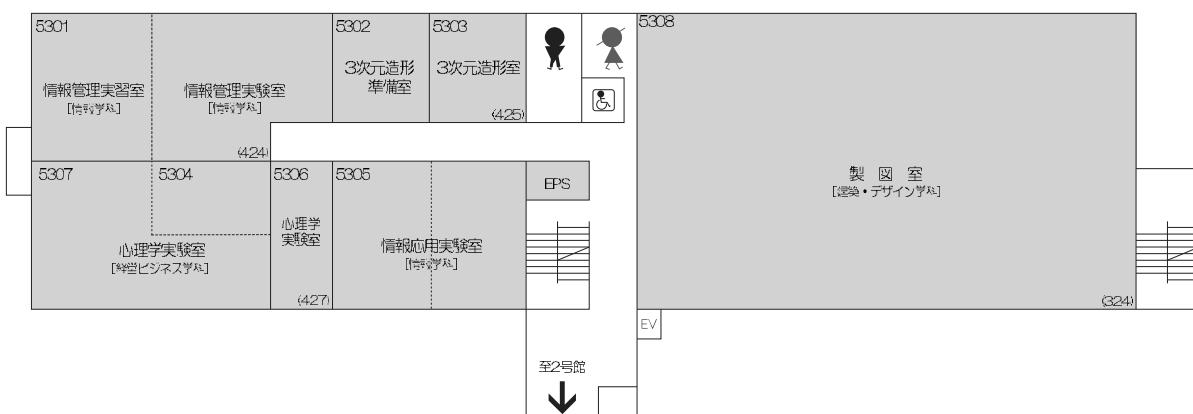


1F

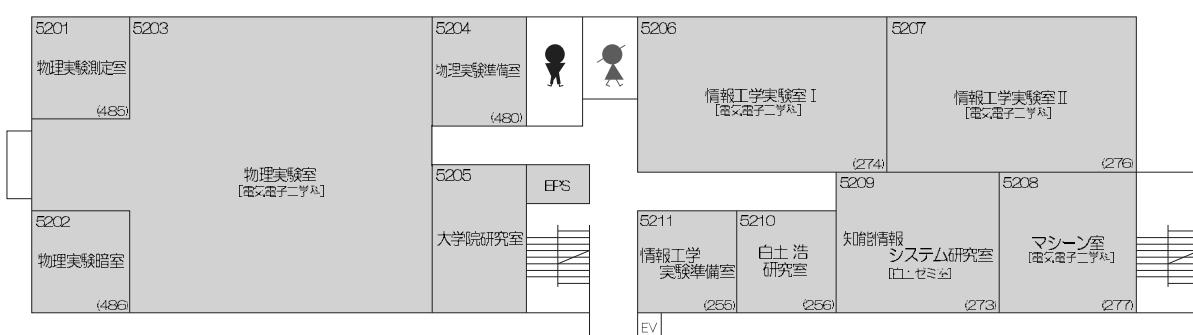


# 5号館

3F

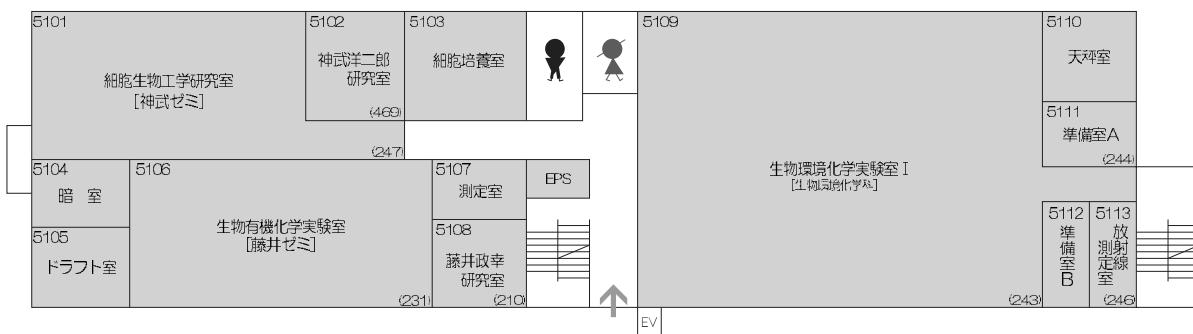


2F

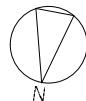
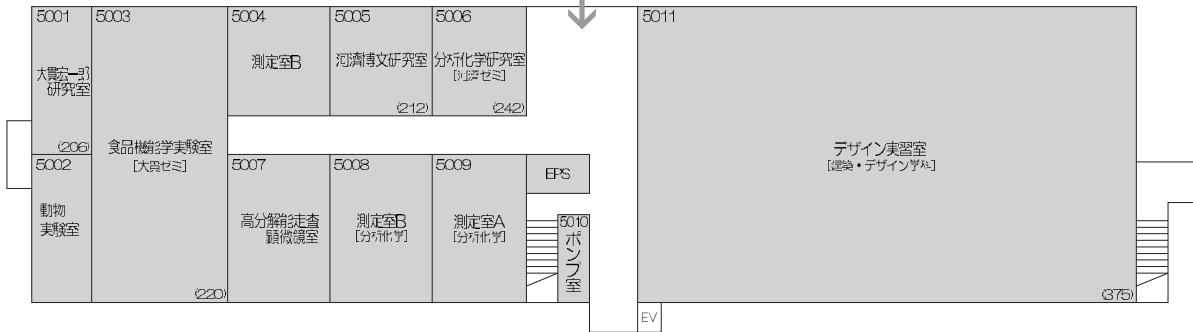


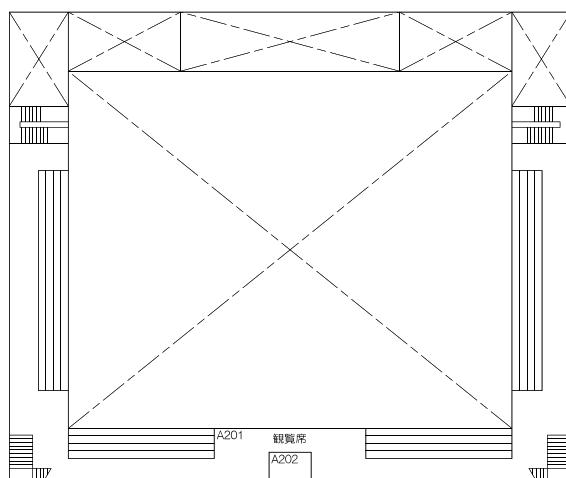
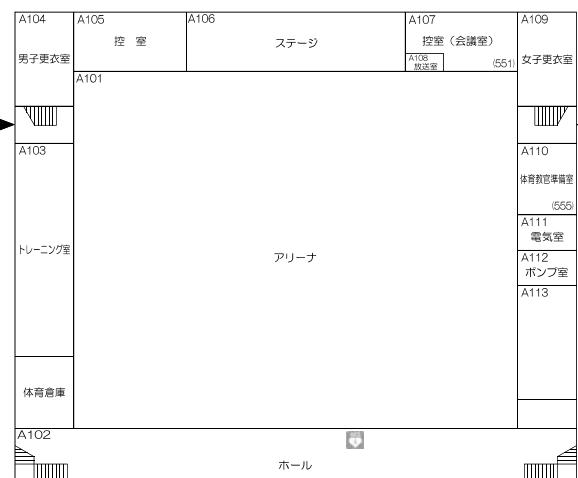
93

1F



G1F



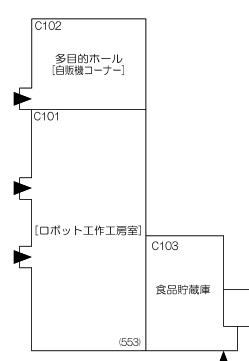


6. 体育館(A棟) 1F

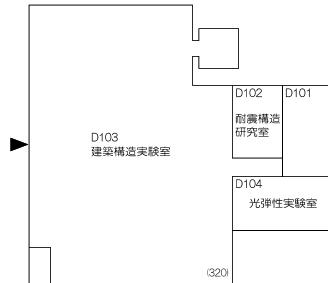
2F



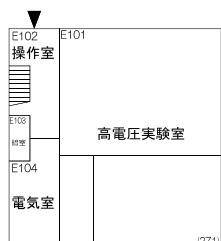
7. トレーニングセンター (B棟)



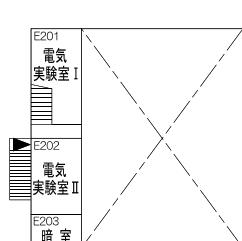
38. 多目的ホール・ロボット工作工房 (C棟)



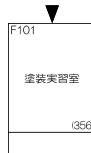
11. 構造実験室 (D棟)



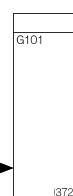
9. 高電圧実験室 (E棟) 1F



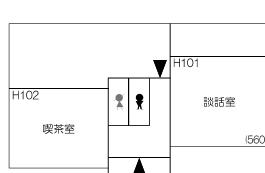
2F



8. 塗装実習室 (F棟)



28. (G棟)

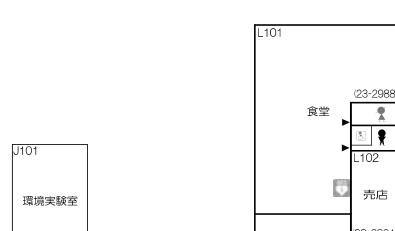


39. ログハウス

[パウヒュッテ] (H棟)



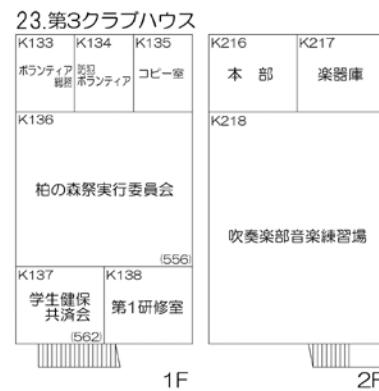
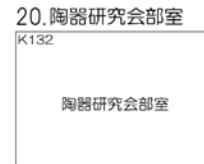
14. 守衛室 (I棟)



32. 環境実験室 (J棟)

40. 食堂・売店 (L棟)

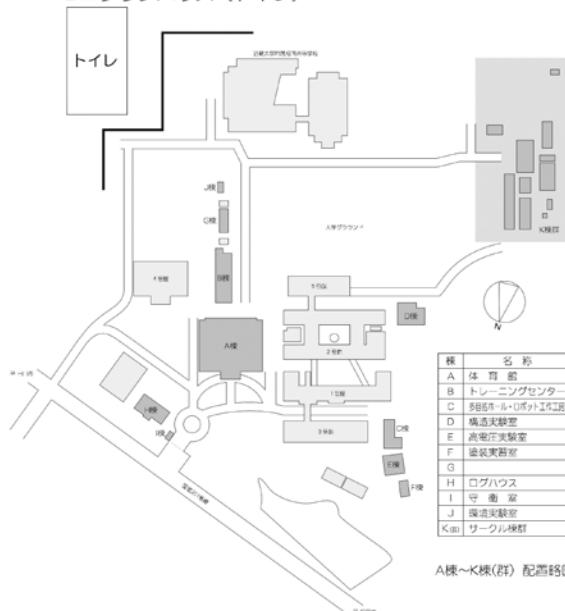
## サークル棟群(K棟群)

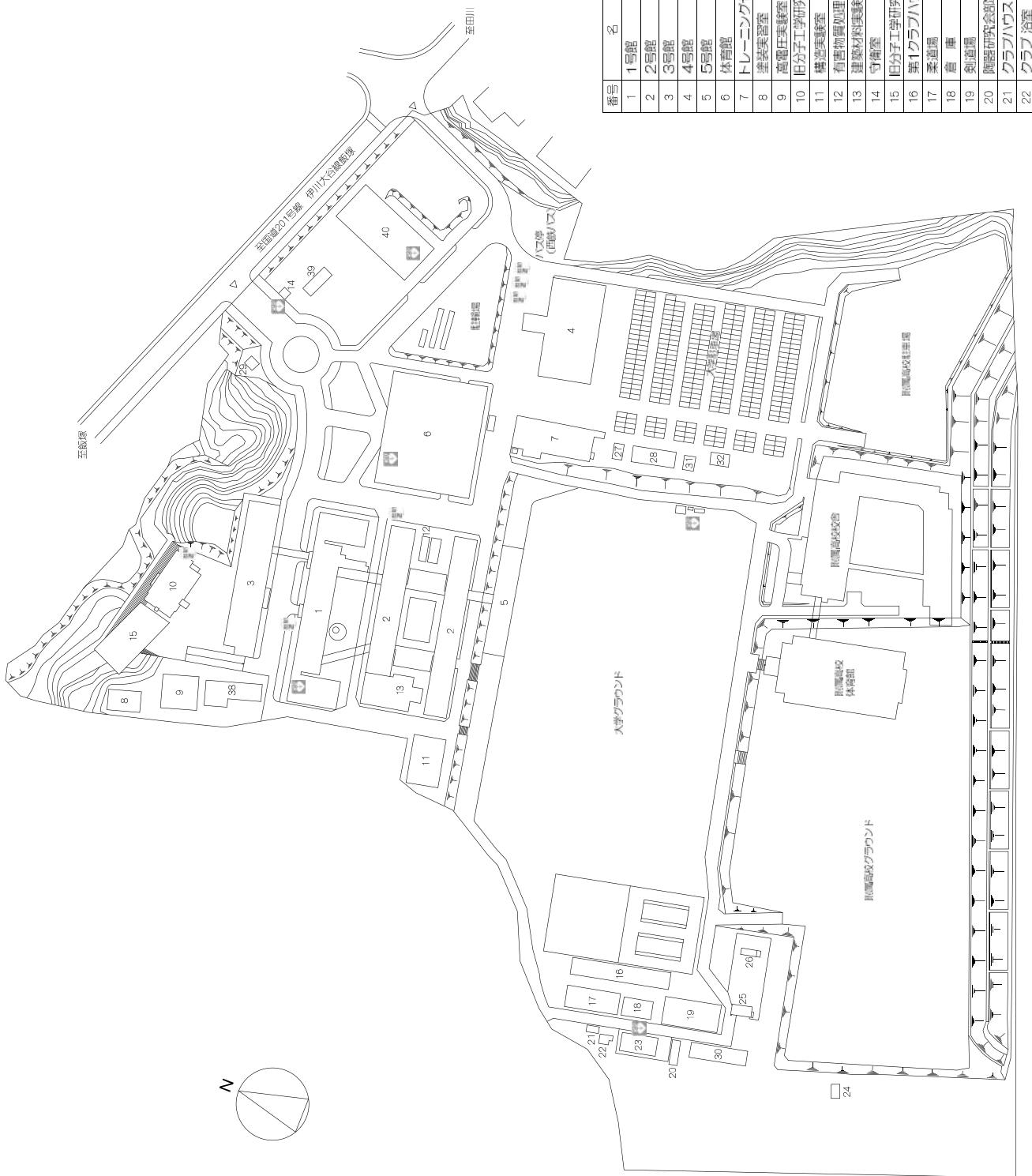


1F 2F

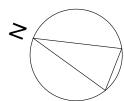


## 21.クラブハウス（トイレ）



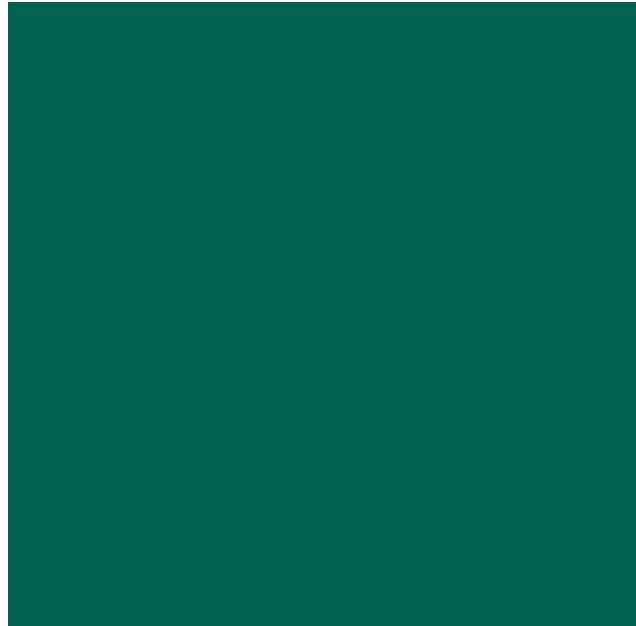


近畿大学産業理工学部 配置図



履修の手引（令和3年度）

編 集 産業理工学部 教務委員会  
発 行 近畿大学 産業理工学部  
印 刷 ヨシミ工産株式会社



---

|